

第 3 次宇治市図書館事業計画（初案）について

令和 4 年 3 月に策定いたしました「第 2 次宇治市図書館事業計画」の計画満了を迎えるにあたり、「第 2 次宇治市図書館事業計画」の施策評価、「宇治市図書館市民ニーズ調査」及び「宇治市図書館利用者アンケート」を実施し、また生涯学習審議会及び教育委員会の意見を踏まえ、後継計画となる「第 3 次宇治市図書館事業計画（初案）」を取りまとめました。

については、この初案につきまして、市民意見を募集することとしましたので、下記のとおりご報告いたします。

記

1. 第 2 次宇治市図書館事業計画施策評価について

資料① 第 2 次宇治市図書館事業施策評価

2. 「宇治市図書館市民ニーズ調査」及び「宇治市図書館利用者アンケート」の結果について

資料② 宇治市図書館市民ニーズ調査実施概要及び集計結果

資料②-2 宇治市図書館市民ニーズ調査集計表（単純集計）

資料②-3 宇治市図書館市民ニーズ調査集計表（クロス集計）

資料③ 宇治市図書館利用者アンケート実施概要及び集計結果

資料③-2 宇治市図書館利用者アンケート集計表（単純集計）

資料③-3 宇治市図書館利用者アンケート集計表（クロス集計）

3. 第 3 次宇治市図書館事業計画（初案）について

資料④ 第 3 次宇治市図書館事業計画（初案）

資料④-2 宇治市図書館基本的運営方針（変更案）

資料④-3 1 計画策定の趣旨（変更案）

資料④-4 4 宇治市図書館を取り巻く状況（変更案）

資料④-5 5 第 2 次宇治市図書館事業計画の取組状況（案）

資料④-6 6 施策体系図（変更案）

資料④-7 7 基本施策と具体的な取組（変更案）

資料④-8 8 取組の指標（変更案）

4. パブリックコメントの実施について（資料⑤）

（1）実施期間

令和7年11月16日（日）～12月15日（月）まで

（2）周知方法

- ①市政だより（11月15日号）に掲載
- ②市ホームページに掲載
- ③図書館（中央・東宇治・西宇治）窓口及び行政資料コーナーに配架
- ④「市民の声投書箱」を設置している市内公共施設等への配架

（3）意見の提出方法

- ①市のホームページのフォームへの入力
- ②図書館（中央・東宇治・西宇治）窓口へ持参
- ③郵便（中央図書館）
- ④電子メール（中央図書館）
- ⑤ファクシミリ（中央図書館）
- ⑥「市民の声投書箱」に投函

（4）意見等の公表

お寄せいただいた意見等のとりまとめ結果及び意見等に対する回答は、市ホームページに掲載します。

5. 今後のスケジュールについて

令和7年11月18日（火）教育委員会

- ・第3次宇治市図書館事業計画（初案）について

令和8年1月～3月（予定）

生涯学習審議会、教育委員会、文教・福祉常任委員会

- ・パブリックコメント結果・計画（最終案）報告

第2次宇治市図書館事業計画施策評価

資料①

1 読む楽しさ、学ぶ喜びを創出する図書館	実施した取組			評価	今後着手する取組
	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
(1) 全ライフステージの読書活動支援	<p>【乳幼児】</p> <p>おはなし会の開催（継続）</p> <p>「本と赤ちゃんのなかよしタイム」の実施（継続）</p> <p>「赤ちゃんおはなし会0・1・2」の実施（継続）</p> <p>「ぬいぐるみのお泊まり会」の実施（継続）</p> <p>【児童】</p> <p>おはなし会の開催（継続）</p> <p>こども司書体験の実施（継続）</p> <p>「どくしょつうちょう」の配付（継続）</p> <p>子ども読書活動推進委員会との連携（継続）</p> <p>調べ学習に役立つテーマ展示の実施（継続）</p> <p>【青少年】</p> <p>青少年向けのブックリストの配布（継続）</p> <p>【成人】</p> <p>仕事や生活に役立つテーマ展示を実施（継続）</p> <p>大人のための夜の朗読会の実施（継続）</p> <p>【高齢者】</p> <p>大活字本の収集・配架（継続）</p> <p>高齢者施設・サロンへの出張おはなし会の実施（継続）</p>	<p>【乳幼児】</p> <p>おはなし会の開催（継続）</p> <p>「本と赤ちゃんのなかよしタイム」の実施（継続）</p> <p>「赤ちゃんおはなし会0・1・2」の実施（継続）</p> <p>「ぬいぐるみのお泊まり会」の実施（継続）</p> <p>【児童】</p> <p>おはなし会の開催（継続）</p> <p>こども司書体験の実施（継続）</p> <p>「どくしょつうちょう」の配付（継続）</p> <p>子ども読書活動推進委員会との連携（継続）</p> <p>調べ学習に役立つテーマ展示の実施（継続）</p> <p>【青少年】</p> <p>青少年向けのブックリストの配布（継続）</p> <p>【成人】</p> <p>仕事や生活に役立つテーマ展示を実施（継続）</p> <p>大人のための夜の朗読会の実施（継続）</p> <p>【高齢者】</p> <p>大活字本の収集・配架（継続）</p> <p>高齢者施設・サロンへの出張おはなし会の実施（継続・拡充）</p>	<p>【乳幼児】</p> <p>おはなし会の開催（継続）</p> <p>「本と赤ちゃんのなかよしタイム」の実施（継続）</p> <p>「赤ちゃんおはなし会0・1・2」の実施（継続）</p> <p>「ぬいぐるみのお泊まり会」の実施（継続）</p> <p>【児童】</p> <p>おはなし会の開催（継続）</p> <p>こども司書体験の実施（継続）</p> <p>「どくしょつうちょう」の配付（継続）</p> <p>子ども読書活動推進委員会との連携（継続）</p> <p>調べ学習に役立つテーマ展示の実施（継続）</p> <p>【青少年】</p> <p>青少年向けのブックリストの配布（継続）</p> <p>【成人】</p> <p>仕事や生活に役立つテーマ展示を実施（継続）</p> <p>大人のための夜の朗読会の実施（継続）</p> <p>【高齢者】</p> <p>大活字本の収集・配架（継続）</p> <p>高齢者施設・サロンへの出張おはなし会の実施（継続）</p>	<p>評価：◎</p> <p>【理由】</p> <p>各世代のニーズに応じた図書館資料の充実に努めた。乳幼児・児童向けには読書に親しむきっかけとなるイベント・おはなし会や3館合同企画の取組を行った。青少年向けには、ブックリストを作成し各学校に配布した。</p> <p>成人・高齢者向けには、講演会・図書館見学等のイベントや昼間参加できない人の読書活動推進のため、夜間イベントの開催や高齢者施設への出張おはなし会を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>読書離れが進み図書館を利用する機会の少ない青少年や社会人に対する読書活動を支援する。</p>	<p>【乳幼児】</p> <p>乳幼児のためのファーストブックリスト及び、セカンドブックリストの更新</p>
(2) 多様な学習機会の提供	<p>各館でテーマ図書展示を実施（継続）</p> <p>企画事業の実施</p> <p>・読書週間記念講演会（継続）</p> <p>・国立国会図書館関西館見学バスツアー（新規）</p> <p>・科学実験教室（継続）</p> <p>・リサイクル工作教室（継続）</p> <p>・宇治の魅力探訪ツアー「中宇治地域お地蔵さん巡り」（新規）</p> <p>関係部署と連携した取組の実施（継続）</p>	<p>各館でテーマ図書展示を実施（継続）</p> <p>企画事業の実施</p> <p>・読書週間記念講演会（継続）</p> <p>・国立国会図書館関西館見学バスツアー（継続）</p> <p>・科学実験教室（継続）</p> <p>・リサイクル工作教室（継続）</p> <p>関係部署と連携した取組の実施（継続）</p>	<p>各館でテーマ図書展示を実施（継続）</p> <p>企画事業の実施</p> <p>・読書週間記念講演会（継続）</p> <p>・国立国会図書館関西館見学バスツアー（継続）</p> <p>・科学実験教室（継続）</p> <p>・リサイクル工作教室（継続）</p> <p>関係部署と連携した取組の実施（継続・拡充）</p> <p>市民のデジタルリテラシー向上の取組の実施（新規）</p>	<p>評価：◎</p> <p>【理由】</p> <p>各世代ごとに興味を持ってもらえるようなテーマ展示、国立国会図書館見学、科学実験教室、リサイクル工作教室等の企画事業や歴史講演会、関係部署と連携した取組を行った。また、学習を支援する資料の充実に努めた。</p> <p>【課題】</p> <p>多様化・高度化している学習ニーズに必要な資料の充実や情報の収集、取組の少ない青少年や社会人に対する読書活動を支援する。</p>	<p>学習機会の拡充</p>

※ 評価 「◎」 達成 「○」 概ね達成 「△」 やや不十分 「▽」 不十分

第 2 次宇治市図書館事業計画施策評価

資料①

1 読む楽しさ、学ぶ喜びを創出する図書館	実施した取組			評価	今後着手する取組
	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
(3) 資料収集と蔵書の充実	京都市図書館の相互利用（継続） 京都府立図書館を中心とした公立図書館及び大学図書館との相互貸借（継続） 電子書籍の充実（継続）	京都市図書館の相互利用（継続） 京都府立図書館を中心とした公立図書館及び大学図書館との相互貸借（継続） 選書基準等のマニュアル更新 電子書籍の充実（継続）	京都市図書館の相互利用（継続） 京都府立図書館を中心とした公立図書館及び大学図書館との相互貸借（継続） 電子書籍の充実（継続）	評価　：　○ 【理由】 限られた蔵書スペースを有効に活用し、各分類の蔵書構成・利用者ニーズ等を考慮しながら効果的な資料の収集を行った。また、府立図書館を中心とした相互貸借を活用し利用者ニーズに応えるように努めた。 【課題】 限られた収蔵能力を最大限に活用し、バランスのとれた魅力的な蔵書構成にする資料の収集・更新が必要である。	
(4) 学校等との連携	市図書館と学校図書館協議会（継続） 幼稚園・小学校の図書館見学の受入（継続） 中学校の職場体験学習の受入（継続） 府立図書館学校支援セットの貸出（継続） 学校等団体貸出の実施（継続） 大学実習生の受入（継続） 電子図書館学校連携事業の開始（新規） 京都文教大学・短期大学図書館との連携（継続） 幼稚園・小学校への出張おはなし会（継続） 不登校児童生徒読書活動支援事業（継続）	市図書館と学校図書館協議会（継続） 幼稚園・小学校の図書館見学の受入（継続） 中学校の職場体験学習の受入（継続） 府立図書館学校支援セットの貸出（継続） 学校等団体貸出の実施（継続） 大学実習生の受入（継続） 電子図書館学校連携事業（継続） 図書館ボランティア研修会（共催：学校教育課）（継続） 京都文教大学・短期大学図書館との連携（継続） 幼稚園・小学校への出張おはなし会（継続・拡充） 不登校児童生徒読書活動支援事業（継続）	市図書館と学校図書館協議会（継続） 幼稚園・小学校の図書館見学の受入（継続） 中学校の職場体験学習の受入（継続） 府立図書館学校支援セットの貸出（継続） 学校等団体貸出の実施（継続） 大学実習生の受入（継続） 電子図書館学校連携事業（継続） 図書館ボランティア研修会（共催：学校教育課）（継続） 京都文教大学・短期大学図書館との連携（継続） 幼稚園・小学校への出張おはなし会（継続） 乳幼児教育・保育支援センター準備室との連携（新規） 不登校児童生徒読書活動支援事業（継続）	評価　：　○ 【理由】 幼稚園・小学校の図書館見学受入や中学校職場体験学習の受入を行った他、電子図書館学校連携事業として宇治市立の小学 3 年生から中学 3 年生まで専用 ID カードを配布し子どもの読書活動の推進を図った。また、学校図書館との連絡会を開催し意見交換を行っている。 【課題】 調べ学習等、電子図書館の利用可能な資料の収集や学校団体貸出を推進するような支援セットの検討等学校との連携強化が必要である。	乳幼児教育・保育支援センターとの連携 京都文教大学・短期大学との連携強化 府立支援学校での出張おはなし会の実施

※ 評価　「◎」達成　「○」概ね達成　「△」やや不十分　「▽」不十分

第2次宇治市図書館事業計画施策評価

資料①

2 情報の拠点として地域を支える図書館	実施した取組			評価	今後着手する取組
	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
(1) 情報サービスの充実	市広報紙やHP、SNSを活用した情報発信の実施（継続） レファレンスブック（白書・百科事典・参考資料等）の更新（継続）	市広報紙やHP、SNSを活用した情報発信の実施（継続） レファレンスブック（白書・百科事典・参考資料等）の更新（継続）	市広報紙やHP、SNSを活用した情報発信の実施（継続・拡充） レファレンスブック（白書・百科事典・参考資料等）の更新（継続）	評価：△ 【理由】 市広報誌やHP等積極的に情報発信を行っている。SNSでは新たに、市図書館公式Instagramを開始し更なる情報発信を図った。また、外部研修に参加し図書館職員の専門性向上に努めた。 【課題】 レファレンスブックの充実や更なる図書館職員の専門性向上が求められる。	レファレンス事例の記録と共有
(2) ICT化の推進	電子図書館学校連携事業の開始（新規） 視覚障害者専用電子図書館の開始（新規） スマートフォン体験講座（継続）	電子図書館学校連携事業（継続） 視覚障害者専用電子図書館（継続） インターネットサービスの拡充（新規） スマートフォン体験講座（継続）	電子図書館学校連携事業（継続） 視覚障害者専用電子図書館（継続） インターネットサービス利用講座の開催（新規） 電子図書館利用促進の取組（新規） 市公式LINE「カレンダー予約機能」によるイベント等の参加申込受付（新規） スマートフォン体験講座（継続）	評価：△ 【理由】 電子図書館学校連携事業を開始し、宇治市立小学3年生から中学3年生まで専用IDカードを配布、児童・生徒向けの電子書籍の充実に努めた。また、視覚障害者専用電子図書館も開始した。インターネットサービスを拡充、利用講座を開催し、図書館利用者の利便性向上に努めているが浸透していない。 【課題】 市民の情報活用能力向上を支援し、情報格差の解消に取り組む必要がある。	図書貸出券オンライン申請
(3) 課題解決支援サービスの充実	ブックスタート事業への協力（継続） 「行政支援サービス」の実施（継続） 不登校児童・生徒読書活動支援事業の実施（継続） 再掲 スマートフォン体験講座（継続） 再掲 視覚障害者向けスマートフォン講座（新規） 利用者の課題解決につながる検索閲覧支援（継続） 関係部署と連携した関連図書の展示や共催事業の実施（継続）	ブックスタート事業への協力（継続） 「行政支援サービス」の実施（継続） 不登校児童・生徒読書活動支援事業の実施（継続） 再掲 スマートフォン体験講座（継続） 再掲 利用者の課題解決につながる検索閲覧支援（継続） 関係部署と連携した関連図書の展示や共催事業の実施（継続）	ブックスタート事業への協力（継続） 「行政支援サービス」の実施（継続） 不登校児童・生徒読書活動支援事業の実施（継続） 再掲 スマートフォン体験講座（継続） 再掲 利用者の課題解決につながる検索閲覧支援（継続） 関係部署と連携した関連図書の展示や共催事業の実施（継続）	評価：△ 【理由】 資料収集やレファレンスサービスによる課題解決の支援や関係部署と連携した関連図書の展示や共催事業を行った。また、多様化する行政課題の解決・職員のスキルアップを目的とした行政支援サービスを実施した。 【課題】 利用者や行政職員が抱える課題の把握及び支援に役立つ資料の充実に努める必要がある。	テーマ別特集棚の拡充

※ 評価 「◎」 達成 「○」 概ね達成 「△」 やや不十分 「▽」 不十分

第 2 次宇治市図書館事業計画施策評価

資料①

3 地域文化を未来につなぐ 図書館	実施した取組			評価	今後着手する取組
	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
(1) 地域資料の充実	お茶に関する資料の収集・配架（継続） 源氏物語に関する資料の収集・配架（継続） 郷土資料の収集・配架（継続） 宇治コーナーの設置（継続）	お茶に関する資料の収集・配架（継続） 源氏物語に関する資料の収集・配架（継続） 郷土資料の収集・配架（継続） 宇治コーナーの設置（継続）	お茶に関する資料の収集・配架（継続） 源氏物語に関する資料の収集・配架（継続） 郷土資料の収集・配架（継続） 宇治コーナーの設置（継続・拡充）	評価　：　△ 【理由】 お茶や源氏物語に関する資料等地域資料の収集や宇治コーナー設置館を拡充した。 【課題】 博物館管理課と連携して地域資料や行政資料の適切な保存や管理を行うとともに、地域に関する様々な情報収集及び資料の収集が必要である。	博物館管理課と連携した資料の活用や取組の拡充
(2) 宇治に関する学習や研究の支援	宇治学に役立つ資料の収集・配架（継続） 宇治に関わる読書推進講座の開催（継続） 宇治の魅力探訪ツアー「中宇治地域お地蔵さん巡り」（新規） 宇治コーナーの設置（継続） 再掲	宇治学に役立つ資料の収集・配架（継続） 宇治に関わる読書推進講座の開催（継続） 宇治コーナーの設置（継続） 再掲	宇治学に役立つ資料の収集・配架（継続） 宇治に関わる読書推進講座の開催（継続） 宇治コーナーの設置（継続・拡充） 再掲	評価　：　○ 【理由】 宇治に関連する講演会やイベントを実施し、地域について学ぶ機会を提供した。 【課題】 宇治に広く関心を持ってもらうための取組が必要である。	

※ 評価　「◎」達成　「○」概ね達成　「△」やや不十分　「▽」不十分

第 2 次宇治市図書館事業計画施策評価

資料①

4 誰もが利用しやすい図書館	実施した取組			評価	今後着手する取組
	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
(1) 図書館の利便性向上	予約図書配本サービスの実施(継続・拡充) 館外返却ポスト (継続・拡充) 図書館利用案内更新	予約図書配本サービスの実施 (継続) 館外返却ポスト (継続) インターネットサービス利用案内更新 館内図書検索機 (OPAC) の機能拡充	予約図書配本サービスの実施 (継続) 館外返却ポスト (継続) 出張貸出・新規登録受付 (新規)	評価 : ○ 【理由】 スマートフォンでの図書貸出券表示等 インターネットサービスの機能拡充や 館内図書検索機の機能拡充、利用案内の 更新及び出張貸出・新規登録受付の取組 を新たに行った。 【課題】 外部施設での出張貸出の拡充、オンライ ンでの各種手続き等の検討などさらなる 利便性向上のための取組が必要である。	各種手続きの簡素化 外部施設での貸出券の発行 申込、返却図書受付 病院や施設等への団体貸出 の検討 図書郵送サービス (有料) 導 入の検討
(2) 要配慮者へのサービス充実	大活字本の収集 (継続) 声の図書館だより (継続) デイジー図書の郵送貸出 (継続) 対面朗読の実施 (継続) 障害者郵送サービスの実施 (継続) 視覚障害者専用電子図書館の開始 (新規) 宇治リーディングボランティア研修会の 実施 (継続) 視覚障害者向けスマートフォン講座 (新 規)	大活字本の収集 (継続) 声の図書館だより (継続) デイジー図書の郵送貸出 (継続) 対面朗読の実施 (継続) 障害者郵送サービスの実施 (継続) 視覚障害者専用電子図書館 (継続)	大活字本の収集 (継続) 声の図書館だより (継続) デイジー図書の郵送貸出 (継続) 対面朗読の実施 (継続) 障害者郵送サービスの実施 (継続) 視覚障害者専用電子図書館 (継続) 手話おはなし会 (継続)	評価 : △ 【理由】 声の図書館だよりや対面朗読等継続的 なサービスの他、視覚障害者専用電子図 書館を新たに開始した。なお、 多様な障害に対するサービスについて は検討の必要がある。 【課題】 利用者数が伸び悩んでおり、要配慮者へ のサービスについてのイベントや関連 する本の展示、関係部署との連携等を含 め必要とする人に情報が届くよう、広報 強化が必要である。	バリアフリー映画上映会等 の企画事業の実施の検討 関係部署や団体と連携した 広報強化 多様な障害に対するサービ スの検討

※ 評価 「◎」 達成 「○」 概ね達成 「△」 やや不十分 「▽」 不十分

第2次宇治市図書館事業計画施策評価

資料①

4 誰もが利用しやすい 図書館	実施した取組			評価	今後着手する取組
	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
(3) 多文化対応サービスの充実	英字新聞の配架（継続） 外国語絵本の貸出（継続） 外国語図書の収集（電子図書館）（継続）	英字新聞の配架（継続） 外国語絵本の貸出（継続） 外国語図書の収集（電子図書館）（継続）	英字新聞の配架（継続） 外国語絵本の貸出（継続） 外国語図書の収集（電子図書館）（継続）	評価： ▽ 【理由】 英字新聞の配架、外国語絵本の貸出、電子図書館の外国語資料の収集のみに留まった。 【課題】 外国語を母語とした人が利用できる環境の整備及びサービスが必要である。	多言語によるおはなし会の検討 やさしい日本語による情報提供
(4) 図書館利用の促進	市広報紙やHP、SNSを活用した情報発信の実施（継続） 季節に応じた館内ディスプレイの実施（継続） 図書除菌機の設置（継続） 夜間イベントの実施（継続） 団体等の見学の受入（継続）	市広報紙やHP、SNSを活用した情報発信の実施（継続） 季節に応じた館内ディスプレイの実施（継続） 図書除菌機の設置（継続） 夜間イベントの実施（継続） 団体等の見学の受入（継続）	市広報紙やHP、SNSを活用した情報発信の実施（継続・拡充） 季節に応じた館内ディスプレイの実施（継続） 図書除菌機の設置（継続） 夜間イベントの実施（継続） 団体等の見学の受入（継続） 出張貸出・新規登録受付（新規） <div>再掲</div>	評価： ○ 【理由】 各種イベント等図書館について宇治市広報紙やHP、SNSを活用して情報発信を行っており、令和6年度にはInstagramを新たに開始し情報発信の強化を図った。また、キーワード登録により関連の新着図書の案内をインターネットサービスで開始した。 【課題】 来館を促す企画事業の実施、出張貸出などのアウトリーチサービスの拡充、図書館サービスの情報発信の強化が必要である。	やさしい日本語による情報提供 <div>再掲</div> アウトリーチサービスの拡充
(5) 地域施設・団体との連携	幼稚園・子育て関連施設等への出張おはなし会の実施（継続・拡充） 高齢者施設・サロンへの出張おはなし会の実施（継続） <div>再掲</div> 団体等との連携事業の実施（新規） 団体貸出（継続） 地域施設へのリサイクル図書の活用（継続）	幼稚園・子育て関連施設等への出張おはなし会の実施（継続・拡充） 高齢者施設・サロンへの出張おはなし会の実施（継続・拡充） <div>再掲</div> 団体等との連携事業の実施（新規・拡充） 図書館ボランティア研修会（共催：学校教育課）（継続） 団体貸出（継続） 地域施設へのリサイクル図書の活用（継続）	幼稚園・子育て関連施設等への出張おはなし会の実施（継続） 高齢者施設・サロンへの出張おはなし会の実施（継続） <div>再掲</div> 団体等との連携事業の実施（新規・拡充） 図書館ボランティア研修会（共催：学校教育課）（継続） 団体貸出（継続） 地域施設へのリサイクル図書の活用（継続）	評価： ○ 【理由】 図書館サークルによるおはなし会等活動機会の提供や共催事業の実施、地域施設への出張おはなし会、地域家庭文庫への団体貸出などを行い読書活動の推進を支援している。 【課題】 地域施設・団体との連携事業の拡充が必要である。	アウトリーチサービスの拡充 <div>再掲</div>

※ 評価 「◎」 達成 「○」 概ね達成 「△」 やや不十分 「▽」 不十分

第2次宇治市図書館事業計画施策評価

資料①

5 人とともに成長する 図書館	実施した取組			評価	今後着手する取組
	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
(1) 事業計画	宇治市図書館事業計画で掲げた施策にも とづき、各種事業を実施	宇治市図書館事業計画で掲げた施策にも とづき、各種事業を実施	宇治市図書館事業計画で掲げた施策にも とづき、各種事業を実施 第3次図書館事業計画策定に向けた検討 事業点検・評価の実施	評価：○ 【理由】 現事業計画に基づき各種事業を実施、事 業点検・評価、次期図書館事業計画に向 けた検討を行っている。 【課題】 実施できていない取組についてはその 原因を分析し次期計画に反映していく。	災害時等非常時における図 書館サービスのあり方の検 討
(2) 図書館職員の資質向上	京都府立図書館など外部研修への参加 (継続) 3館合同研修の実施(継続) 職場会議、担当者会議の実施(継続)	京都府立図書館など外部研修への参加 (継続) 3館合同研修の実施(継続) 職場会議・担当者会議の実施(継続)	京都府立図書館など外部研修への参加 (継続) 3館合同研修、司書会議の実施(継続) 職場会議・担当者会議の実施(継続)	評価：△ 【理由】 質の高い図書館サービス提供のため、外 部研修への参加や合同研修、職場会議を 実施した。 【課題】 定期的な司書会議の開催や研修機会を 増やすとともに、業務マニュアルを整備 し、職員の知識・技量の向上を図る。	図書館運営を担う人材の育 成 業務マニュアルの整備

※ 評価 「◎」達成 「○」概ね達成 「△」やや不十分 「▽」不十分

宇治市図書館市民ニーズ調査実施概要及び集計結果

1. ニーズ調査の実施について

(1)調査目的

宇治市図書館事業計画(第3期)を策定するにあたり、市図書館に対する市民ニーズを的確に把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として、市民ニーズ調査を実施しました。

(2)調査概要

- ① 調査地域 宇治市全域
- ② 調査対象 令和7年5月15日現在の住民基本台帳から無作為抽出した満18歳以上の市民2,000人及び制限なし(任意の回答者)
- ③ 調査方法 郵送による無記名アンケート方式及びホームページ上に二次元コード表示
- ④ 回答方法 着払いによる郵送及び京都府・市町村共同電子申請システムを使用したオンライン回答
- ⑤ 調査期間 令和7年6月24日(火)～7月15日(火)

(3)回答結果

アンケート送付数	有効回答数 (内オンライン回答数)	回答率
2,000	580(77)	29.0%

任意回答数	有効回答数(合計)
31	611人

※集計分析にあたって

図表内の割合を示す数値は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。
そのため、合計値は必ずしも100になりません。

2. 主な集計結果

- 問 1. お住まいの地域:概ね地域別回答割合は前回(令和3年度)同様である。
- 問 2. 年齢:前回より60歳代及び80歳以上の回答割合が高くなった。
- 問 3. 職業:概ね職業回答割合は前回同様「無職」「会社員・公務員」「パート・アルバイト」が上位である。
- 問 4. 宇治にお住いの回答割合が「16～20年」9.3%(前回8.3%)「21年以上」74.1%(前回69.0%)と前回より増加した。
- 問 5. 図書館の利用頻度:概ね変わらないが前回より「よく利用する」が若干増加した。
年代別では「よく利用する」「たまに利用する」の回答は40代～70代が多いが、回答割合は40代、次いで60代が多い。
- 問 6. 図書館の利用しない理由:前回同様「図書館が家から遠い」「図書館への交通が不便」という回答も多いが、「図書館に行く必要性を感じない、興味がない」「本や雑誌は購入する」という回答も多かった。
- 問 7. 図書館のサービスの認知度:「本などの貸出しができる」「新聞の閲覧ができる」「本などの予約やリクエストができる」の認知度は高いが、「SNSを利用した情報発信」は前回に引き続き低かった。
- 問 8. 充実してほしい資料:前回と上位3位に変わりはない。年代別でも前回同様全ての年代で「新しい本」「趣味・実用書」「新しい雑誌」を望む回答が多かった。

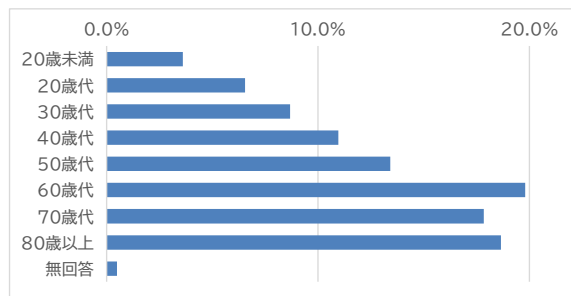
- 問 9. 追加・充実してほしいサービス:前回同様「図書館資料の充実」「貸出期間」、次いで「高齢者に対するサービス」を望む回答が多かった。全ての年代で「図書館資料の充実」「貸出期間」について望む回答が多かったが、「高齢者に対するサービス」は 60 代以上の回答が多かった。また、50 代以下では「開館時間を延長する」を望む回答が多かった。
- 問 10. 追加・充実してほしい環境・設備:「無料 Wi-Fi が使える環境」「インターネットが利用できる環境」上位 2 位で前回同様である。次いで前回は「持ち込みのパソコン等が使える環境」であったが、今回は「照明・トイレ・バリアフリーなどの館内の設備」を望む回答となった。年代別においても、前回同様 80 歳以上を除く全ての年代で「無料 Wi-Fi が使える環境」望む回答が多く、また 60 代以上では「照明・トイレ・バリアフリーなどの館内の設備」「分かりやすい館内表示」を望む声が多い。
- 問 11. 図書館で取り組んでほしい行事・イベント:順位の入れ替わりはあるが、「医療・福祉の相談会・講座」「法律・司法手続きの相談会・講座」「インターネット・スマートフォンなどの使い方講座」上位 3 位の内容は前回同様変わらない。
- 問 12. レファレンスサービスの利用を利用したことがあるか:「はい」の割合は回答者全体の 15.9%である。
- 問 13. レファレンスサービスを利用した目的:「探している本・資料の所在確認」が 74.3%を占めており、次いで「知りたいテーマに関する情報探し」は 11.5%である。
- 問 14. レファレンスサービスの満足度:「満足」「やや満足」合わせて 84.5%を占めている。
- 問 15. レファレンスサービスを利用していない理由:「サービスがあることを知らなかった」が 46.3%「利用の仕方が分からなかった」が 7.8%と合わせると半数以上を占めている。
- 問 16. 今後レファレンスサービス利用したいか:「機会があれば利用したい」が 48.0%と半数近くを占めている。
- 問 17. 図書館のインターネット上のサービスの認知度:順序の入れ替わりは多少あるが、「本などの蔵書検索」「本などの予約」「交通アクセス、開館日、休館日、貸出手続きなどの利用案内」上位 3 位の内容は変わらない。
- 問 18. 図書館の SNS の利用について:「利用している」の回答割合は 7.0%にとどまっている。利用している場合、「LINE」が 58.2%を占める。
- 問 19. 図書館の SNS を利用していない理由:「このサービスを知らなかった」が 60.4%を占めて最も多く、次いで「今までのインターネットサービスで満足している」12.3%となっている。
- 問 20. 電子図書館サービスの利用について:「利用している」6.1%と前回 0.7%より回答割合が増加しているが、「利用していない」が 87.9%とまだまだ利用率が低い。年代別利用割合は 30 代 40 代が高い。
- 問 21. 電子図書館でよく読んでいる本のジャンル:「小説」「料理・手芸」「ビジネス」が上位 3 位であり、43.6%を占めている。
- 問 22. 電子図書館で今後読みたい本のジャンル:読んでいる本のジャンルと順位同じく「小説」が最も多く、次いで「旅行(ガイドブック・地図)」となっており、次に「健康・医療」と「ビジネス」になっている。
- 問 23. 電子図書館を利用して良かった点、悪かった点:良かった点「図書館に行かなくても本を借りることができる」「24 時間いつでも利用できる」「自動返却ができる」、悪かった点「蔵書が少ない」「読みたい本がない」「貸出点数が少ない」となっている。
- 問 24. 電子図書館サービスを利用していない理由:「このサービスを知らなかった」35.4%(前回 56.7%)と認知度は上がってきているが、「紙の書籍がよい」29.4%(前回 25.0%)と回答割合が増加している。

1 あなたのお住まいの地域を教えてください。

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
1	六地蔵	2	14	1	17	2.8%	14	2.0%
2	木幡	19	80	3	102	16.7%	115	16.5%
3	平尾台	0	6	1	7	1.1%	7	1.0%
4	五ヶ庄	5	52	0	57	9.3%	60	8.6%
5	菟道	4	32	2	38	6.2%	38	5.5%
6	羽戸山	1	5	1	7	1.1%	6	0.9%
7	志津川	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
8	明星町	2	3	1	6	1.0%	9	1.3%
9	宇治	11	62	7	80	13.1%	100	14.4%
10	琵琶台	0	3	0	3	0.5%	8	1.1%
11	折居台	0	4	0	4	0.7%	12	1.7%
12	天神台	1	0	0	1	0.2%	5	0.7%
13	白川	0	5	0	5	0.8%	2	0.3%
14	神明	2	18	2	22	3.6%	24	3.4%
15	羽拍子町	0	4	0	4	0.7%	4	0.6%
16	南陵町	3	9	1	13	2.1%	13	1.9%
17	槇島町	6	28	0	34	5.6%	38	5.5%
18	小倉町	3	51	3	57	9.3%	69	9.9%
19	伊勢田町	7	49	2	58	9.5%	56	8.0%
20	安田町	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
21	開町	0	8	1	9	1.5%	5	0.7%
22	広野町	8	49	4	61	10.0%	67	9.6%
23	寺山台	0	0	1	1	0.2%	3	0.4%
24	大久保町	3	16	1	20	3.3%	30	4.3%
25	炭山・二尾・池尾・東笠取・西笠取	0	1	0	1	0.2%	2	0.3%
	無回答	—	4	—	4	0.7%	9	1.3%
	計	77	503	31	611		696	

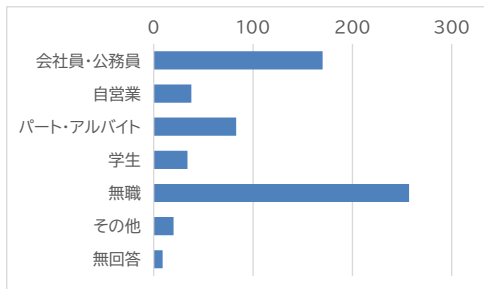
2 あなたの年齢を教えてください。

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
1	20歳未満	10	12	0	22	3.6%	22	3.2%
2	20歳代	10	27	3	40	6.5%	50	7.2%
3	30歳代	12	38	3	53	8.7%	61	8.8%
4	40歳代	13	42	12	67	11.0%	104	14.9%
5	50歳代	13	63	6	82	13.4%	119	17.1%
6	60歳代	11	104	6	121	19.8%	103	14.8%
7	70歳代	7	101	1	109	17.8%	149	21.4%
8	80歳以上	1	113	0	114	18.7%	79	11.4%
	無回答	—	3	—	3	0.5%	9	1.3%
	計	77	503	31	611		696	



3 あなたの職業を教えてください。

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
1	会社員・公務員	34	120	16	170	27.8%	211	30.3%
2	自営業	3	31	4	38	6.2%	30	4.3%
3	パート・アルバイト	9	69	5	83	13.6%	103	14.8%
4	学生	13	20	1	34	5.6%	23	3.3%
5	無職	18	235	4	257	42.1%	298	42.8%
6	その他	0	19	1	20	3.3%	17	2.4%
	無回答	—	9	—	9	1.5%	14	2.0%
	計	77	503	31	611		696	

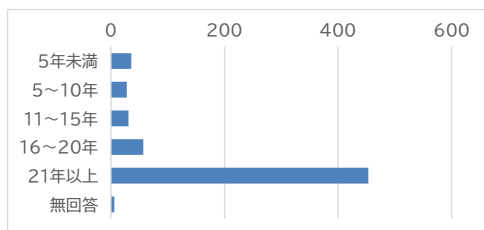


その他内容

会社経営/大工/団体職員/技能実習生/主婦/特定技能実習生/事務/主婦/年金生活者/ガイドヘルパー/契約社員/主婦/非常勤国家公務員/演奏家のフリーランス/年金受給者/ケアマネジャー/事務局/専門学校非常勤講師

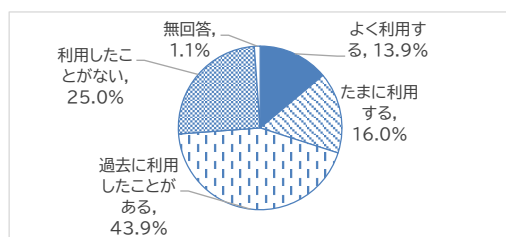
4 あなたが宇治市にお住まいになってからどのくらいになりますか。

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
1	5年未満	6	27	3	36	5.9%	54	7.8%
2	5～10年	3	21	4	28	4.6%	36	5.2%
3	11～15年	6	20	5	31	5.1%	50	7.2%
4	16～20年	11	42	4	57	9.3%	58	8.3%
5	21年以上	51	387	15	453	74.1%	480	69.0%
	無回答	—	6	—	6	1.0%	18	2.6%
	計	77	503	31	611		696	



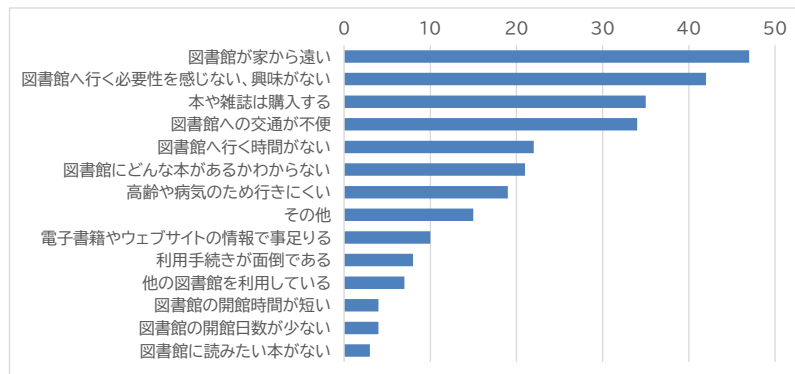
5 宇治市図書館（中央・東宇治・西宇治）を利用されたことはありますか？

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
1	よく利用する	10	61	14	85	13.9%	68	9.8%
2	たまに利用する	10	77	11	98	16.0%	121	17.4%
3	過去に利用したことがある	44	219	5	268	43.9%	321	46.1%
4	利用したことがない	13	139	1	153	25.0%	178	25.6%
	無回答	—	7	—	7	1.1%	8	1.1%
	計	77	503	31	611		696	



6 図書館を利用しない理由は何ですか？（5で「利用したことがない」と回答）

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
1	図書館が家から遠い	0	47	0	47	17.3%	79	22.3%
13	図書館へ行く必要性を感じない、興味が無い	3	39	0	42	15.5%	41	11.5%
10	本や雑誌は購入する	0	35	0	35	12.9%	63	17.7%
2	図書館への交通が不便	0	33	1	34	12.5%	41	11.5%
12	図書館へ行く時間がない	1	21	0	22	8.1%	25	7.0%
6	図書館にどんな本があるかわからない	1	20	0	21	7.7%	30	8.5%
11	高齢や病気のため行きにくい	0	19	0	19	7.0%	19	5.4%
14	その他	1	14	0	15	5.5%	15	4.2%
9	電子書籍やウェブサイトの情報で事足りる	0	10	0	10	3.7%	13	3.7%
7	利用手続きが面倒である	0	8	0	8	3.0%	9	2.5%
8	他の図書館を利用している	0	7	0	7	2.6%	9	2.5%
3	図書館の開館時間が短い	0	4	0	4	1.5%	4	1.1%
4	図書館の開館日数が少ない	0	4	0	4	1.5%	0	0.0%
5	図書館に読みたい本がない	0	3	0	3	1.1%	7	2.0%



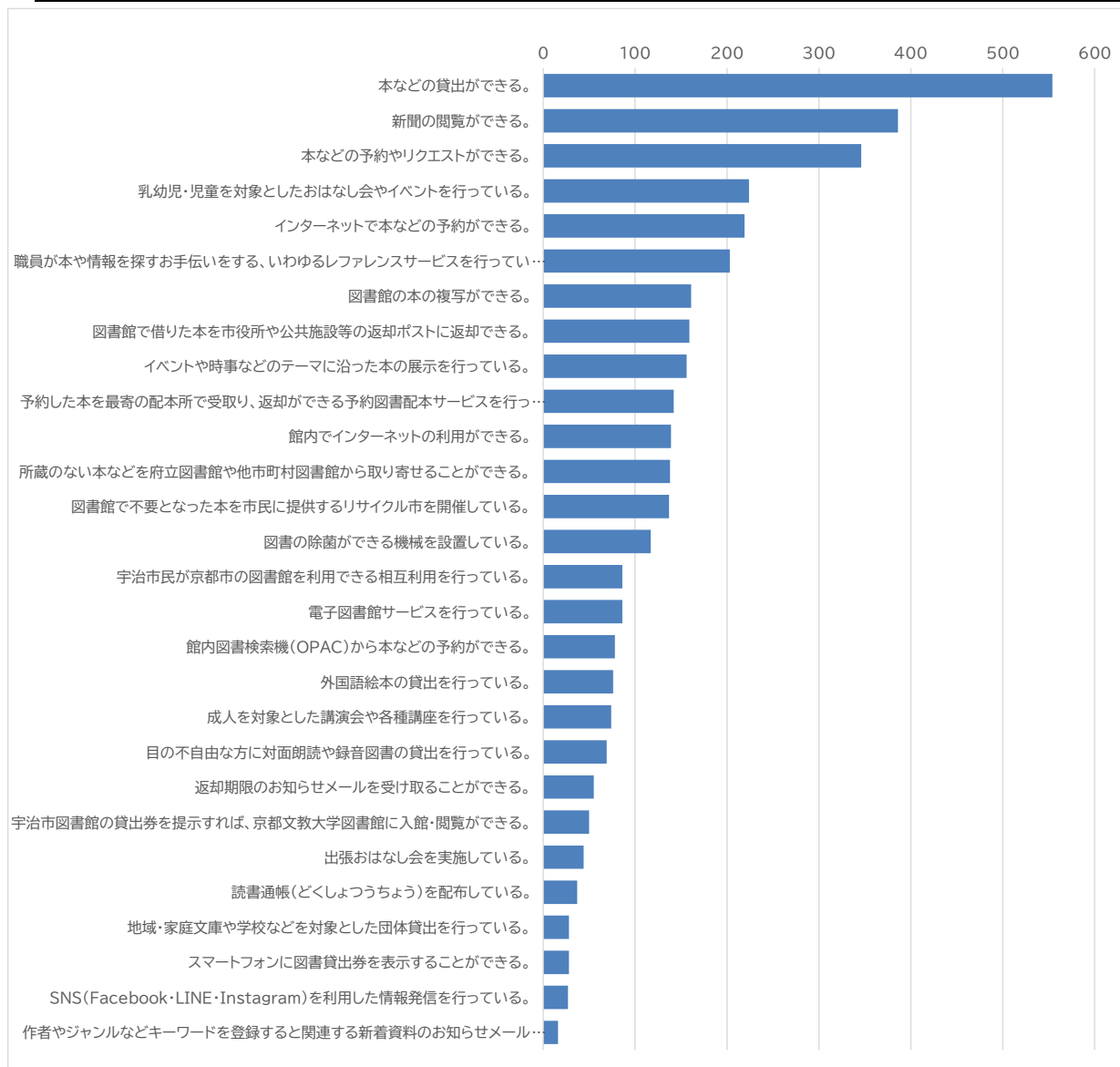
その他内容

図書館がどこにあるかわからない/月曜日が私の休日のため/分からないため/本屋で買う/行く時間がない/図書館場所を知らない/どこにあるかわからない/図書館の場所を知らない。自宅から遠くだといけない。/仕事が月曜日休みで図書館が利用できない。/場所知らない/よく分からない/カフェ併設など今どきの図書館なら行ってみたい。/利用時の手続き（登録？）が分からない/図書館の場所が分からない/ぶっちゃけ図書館に行く必要が出てくる場合は国立国会図書館関西館まで行きます。（現実性と快適性の観点から）

7 宇治市図書館は読書環境や利便性の向上のため、次のサービスを行っています。ご存知のものに○をつけてください。

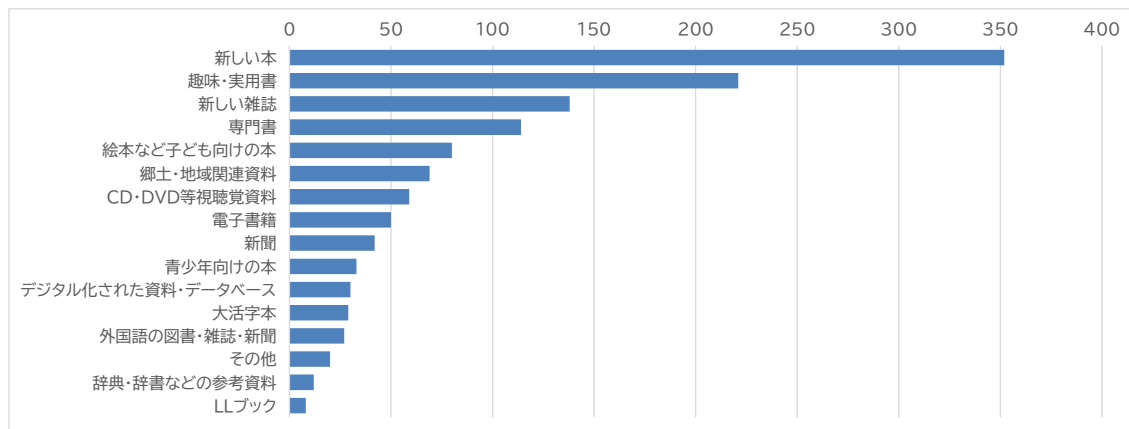
選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
1	本などの貸出ができる。	76	447	31	554	14.4%	578	12.3%
5	新聞の閲覧ができる。	51	309	26	386	10.1%	489	10.4%
2	本などの予約やリクエストができる。	48	269	29	346	9.0%	427	9.1%
14	乳幼児・児童を対象としたおはなし会やイベントを行っている。	31	174	19	224	5.8%	325	6.9%
3	インターネットで本などの予約ができる。	32	160	27	219	5.7%	239	5.1%
6	職員が本や情報を探してお手伝いをする、いわゆるレファレンスサービスを行っている。	30	153	20	203	5.3%	236	5.0%
4	図書館の本の複写ができる。	21	121	19	161	4.2%	248	5.3%
22	図書館で借りた本を市役所や公共施設等の返却ポストに返却できる。	23	116	20	159	4.1%	148	3.2%
16	イベントや時事などのテーマに沿った本の展示を行っている。	24	117	15	156	4.1%	219	4.7%
7	予約した本を最寄の配本所で受取り、返却ができる予約図書配本サービスを行っている。	19	104	19	142	3.7%	169	3.6%
9	館内でインターネットの利用ができる。	27	98	14	139	3.6%	168	3.6%
8	所蔵のない本などを府立図書館や他市町村図書館から取り寄せることができる。	18	102	18	138	3.6%	162	3.5%
12	図書館で不要となった本を市民に提供するリサイクル市を開催している。	18	100	19	137	3.6%	193	4.1%
23	図書の除菌ができる機械を設置している。	13	84	20	117	3.1%	100	2.1%
10	宇治市民が京都市の図書館を利用できる相互利用を行っている。	12	60	14	86	2.2%	131	2.8%

24	電子図書館サービスを行っている。	16	50	20	86	2.2%	60	1.3%
25	館内図書検索機（OPAC）から本などの予約ができる。	16	47	15	78	2.0%	—	—
11	外国語絵本の貸出を行っている。	15	48	13	76	2.0%	155	3.3%
15	成人を対象とした講演会や各種講座を行っている。	11	49	14	74	1.9%	111	2.4%
13	目の不自由な方に対面朗読や録音図書の貸出を行っている。	13	45	11	69	1.8%	144	3.1%
28	返却期限のお知らせメールを受け取ることができる。	11	32	12	55	1.4%	—	—
20	宇治市図書館の貸出券を提示すれば、京都文教大学図書館に入館・閲覧ができる。	19	12	19	50	1.3%	44	0.9%
18	出張おはなし会を実施している。	10	28	6	44	1.1%	84	1.8%
17	読書通帳（どくしょつうちょう）を配布している。	6	22	9	37	1.0%	71	1.5%
19	地域・家庭文庫や学校などを対象とした団体貸出を行っている。	5	17	6	28	0.7%	87	1.9%
26	スマートフォンに図書貸出券を表示することができる。	6	13	9	28	0.7%	—	—
21	SNS（Facebook・LINE・Instagram）を利用した情報発信を行っている。	7	14	6	27	0.7%	101	2.2%
27	作者やジャンルなどキーワードを登録すると関連する新着資料のお知らせメールが届く。	2	11	3	16	0.4%	—	—



8 充実してほしい資料にチェックをつけてください。

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
1	新しい本	47	285	20	352	27.4%	385	26.2%
7	趣味・実用書	14	200	7	221	17.2%	214	14.6%
2	新しい雑誌	19	116	3	138	10.7%	146	9.9%
6	専門書	26	78	10	114	8.9%	122	8.3%
4	絵本など子ども向けの本	11	66	3	80	6.2%	120	8.2%
12	郷土・地域関連資料	5	58	6	69	5.4%	80	5.4%
10	CD・DVD等視聴覚資料	7	48	4	59	4.6%	60	4.1%
14	電子書籍	17	28	5	50	3.9%	52	3.5%
3	新聞	9	25	8	42	3.3%	28	1.9%
5	青少年向けの本	4	24	5	33	2.6%	23	1.6%
15	デジタル化された資料・データベース	8	22	0	30	2.3%	38	2.6%
9	大活字本	2	26	1	29	2.3%	37	2.5%
13	外国語の図書・雑誌・新聞	4	17	6	27	2.1%	24	1.6%
16	その他	6	12	2	20	1.6%	14	1.0%
11	辞典・辞書などの参考資料	0	12	0	12	0.9%	19	1.3%
8	LLブック	1	5	2	8	0.6%	—	—

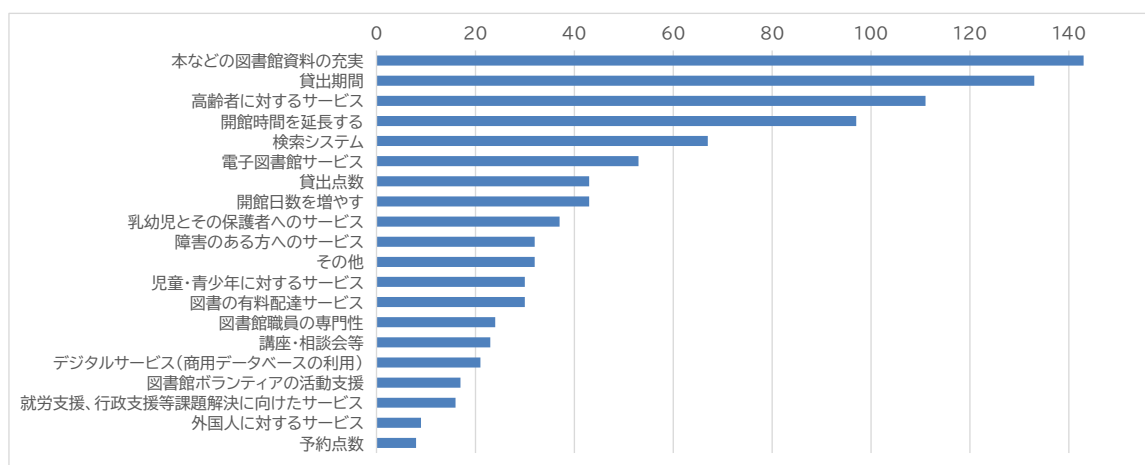


その他内容

興味がないので充実する必要を感じない/参考書/旅行のガイドブック等は、古い本ではあまり意味がないので、更新してほしい/古い新聞(太平洋戦争以前)が読みたいです/マンガ/旅行雑誌/観光の本(るるぶなど)、図鑑(小学館のNEOなど)/室生犀星の本/映像関係/小説文庫本/小説文庫本/美術書/リラククス出来るスペース/更新(改版)された本 ex.NHKアクセント謡曲/連載小説を順番に読み隊が揃わない小説が多い/手芸とか趣味の本。人生の歩み、一人一人の生き方を知りたい/実用書はあるが、実際に仕事に役立てられるかという微妙な印象。ビジネスマンの意見を取り入れては？/良質のマンガ

9 追加・充実してほしいサービスなどに○をつけてください。

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
1	本などの図書館資料の充実	20	107	16	143	14.8%	159	13.2%
3	貸出期間	20	107	6	133	13.7%	152	12.6%
9	高齢者に対するサービス	5	102	4	111	11.5%	121	10.0%
6	開館時間を延長する	13	71	13	97	10.0%	117	9.7%
7	検索システム	16	48	3	67	6.9%	110	9.1%
12	電子図書館サービス	13	38	2	53	5.5%	78	6.5%
2	貸出点数	11	31	1	43	4.4%	42	3.5%
5	開館日数を増やす	5	35	3	43	4.4%	67	5.5%
11	乳幼児とその保護者へのサービス	4	31	2	37	3.8%	59	4.9%
10	障害のある方へのサービス	2	29	1	32	3.3%	63	5.2%
20	その他	5	20	7	32	3.3%	21	1.7%
8	児童・青少年に対するサービス	7	21	2	30	3.1%	45	3.7%
14	図書の有料配達サービス	3	26	1	30	3.1%	29	2.4%
19	図書館職員の専門性	3	17	4	24	2.5%	30	2.5%
15	講座・相談会等	0	23	0	23	2.4%	34	2.8%
18	デジタルサービス（商用データベースの利用）	8	12	1	21	2.2%	26	2.2%
16	図書館ボランティアの活動支援	2	14	1	17	1.8%	15	1.2%
17	就労支援、行政支援等課題解決に向けたサービス	3	11	2	16	1.7%	16	1.3%
13	外国人に対するサービス	1	8	0	9	0.9%	12	1.0%
4	予約点数	2	6	0	8	0.8%	12	1.0%



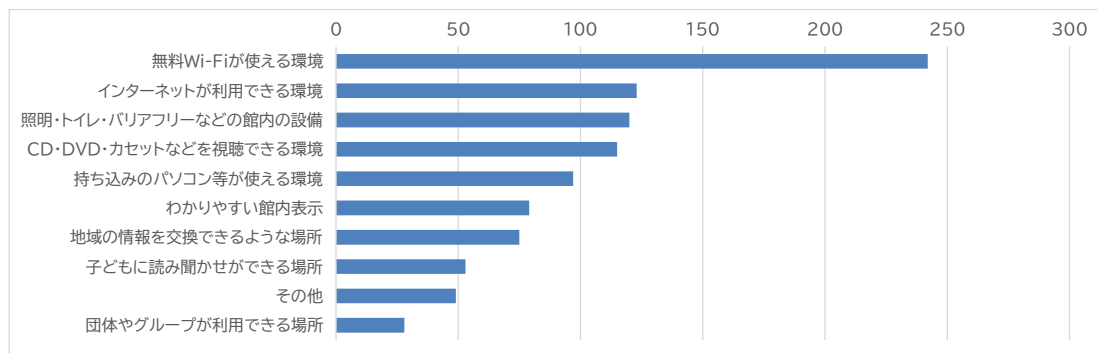
その他内容

返却ポストの設置場所増加（三室戸駅、黄檗駅など仕事帰りに利用できる場所）/自習できるスペース

/興味がないので充実する必要性を感じない/特になし/予約した本を公共施設で受け取れるようにしてほしい/勉強しても可/自習室の設置/電子図書の貸出点数を2点からもう少し増やしてほしい/図書館内に勉強できるスペースを設けてほしい。/自習室を作ってほしい。/手話による読み聞かせ/大久保エリアに図書館がない。/南部地域への図書館機能の拡充/図書館での学習スペースの配置/読書スペースの拡大/移動図書館/駅と図書館を行き来する送迎バスの運行/新刊には興味が強くなるべく早めに揃えていただければ読んでみたい/図書館のHPをもう少し分かりやすくして使いやすくしてほしい。/アクセスのさらなる充実（バスなど）/幸いにも周辺には図書館が多い自治体なので宇治市は子どもや中高生向けに全力投球でもよいような気がします。/自習、学習/椅子を増やしてください。/配本所の増設（存在自体も未だ認知度が高いとはいえない、職場等で他の方に教えてあげる度に驚かれる）開館時間の繰り下げ。毎日ではなくてよいので、開館を遅らせ、夜間まで開ける。府内一冊の資料は除籍しないで府立に移管などしてほしい。そうすれば相貸をかければ今後も読めるので。郷土資料としてお茶のほか、テレビゲームやアニメ・漫画に関する資料も重点収集してほしい。交通アクセスもだが、借りやすさ・返しやすさももっと必要。木幡公民館や開地域福祉センターでは土日に受け渡しができない点は困っている。市役所の地下玄関にも返却ポストがあるが、夜間受付の時間は広範であるため深夜や祝日でも中央図書館まで行かずに返却できることも宣伝した方がよい。/外出のむずかしい市民に向けたサービス（移動図書館など）/レファレンスがあるが実用的な業務に役立つ水準のものが気になる。商用データベースを入れてほしい。/特にありません/大人向けのイベントも、職員には若い方が多い印象があるが高齢者向きな気が・・・同年代向けの企画もやったら利用が増えると思います/市長が子育てを強く言っておられる割には他のまちとあまり変わらないただの図書館のイメージです。しかも館内に高齢者がたくさんおり、子どもと一緒にいると気を遣います。子育てに役立つ本をそろえること、子どもとくつろげる個室を作ること。/今のサービスで十分やっていただいていると思います。行くとたびにいろんな本の紹介があり魅力的です。ありがとうございます。他の図書館でもやっているような新規の試みは取り入れて周知していただければと思います。

10 追加・充実してほしい環境・設備に○をつけてください。

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
4	無料Wi-Fiが使える環境	52	178	12	242	24.7%	256	22.3%
3	インターネットが利用できる環境	24	96	3	123	12.5%	157	13.7%
9	照明・トイレ・バリアフリーなどの館内の設備	16	97	7	120	12.2%	137	12.0%
1	CD・DVD・カセットなどを視聴できる環境	14	97	4	115	11.7%	133	11.6%
2	持ち込みのパソコン等が使える環境	19	72	6	97	9.9%	146	12.7%
8	わかりやすい館内表示	7	68	4	79	8.1%	82	7.2%
5	地域の情報を交換できるような場所	3	66	6	75	7.6%	81	7.1%
6	子どもに読み聞かせができる場所	6	44	3	53	5.4%	90	7.9%
10	その他	6	33	10	49	5.0%	17	1.5%
7	団体やグループが利用できる場所	3	22	3	28	2.9%	47	4.1%



その他内容

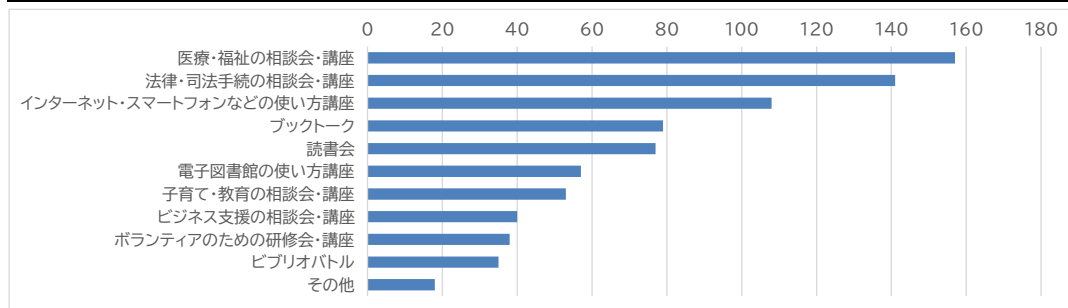
学生が勉強もできる環境/分館の面積拡充(中央館には行きにくい)黄檗に京大の宇治キャンパスがあるので受取・返却ポストの設置など何かしら取り組みがあると嬉しい/自習できるスペース/自習スペース/自習スペース/本を読むスペースがもっとあると良い。/机やすい/カフェと併設している環境、おしゃれな設備/マンガ/カフェスペース/図書館内に勉強できるスペースを設けてほしい。/本を読むゆったりした机のある環境/自習スペース/受験期の勉強できるフリースペースが欲しかった。(2025受験) 宇治市には、そういった場所をみつけられず、京都駅の有料スペースまで通い、時間とお金がかかった。 /座れる場所、勉強できる場所をもっと増やしてほしい。/駐車場の充実/D V Dを借りられる/乳児・幼児等が母子で楽しく(ほんの読み聞かせ等で) 過ごせる環境を。小さい子どもたちの読書に関心を向けるための図書館の環境づくりをお願いいたします。孫(現在24歳)を連れて、昔はお世話になりました。/読書スペース・自習スペースの設置・拡充/ゆっくりと座って読めるソファやイス、IKEAのような感じの。/地位角の公民館などで本を受け取れるシステム/自習室(スペース)/学生が勉強できる空間/南部地域への図書館機能の拡充/学習スペースがあれば、利用したい人がたくさんいると思います。/自習できるスペース/老眼鏡を数種揃えてほしい。/古い書籍の処分をしてもよいのではないのでしょうか。 においがきついのが時々あります。/自習室など勉強できる場所/おすすめの本の掲示/自習勉強ができる環境/ワーク、勉強スペース/靴の履き替えが面倒/H Pに館内の写真がないのはいかかなものかと/椅子を増やしてください。/清掃

とにかく収蔵能力(人口を考えると今の倍必要。利用が少ないが保存すべき閉架の資料は学校の空き教室、生涯学習センター3階の図書室などに移管できないか)あるいは他自治体と分担収集をする。大阪府では何館も所蔵があり大阪府内同士であれば相互貸借をできればよいが、京都府内には京都市以外に大きな自治体がないせいか大学・府立・国会関西館を含めて一冊もない資料が時折みられる。この点でいつも文化的格差を感じる。また宇治地区の新しい公共施設にも図書コーナーを設置されると聞いたが、図書館の蔵書と共通にして貸出処理もその施設の方に行っていたらいいか。レファレンス機能やイベントスペースは無くても、少しでも資料を揃えるため。こういった取り組みがみられる自治体もある。/図書館に求めることではないかもしれませんが、勉強スペースが欲しいです。/勉強するスペース

ゆっくり本が読める環境/駐車スペース/自習できる場所、パソコンが使える環境/特にありません/ママパパ仲間同士で本を読みながら話せるようにしてほしい。おはなし会の部屋やコミュニティセンターの開放とかお願いできますか? /人と話しながら考えをまとめられる場所。→図書館は学ぶ、知恵をいただく場であることを前提としたお話しにはなってしまいますが、1人で学ぶこと以外の学び方があっていいと思います。図書館に静かな場所(クワイエットゾーン)と話しながら学べる場所(アクティブゾーン)のようなものがあっていいのかな?とアイデアベースですが。/本が読める場所を増設して欲しい 出来ればカフェスペースなどで読みたい/自習スペース(図書館内でなくてもイベント用スペースを使っていない時、学校の長期休み期間など)

11 今後、図書館で取り組んでほしい行事・イベントに○をつけてください。

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
8	医療・福祉の相談会・講座	27	128	2	157	19.6%	154	32.3%
9	法律・司法手続の相談会・講座	18	118	5	141	17.6%	136	28.5%
10	インターネット・スマートフォンなどの使い方講座	12	88	8	108	13.4%	155	32.5%
3	ブックトーク	15	55	9	79	9.8%	46	9.6%
1	読書会	12	57	8	77	9.6%	76	15.9%
4	電子図書館の使い方講座	11	43	3	57	7.1%	104	21.8%
7	子育て・教育の相談会・講座	18	32	3	53	6.6%	83	17.4%
6	ビジネス支援の相談会・講座	8	24	8	40	5.0%	46	9.6%
5	ボランティアのための研修会・講座	3	33	2	38	4.7%	47	9.9%
2	ビブリオバトル	8	22	5	35	4.4%	16	3.4%
11	その他	3	11	4	18	2.2%	15	3.1%

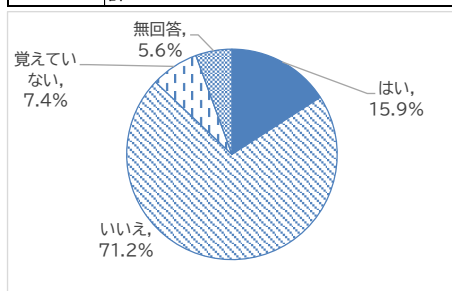


その他内容

手話講座/特になし/特になし/歴史講座/図書を置いているスペースでのイベントの開催は騒がしい時があるので、行う場合は別の場所を設けてほしい。/動画の配信/開催を広く告知してほしい。/高齢者向けに何かいい/本離れ、活字離れを食い止める本の良さを伝えるイベント/この間の書き順をもっと工夫してほしい。(縦に1, 2...とするなど) /本のクリーニング/不要になった本のリサイクル市、不要になった本を個人から回収する/司書の子ども向けお仕事体験/特になし/ボードゲーム会 (ボードゲームもマルチ商法に悪用されており、公営ならではの安心感がほしい。貸出券がある方を参加条件にすれば最低限の本人確認は済んでいるため) レコード・高級オーディオ鑑賞会 (ボランティアが機材や音源を持ちとっても良い) 大人のぬいぐるみお泊り会/小中学生へ本の紹介。子供向けイベント。/特になし

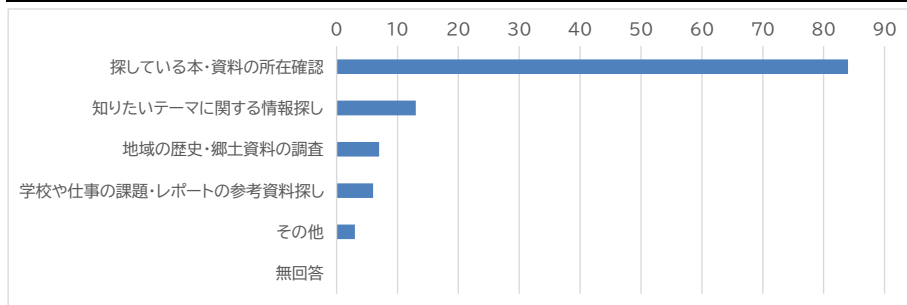
12 これまでに、レファレンスサービスを利用したことがありますか。

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
1	はい	5	84	8	97	15.9%
2	いいえ	66	351	18	435	71.2%
3	覚えていない	6	34	5	45	7.4%
	無回答	—	34	—	34	5.6%
	計	77	503	31	611	



13 レファレンスサービスを利用した目的に○をつけてください。(12で「はい」と回答)

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
1	探している本・資料の所在確認	4	74	6	84	74.3%
2	知りたいテーマに関する情報探し	0	10	3	13	11.5%
3	地域の歴史・郷土資料の調査	0	6	1	7	6.2%
4	学校や仕事の課題・レポートの参考資料探し	1	5	0	6	5.3%
5	その他	1	2	0	3	2.7%
	無回答	—	0	—	0	0.0%
	計	6	97	10	113	

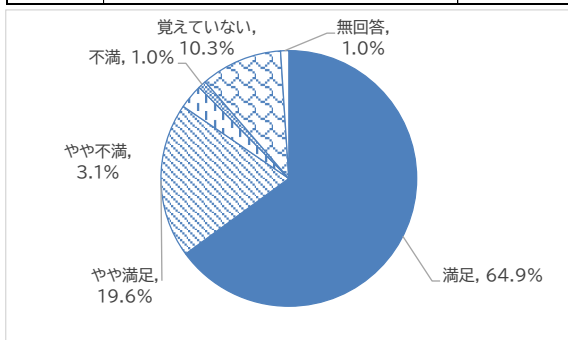


その他内容

以前読んだ本の書名を忘れた/孫のためのおすすめを聞きました。(絵本)/地図本の見方

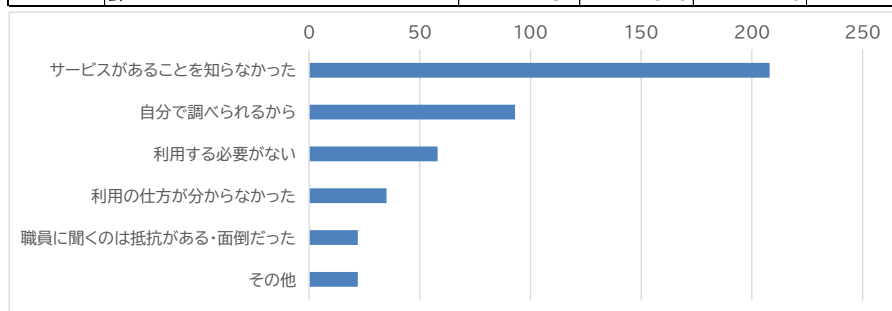
14 レファレンスサービスの対応について、どのように感じましたか。(12で「はい」と回答)

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
1	満足	3	55	5	63	64.9%
2	やや満足	1	16	2	19	19.6%
3	やや不満	0	3	0	3	3.1%
4	不満	0	1	0	1	1.0%
5	覚えていない	1	8	1	10	10.3%
	無回答	—	1	—	1	1.0%
	計	5	84	8	97	



15 レファレンスサービスを利用していない理由に○をつけてください（12で「いいえ」と回答）

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
1	サービスがあることを知らなかった	30	175	3	208	46.3%
3	自分で調べられるから	14	70	9	93	20.7%
5	利用する必要がある	6	50	2	58	12.9%
2	利用の仕方が分からなかった	1	33	1	35	7.8%
4	職員に聞くのは抵抗がある・面倒だった	3	18	1	22	4.9%
6	その他	3	19	0	22	4.9%
	無回答	—	11	—	11	2.4%
	計	57	376	16	449	

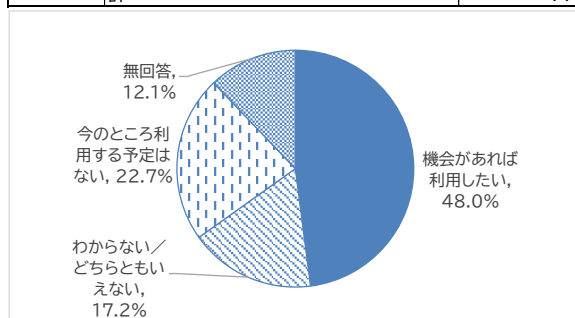


その他内容

宇治市に図書館があることを知らなかった。/自分で調べる過程が楽しいから/京都市日野近くに住んでいて図書館までの交通が不便でいらないから。/行ってないから/分からないため/図書館に行かないから。/図書館を利用したことがない/行ったことがない。/図書館へ行ってない/行ったことがない。/年制的にも若い頃は、仕事等で買う本は自分で買いたいと思ひ、遠いこともあり全く利用する気持ちはありませんでした。/行ったことがない。/行ったことがない。/図書館に行ったことがない/最近本を借りていないので。/行ったことがないから。/探す楽しみ方もあるので/図書館を利用したことがないため/サービスを受けられるようになってから図書館へ行ってない。/図書館の利用が無かったから/どのレベルまで探してくれるのか。専門性は？等不明な点が多いから。

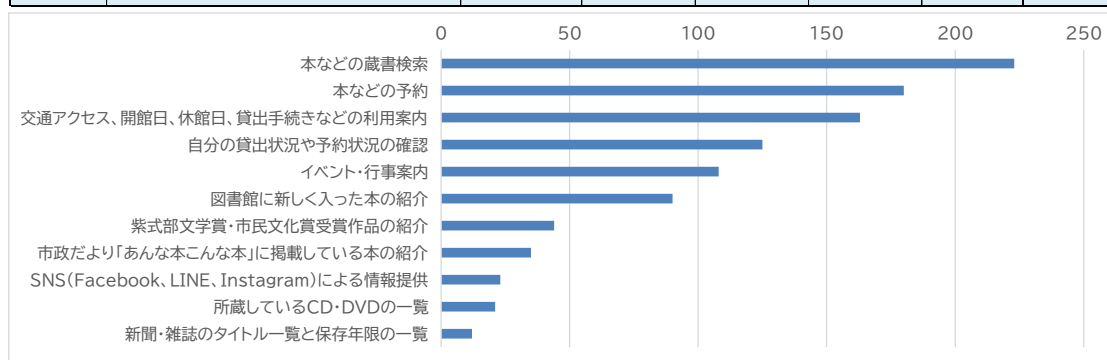
16 今後、レファレンスサービスを利用したいと思いますか。

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
1	機会があれば利用したい	44	233	16	293	48.0%
2	わからない／どちらともいえない	12	85	8	105	17.2%
3	今のところ利用する予定はない	21	111	7	139	22.7%
	無回答	—	74	—	74	12.1%
	計	77	503	31	611	



17 インターネット上のサービスのうちご存じのものに○をつけてください

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
1	本などの蔵書検索	36	158	29	223	21.8%	228	15.9%
3	本などの予約	28	126	26	180	17.6%	201	14.0%
4	交通アクセス、開館日、休館日、貸出手続きなどの利用案内	33	110	20	163	15.9%	225	15.7%
2	自分の貸出状況や予約状況の確認	28	73	24	125	12.2%	137	9.5%
5	イベント・行事案内	24	67	17	108	10.5%	156	10.9%
6	図書館に新しく入った本の紹介	11	68	11	90	8.8%	145	10.1%
10	紫式部文学賞・市民文化賞受賞作品の紹介	4	34	6	44	4.3%	82	5.7%
9	市政だより「あんな本こんな本」に掲載している本の紹介	5	28	2	35	3.4%	81	5.6%
11	SNS（Facebook、LINE、Instagram）による情報提供	6	12	5	23	2.2%	40	2.8%
8	所蔵しているCD・DVDの一覧	3	11	7	21	2.1%	71	4.9%
7	新聞・雑誌のタイトル一覧と保存年限の一覧	2	8	2	12	1.2%	69	4.8%



18-1 宇治市図書館のSNSの利用についていずれかに○をつけてください

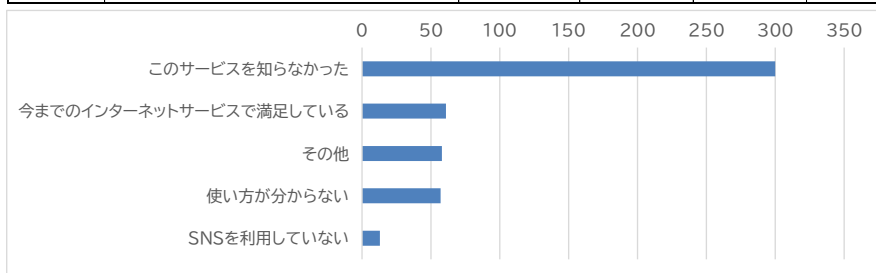
選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
1	利用している	5	30	8	43	7.0%
2	利用していない	72	420	23	515	84.3%
	無回答	—	53	—	53	8.7%
	計	77	503	31	611	

18-2 宇治市図書館のSNSで利用しているものに○をつけてください。（18-1で「利用している」と回答）

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
1	Facebook	0	5	3	8	14.5%
2	LINE	4	23	5	32	58.2%
3	Instagram	2	7	5	14	25.5%
	無回答	—	1	—	1	1.8%
	計	6	36	13	55	

19 宇治市図書館のSNSを利用していない理由に○をつけてください。(18-1で「利用していない」と回答)

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
2	このサービスを知らなかった	50	239	11	300	60.4%
1	今までのインターネットサービスで満足している	16	37	8	61	12.3%
5	その他	3	54	1	58	11.7%
3	使い方が分からない	0	56	1	57	11.5%
4	SNSを利用していない	9	0	4	13	2.6%
	無回答	—	8	—	8	1.6%
	計	78	394	25	497	

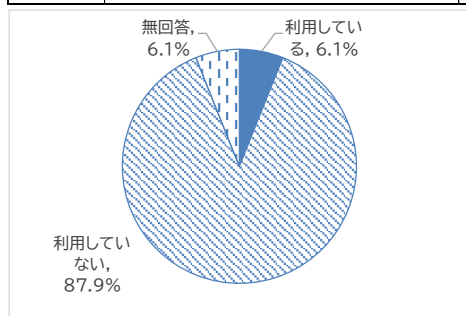


その他内容

図書館利用していた時にはSNSはなかった/SNSは利用しているが、お知らせ等の情報収集にはXを利用しているため/宇治市図書館の存在をこれまで知らなかった。/現在図書館を利用することがないので/図書館を普段から利用していない/バス便の減少。自分自身が車の運転を止めてしまったので、移動手段がなくなった。/図書館に行く時間がないので情報を利用することがない/インターネットを使用していない/利用する必要がある/本が借りられれば良いから。/毎週行くので、チラシ等で見ると/宇治市に図書館がある事を知らなかった。/今のところはいらない/目が疲れるので画面を見ない/図書館そのものを利用したことがない。/興味がない/他の図書館を利用しています。/必要な時に自分で探すから/SNSをあまり利用していない

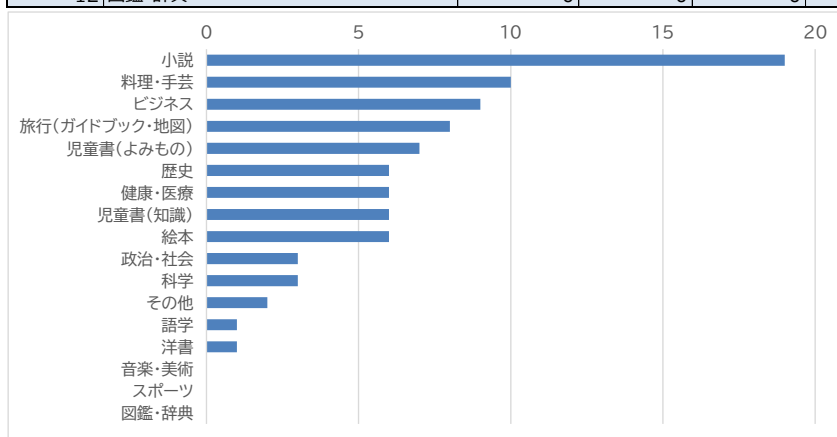
20 宇治市図書館は電子図書館サービスを行っています。いずれかに○をつけてください。

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合	R3合計	R3割合
1	利用している	6	21	10	37	6.1%	5	0.7%
2	利用していない	71	445	21	537	87.9%	500	71.8%
3	利用してみたい	—	—	—	—	—	154	22.1%
	無回答	—	37	—	37	6.1%	37	5.3%
	計	77	503	31	611			



21 電子図書館でよく読んでおられる本のジャンルに○をつけてください。(20で「利用している」と回答)

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
1	小説	3	12	4	19	21.8%
6	料理・手芸	2	4	4	10	11.5%
5	ビジネス	0	4	5	9	10.3%
2	旅行（ガイドブック・地図）	2	4	2	8	9.2%
13	児童書（よみもの）	2	3	2	7	8.0%
3	歴史	0	5	1	6	6.9%
4	健康・医療	2	2	2	6	6.9%
14	児童書（知識）	1	5	0	6	6.9%
15	絵本	2	4	0	6	6.9%
10	政治・社会	1	2	0	3	3.4%
11	科学	0	3	0	3	3.4%
17	その他	0	1	1	2	2.3%
7	語学	0	0	1	1	1.1%
16	洋書	0	0	1	1	1.1%
8	音楽・美術	0	0	0	0	0.0%
9	スポーツ	0	0	0	0	0.0%
12	図鑑・辞典	0	0	0	0	0.0%

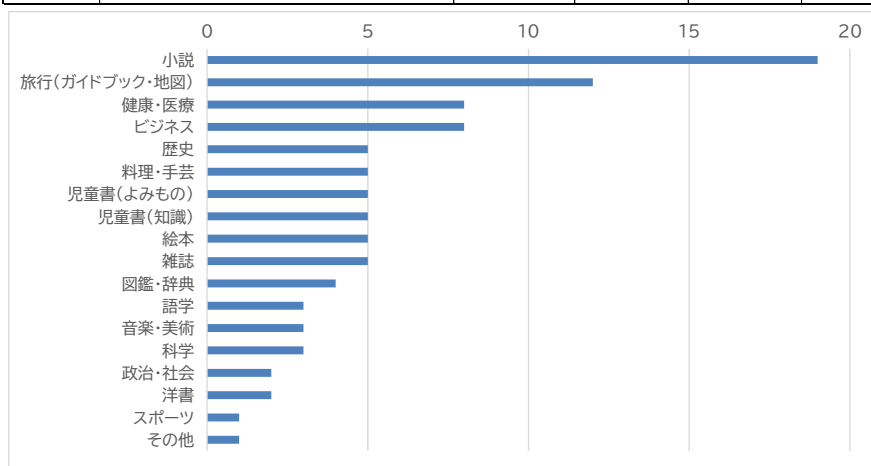


その他内容

宗教/見たが、思う本がなくて使用できなかった。/子育ての本

22 今後読みたい本のジャンルに○をつけてください。(20で「利用している」と回答)

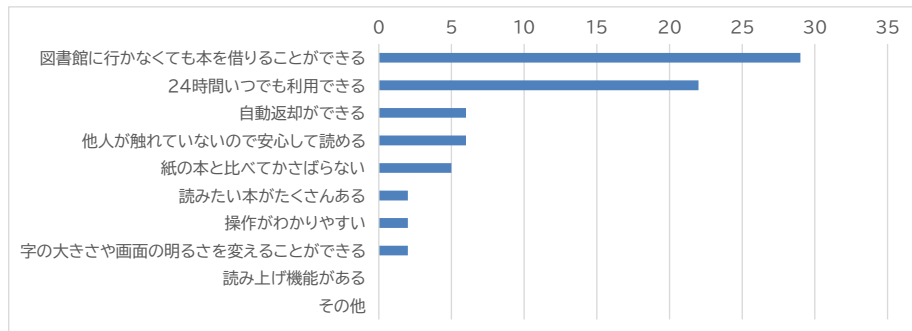
選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
1	小説	3	12	4	19	19.8%
2	旅行(ガイドブック・地図)	2	7	3	12	12.5%
4	健康・医療	2	3	3	8	8.3%
5	ビジネス	0	3	5	8	8.3%
3	歴史	1	4	0	5	5.2%
6	料理・手芸	1	1	3	5	5.2%
13	児童書(よみもの)	2	2	1	5	5.2%
14	児童書(知識)	1	4	0	5	5.2%
15	絵本	2	3	0	5	5.2%
17	雑誌	1	4	0	5	5.2%
12	図鑑・辞典	0	4	0	4	4.2%
7	語学	0	2	1	3	3.1%
8	音楽・美術	1	2	0	3	3.1%
11	科学	0	2	1	3	3.1%
10	政治・社会	0	2	0	2	2.1%
16	洋書	1	1	0	2	2.1%
9	スポーツ	0	0	1	1	1.0%
18	その他	1	0	0	1	1.0%



その他内容
心理学系の専門書/マンガ、画集、楽譜/株式投資

23-1 電子図書館を利用して良かった点(20で「利用している」と回答)

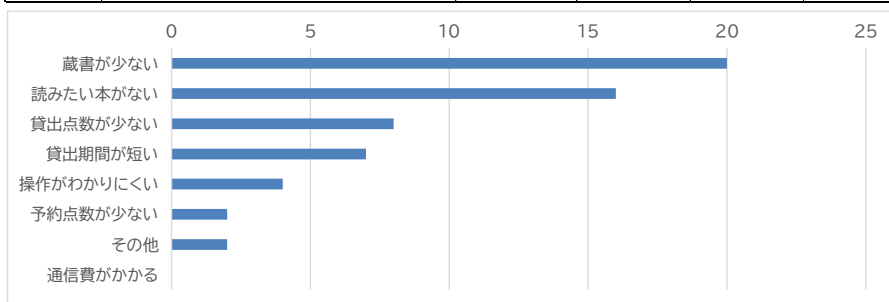
選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
1	図書館に行かなくても本を借りることができる	5	15	9	29	39.2%
8	24時間いつでも利用できる	5	12	5	22	29.7%
7	自動返却ができる	0	6	0	6	8.1%
9	他人が触れていないので安心して読める	0	6	0	6	8.1%
6	紙の本と比べてかさばらない	0	4	1	5	6.8%
2	読みたい本がたくさんある	0	1	1	2	2.7%
3	操作がわかりやすい	0	0	2	2	2.7%
5	字の大きさや画面の明るさを変えることができる	0	1	1	2	2.7%
4	読み上げ機能がある	0	0	0	0	0.0%
10	その他	0	0	0	0	0.0%



その他内容

23-2 電子図書館を利用して不満な点（20で「利用している」と回答）

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
1	蔵書が少ない	5	11	4	20	33.9%
2	読みたい本がない	3	7	6	16	27.1%
4	貸出点数が少ない	1	4	3	8	13.6%
5	貸出期間が短い	0	5	2	7	11.9%
3	操作がわかりにくい	1	3	0	4	6.8%
6	予約点数が少ない	0	1	1	2	3.4%
8	その他	0	2	0	2	3.4%
7	通信費がかかる	0	0	0	0	0.0%

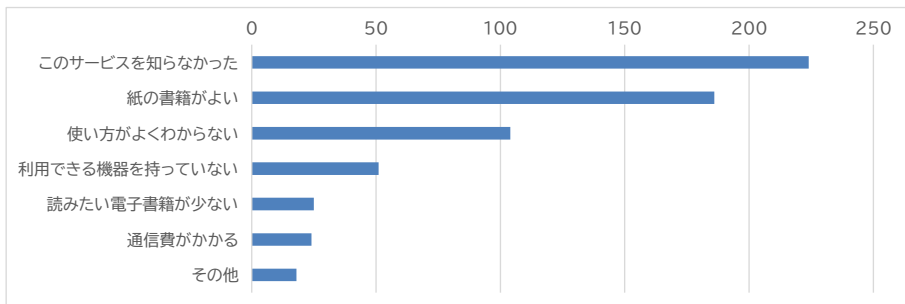


その他内容

蔵書が偏っているように思う/写真の多い資料は良いが、本で読みたい（紙の書籍がよい）。雑誌等は逆に電子図書で良いと思う。/何かにつけて外来語が多くて分かりにくい。

24 電子図書館サービスを利用していない理由（20で「利用していない」と回答）

選択番号	選択肢	無作為WEB	無作為紙	無作為以外	合計	割合
3	このサービスを知らなかった	0	217	7	224	35.4%
1	紙の書籍がよい	0	172	14	186	29.4%
4	使い方がよくわからない	0	100	4	104	16.5%
5	利用できる機器を持っていない	0	51	0	51	8.1%
2	読みたい電子書籍が少ない	0	19	6	25	4.0%
6	通信費がかかる	0	22	2	24	3.8%
7	その他	0	16	2	18	2.8%



その他内容

現在図書館は利用していない。/興味がない/宇治市図書館がある事を知らなかったため。/画面で文字を見るのが苦手
/目に入るスペースが限られており、戻ったり必要な部分だけの読み取りができない。行間の思いが感じにくい。表紙、目次、印字のデザイン等の本の全体の雰囲気がつまみにくい。/図書館を利用することがない/本を読もうと思わないから。/使えない/なかなか時間がない/特に必要としていない。本は紙で読みたい。/今のところ読みたい本がない/目が疲れるので画面を見ない/自分の資質に問題がある。91歳なので。/登録しているが、使用していない。/使い方がわからない/電子書籍は読むと目が疲れるから。/図書館の利用がない。/興味がない/あまり本を読まない。/登録をまだしていない/以前利用しようとしたとき、使い方があまりよくわからなく手間取った

25 宇治市図書館についてご意見などをお聞かせください。

● 図書館へのアクセス・立地等に関する要望・意見 26件
(主な要望・意見) 中央館が遠い/駅に近く、商業施設と一体になった図書館がほしい。特に六地藏や小倉から図書館が遠い。図書館を六地藏に作ってほしい/大久保地区に図書館がほしい/ウトロの空き地におにくるみたいな施設をつくってほしい/大型の図書館を新設してほしい(民営でもいい)
● 図書館資料に関する要望・意見 31件
(主な要望・意見) 電子図書館で本の種類がもっと増えてほしい/本の種類を増やしてほしい/昔の本や児童書、大衆文学(恋愛小説、ファンタジー小説等)の電子書籍を読みたい/古い絵本、本が多い。児童書を見つけやすくしてほしい/ネット上の情報を的確に判断し慎重に行動するためには、広範な資料に接し、様々な意見を知ることが不可欠だと思う。コミックエッセイ等もあるといい/著名漫画家の作品群の充実/地域の調べたいことが、詳細に記されているものがとても少ない/キュービー 3 分間クッキングの本を入れてほしい/演歌、歌謡曲、アニメ、ポップス、特撮などの C D・D V D などがあれば良い/通信教育でレポート作成する場合、図書館の書籍の内容が古く、最新の研究成果を得ることができない/予約件数が多い本は増冊して予約期間の短縮をしてほしい/宇治茶の販売促進に役立つ本やデータベース
● 図書館施設に関する要望・意見 41件
(主な要望・意見) 東宇治図書館の閲覧席や椅子を増やしてほしい/東宇治図書館が狭く興味のある本もあまり書架にない/東宇治図書館、もっと広くきれいにできれば利用したい/自習できるスペースがほしい。読書専用の小さい机ではなく普通の机を置いてほしい/図書館内学習スペースやパソコンを利用できる設備/土足禁止に抵抗がある。(東・西) 冷水器設置希望/“宇治”らしい特徴のある図書館・蔵書/東宇治図書館の開館時間を19時まで延長してほしい/東宇治図書館18時まで開館してほしい/読書が好きでなくても行ってみたいと思うおしゃれな施設/中央図書館が手狭、もう少しゆとりのある本の展示をお願いしたい。本の上に本を置くのはよろしくない/中央図書館はレファレンスサービスの場所が分かりにくい/子連れでも気を遣わなくていいスペース&少々のおもちゃがあれば、長く滞在できる/もっと広く開放的(自然を感じられるような環境)な空間になってほしい。乳幼児コーナーを広くして、ストレスを感じず本選びや短時間の読み聞かせができるスペースがあると嬉しい/書架をもう少し見やすく整理していただきたい
● 図書館・サービスポイント・移動図書館等に関する要望・意見 6件
(主な要望・意見) 西小倉コミセンに配本所があると助かる/夏期の時間延長、振替休日の活用/年末の休館日が28日から30日になったら利用しやすい/返却ポストの増設/移動図書館/直営にしてほしいのは、図書館運営・サービスの内容や蔵書収集の継続性が確保されるから、行政や市民の目が届きやすいから、学校や様々な施設・機関との連携がとりやすいから、宇治市が責任をもって地元の「司書になりたい」人を雇用できるから。図書館は儲ける施設ではありませんので、指定管理者制度の導入や企業・他団体等への業務委託はするべきではない。
● 図書館サービスに関する要望・意見 36件
(主な要望・意見) 借りた本の履歴を残してほしい/館内の検索システムが使いづらい/電子書籍を図書館に行かずネットで借りることが出来るように希望/電子図書館で同じIDで子どもアカウントを分けられると使いやすい。又は、貸出点数を増やしてもらえると子どもと共有しやすい/老眼鏡の貸出(館内用)/相互利用の範囲を広げてほしい/体験型のイベント/平日働く勤労者向けに利用しやすいサービスを検討してほしい。ビジネス講座、開館時間の延長、早朝・夜間利用したい/借りる期間を長くしてほしい。延長をしやすくする、借りる時に期間を選べるとか/自宅への配本、返却/リサイクル市開催のお知らせをわかりやすいよう宣伝(告知)してほしい/読み終えた絵本等、幼児本を引き取ってくれるサービス/OPACで利用状況の更新が翌日以降になるのを改善してほしい/ビブリオバトル/本のリクエストをWEBから行えるようにしてほしい/リクエストの対応が遅すぎる。
● 職員の応対・接客に関する要望・意見 8件
(主な要望・意見) 中央図書館でいつもやる気がなく何を聞いても無愛想な若い女性職員がいる。職員の質に疑問を感じる/職員の中に極端に無愛想な人がいる。
● 図書館広報に関する要望・意見 10件
(主な要望・意見) 宇治市図書館がある事すら知らなかった。広報を強化した方がよい/市の広報誌などでの広報充実

宇治市図書館利用者アンケート実施概要及び集計結果

1. 利用者アンケートの実施について

(1) 調査目的

宇治市図書館事業計画(第3期)を策定するにあたり、利用者のニーズを的確に把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として、利用者アンケートを実施しました。

(2) 調査概要

- ① 調査対象 中央・東宇治・西宇治図書館の概ね18歳以上の来館者
- ② 調査方法 館内配布による無記名アンケート方式
- ③ 調査期間 令和7年6月24日(火)から、令和7年7月15日(火)回収分まで有効

(3) 回答結果

アンケート回答者数	1,125
-----------	-------

	回答者数	割合
中央図書館	639	56.8%
東宇治図書館	237	21.1%
西宇治図書館	249	22.1%
合計	1,125	

※集計分析にあたって

図表内の割合を示す数値は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。

そのため、合計値は必ずしも100になりません。

また、一部複数回答の設問があるため、合計値は必ずしもアンケート回答数と同じになりません。

2. 主な集計結果

- 問 1. お住まいの地域:概ね地域別回答割合は前回(令和3年度)同様である。
- 問 2. 年齢:前回より60歳代以降の回答割合が高くなった。
- 問 3. 職業:概ね職業回答割合は前回同様であるが、無職の割合が若干増加した。
- 問 4. 一番よく利用する図書館:中央図書館 54.3%(前回 47.7%)東宇治図書館 21.9%(前回 24.8%)西宇治図書館 22.0%(前回 25.2%)
- 問 5. 図書館の利用頻度:前回より「ほぼ毎日」「週に1回」の割合が微減し、「月に1回」が増加した。年代別では60代が多く、次いで80代となった。
- 問 6. 来館する主な時間帯:概ね変わらないが、前回より若干9時~10時の割合が増加している。20代から40代を除く全ての年代で概ねその年代の20%を占めており、前回20%を占めている年代はなかった。
- 問 7. 来館の際の主な交通手段:前回同様「自動車・バイク」が多いが、さらに占める割合が高くなっている。また、「電車・バス」の利用が引続き最も低い。
- 問 8. 図書館を利用する主な理由:前回同様「図書等の貸出や返却のため」が最も多いが、回答割合は下がっており、他の回答全ての割合が増加している。
- 問 9. 図書館サービスの認知度・利用度・満足度:前回同様認知度は「CD・DVDの貸出ができる」が最も高く、次いで、「乳児・幼児を対象としたおはなし会やイベントを行っている」であったが、今回のアンケートで追加となった新たな選択肢「図書の除菌ができる機械を設置している」がその次であった。利用度・満足度は共に前回同様「インターネットで本などの予約ができる」がもっとも多く、次いで今回は共に新たな選択肢「返却期限のお知らせメールを受け取ることができる」が多くなっている。
- 問 10. 充実してほしい資料:前回同様「新しい本」「趣味・実用書」「新しい雑誌」と上位3位変わらない。年代別においても、全ての年代で「新しい本」が最も多く、次いで概ね全ての年代で「趣味・実用書」「新しい雑誌」が多い。但し、30代40代は、「絵本など子ども向けの本」を望む回答も多い。

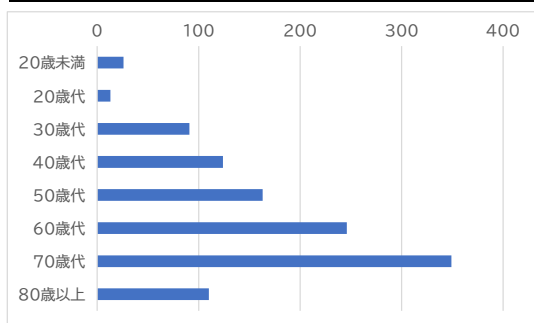
- 問 11.追加・充実してほしいサービス:前回同様「本などの図書館資料の充実」が多く、次いで「貸出期間を長くする」となっており、以降もほぼ変わらない。年代別においても概ね前回同様である。
- 問 12.追加・充実してほしい環境・設備:前回同様「無料 Wi-Fi が使える環境」、次いで「CD・DVD・カセットなどを視聴できる環境」が多い。また、「照明・トイレ・バリアフリーなどの館内の設備」を望む回答が前回より多くなっている。
- 問 13.今後取り組んでほしい行事・イベント:順位の入れ替わりはあるが、「インターネット・スマートフォンなどの使い方講座」「読書会」「法律・司法手続きの相談会・講座」上位 3 位の内容は変わらない。
- 問 14.レファレンスサービスの利用を利用したことがあるか:「はい」の割合は回答者全体の 28.7%である。
- 問 15.レファレンスサービスを利用した目的:「探している本・資料の所在確認」が 77.0%を占めており、次いで「知りたいテーマに関する情報探し」は 13.4%である。
- 問 16.レファレンスサービスの満足度:「満足」「やや満足」合わせて 90%弱を占めている。
- 問 17.レファレンスサービスを利用していない理由:「サービスがあることを知らなかった」が 39.2%、「利用の仕方が分からなかった」が 7.4%と合わせると半数近くを占めている。
- 問 18.今後レファレンスサービス利用したいか:「機会があれば利用したい」が 51.2%と半数以上を占めている。
- 問 19.図書館のインターネット上のサービスの認知度:順序の入れ替わりは多少あるが、「本などの蔵書検索」「本などの予約」「自分の貸出状況や予約状況の確認」「交通アクセス、開館日、休館日、貸出手続きなどの利用案内」「図書館に新しく入った本の紹介」上位 5 位の内容は変わらない。
- 問 20.図書館の SNS の利用について:「利用している」の回答割合は 10.2%にとどまっている。利用している場合、「LINE」が 68.8%を占める。
- 問 21. 図書館の SNS を利用していない理由:「このサービスを知らなかった」が 30.9%を占めて最も多く、次いで「今までのインターネットサービスで満足している」27.9%となっている。
- 問 22.電子図書館サービスの利用について:「利用している」12.2%、「利用していない」が 79.9%とまだまだ利用率が低い。年代別の利用者割合は 20 代が最も多く、次いで 20 歳未満となっている。
- 問 23.電子図書館でよく読んでいる本のジャンル:「小説」「料理・手芸」「旅行(ガイドブック・地図)」が上位 3 位で半数以上を占めている。
- 問 24.電子図書館で今後読みたい本のジャンル:読んでいる本のジャンルと順位の入れ替わりはあるが上位 3 位は変わらないが、「雑誌」を望む回答も多い。
- 問 25.電子図書館を利用して良かった点、悪かった点:良かった点「図書館に行かなくても本を借りることができる」「自動返却ができる」「24 時間いつでも利用できる」、悪かった点「蔵書が少ない」「読みたい本がない」「操作がわかりにくい」と上位は前回同様である。
- 問 26.電子図書館サービスを利用していない理由:「紙の書籍がよい」55.8%と半数以上を占める。
- 問 27.図書館を利用した感想:「図書館の雰囲気・居心地」満足 64.6%(前回 62.0%)「館内の利用しやすさ」満足 58.3%(前回 53.2%)「館内表示や書架表示」満足 43.2%(前回 41.3%)「イベントのお知らせなどの広報・情報提供」満足 40.8%(前回 37.0%)「職員の対応」満足 68.2%(前回 68.8%)
- 問 28.本市の図書館の将来像として最もふさわしいと思うもの:「ゆとりある空間をもった、居心地の良い図書館」を望む回答が前回同様最も多く回答割合は 40.8%を占め、前回 35.9%より増加している。

1 あなたのお住まいの地域を教えてください。

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
1	六地藏	11	1.0%	6	5	0	4	0.4%
2	木幡	127	11.3%	27	98	0	134	13.0%
3	平尾台	14	1.2%	3	11	0	5	0.5%
4	五ヶ庄	95	8.4%	17	74	1	103	10.0%
5	菟道	63	5.6%	37	23	2	55	5.3%
6	羽戸山	22	2.0%	4	17	0	21	2.0%
7	志津川	2	0.2%	2	0	0	0	0.0%
8	明星町	19	1.7%	15	3	0	20	1.9%
9	宇治	185	16.4%	146	3	33	173	16.7%
10	琵琶台	31	2.8%	31	0	0	26	2.5%
11	折居台	40	3.6%	40	0	0	38	3.7%
12	天神台	12	1.1%	12	0	0	13	1.3%
13	白川	9	0.8%	9	0	0	2	0.2%
14	神明	36	3.2%	33	1	2	32	3.1%
15	羽拍子町	7	0.6%	1	1	5	10	1.0%
16	南陵町	24	2.1%	15	0	9	20	1.9%
17	横島町	31	2.8%	22	1	8	25	2.4%
18	小倉町	86	7.6%	11	0	70	87	8.4%
19	伊勢田町	89	7.9%	13	0	75	88	8.5%
20	安田町	1	0.1%	0	0	1	0	0.0%
21	開町	13	1.2%	8	0	4	7	0.7%
22	広野町	148	13.2%	128	0	19	100	9.7%
23	寺山台	7	0.6%	6	1	0	4	0.4%
24	大久保町	32	2.8%	18	1	13	34	3.3%
25	炭山・二尾・池尾・東笠取・西笠取	1	0.1%	1	0	0	2	0.2%
26	京都市	12	1.1%	3	6	2	12	1.2%
27	他の市町村（京都市を除く）	2	0.2%	0	1	1	12	1.2%
	無回答	6	0.5%	3	0	2	6	0.6%
	計	1,125		611	246	247	1,033	

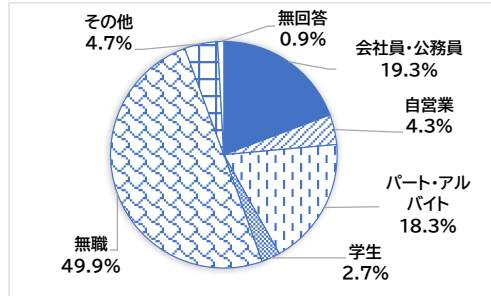
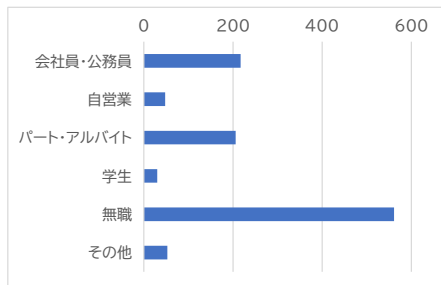
2 あなたの年齢を教えてください。

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
1	20歳未満	26	2.3%	22	0	3	35	3.4%
2	20歳代	13	1.2%	9	0	3	31	3.0%
3	30歳代	91	8.1%	43	21	26	117	11.3%
4	40歳代	124	11.0%	61	28	32	205	19.8%
5	50歳代	163	14.5%	90	45	25	148	14.3%
6	60歳代	246	21.9%	130	63	52	178	17.2%
7	70歳代	349	31.0%	196	66	78	253	24.5%
8	80歳以上	110	9.8%	60	23	27	59	5.7%
	無回答	3	0.3%	0	0	1	7	0.7%
	計	1,125		611	246	247	1,033	



3 あなたの職業を教えてください。

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
1	会社員・公務員	217	19.3%	119	57	38	248	24.0%
2	自営業	48	4.3%	26	8	12	42	4.1%
3	パート・アルバイト	206	18.3%	94	55	52	188	18.2%
4	学生	30	2.7%	26	0	3	45	4.4%
5	無職	561	49.9%	314	115	125	456	44.1%
6	その他	53	4.7%	29	9	14	48	4.6%
	無回答	10	0.9%	3	2	3	6	0.6%
	計	1,125		611	246	247	1,033	

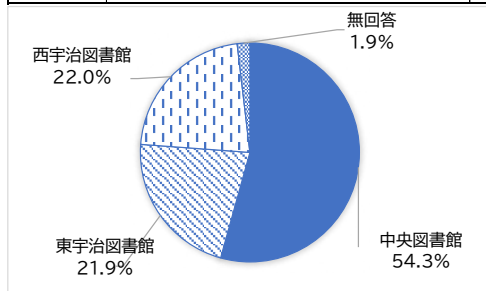


その他内容

年金生活者/主婦/主婦/保育士/主婦/主婦/自営手伝い/年金生活/事務員/主婦/主婦/団体職員/年金生活者/医師/校正者/サンデー毎日/主婦/主婦/主婦/主婦/主婦/週1
体操指導/主婦/主婦/非常勤/主婦

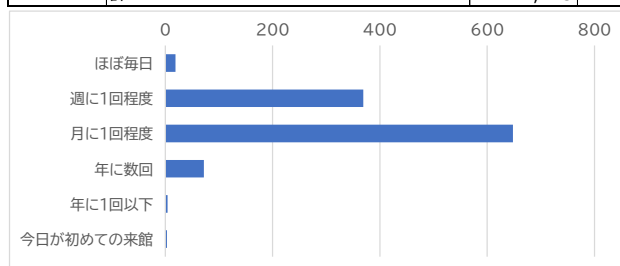
4 一番よく利用する図書館を教えてください。

選択番号	選択肢	回答数	割合	R3回答数	R3割合
1	中央図書館	611	54.3%	493	47.7%
2	東宇治図書館	246	21.9%	256	24.8%
3	西宇治図書館	247	22.0%	260	25.2%
	無回答	21	1.9%	24	2.3%
	計	1,125		1,033	



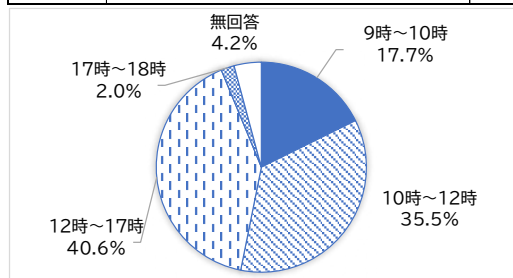
5 図書館の利用頻度を教えてください。

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
1	ほぼ毎日	19	1.7%	7	6	6	23	2.2%
2	週に1回程度	369	32.8%	163	105	94	362	35.0%
3	月に1回程度	648	57.6%	387	122	129	509	49.3%
4	年に数回	72	6.4%	47	9	13	104	10.1%
5	年に1回以下	4	0.4%	2	1	1	15	1.5%
6	今日が初めての来館	3	0.3%	1	1	1	8	0.8%
	無回答	10	0.9%	4	2	3	12	1.2%
	計	1,125		611	246	247	1,033	



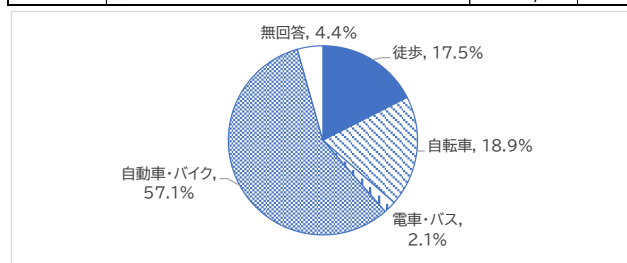
6 図書館に来館する主な時間帯を教えてください。

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
1	9時～10時	199	17.7%	109	48	37	136	13.2%
2	10時～12時	399	35.5%	211	90	94	371	35.9%
3	12時～17時	457	40.6%	253	94	104	441	42.7%
4	17時～18時	23	2.0%	19	1	2	13	1.3%
	無回答	47	4.2%	19	13	10	72	7.0%
	計	1,125		611	246	247	1,033	



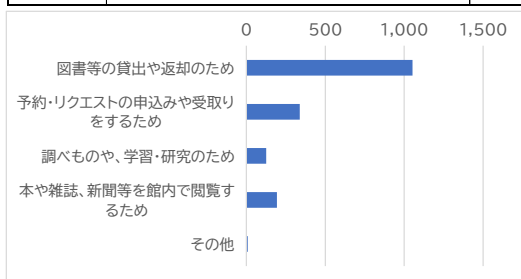
7 ご来館の際の主な交通手段を教えてください。

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
1	徒歩	197	17.5%	102	55	39	235	22.7%
2	自転車	213	18.9%	60	47	100	206	19.9%
3	電車・バス	24	2.1%	13	9	2	8	0.8%
4	自動車・バイク	642	57.1%	419	118	94	534	51.7%
	無回答	49	4.4%	17	17	12	50	4.8%
	計	1,125		611	246	247	1,033	



8 図書館を利用する主な理由を教えてください。（あてはまるもの全てに○）

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
1	図書等の貸出や返却のため	1,053	61.1%	577	234	228	885	85.7%
2	予約・リクエストの申込みや受取りをするため	338	19.6%	148	84	101	14	1.4%
3	調べものや、学習・研究のため	126	7.3%	68	18	35	24	2.3%
4	本や雑誌、新聞等を館内で閲覧するため	194	11.3%	89	44	54	11	1.1%
5	その他	9	0.5%	4	3	1	1	0.1%
	無回答	4	0.2%	0	0	1	98	9.5%
	計	1,724		886	383	420	1,033	



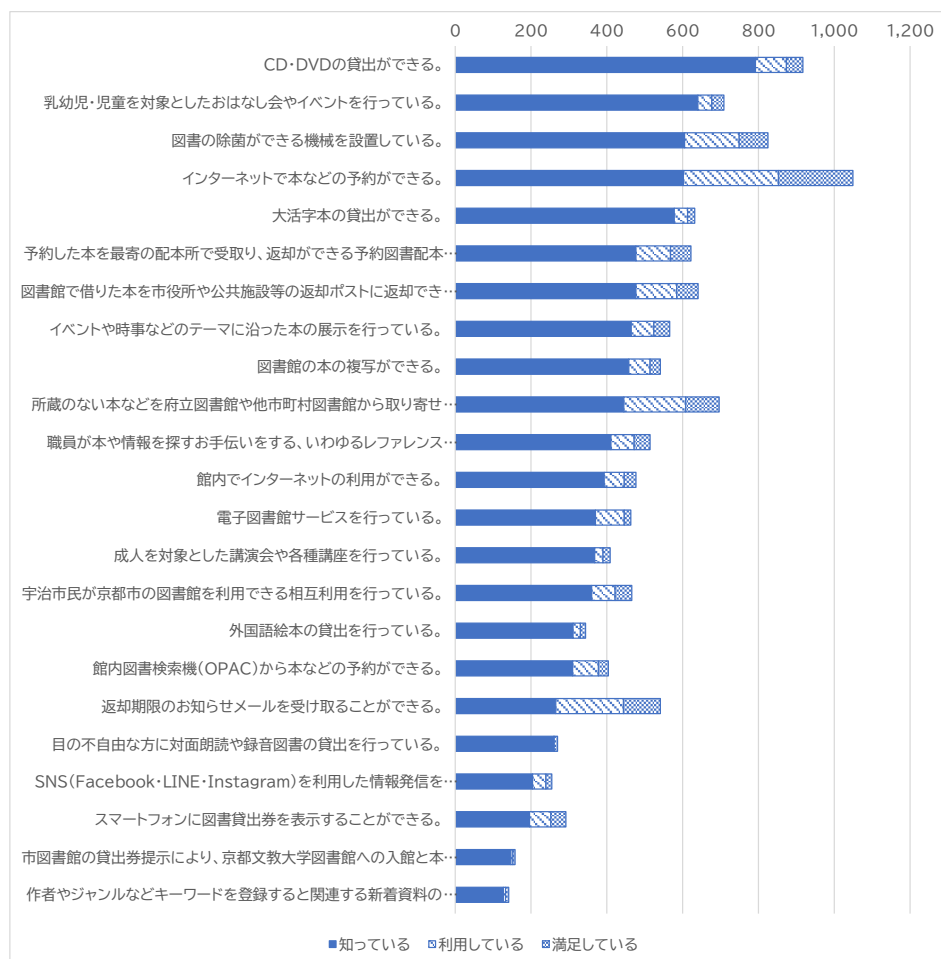
その他内容

本が大好きでサスペンス物を今迄は買って読んでいましたが、年金生活の中からは買えませんので利用させて頂いています/新しい興味をみつけるため/トイレやその他のついでに色々気分によっては図書館も利用、本見ようかな…的。/この時期、猛暑の中涼まさせて頂く/おはなし会の参加/返却本を見て借りる/楽しいから

9 宇治市図書館は読書環境や利便性の向上のため、次のサービスを行っています。ご存知のものに○をつけてください。

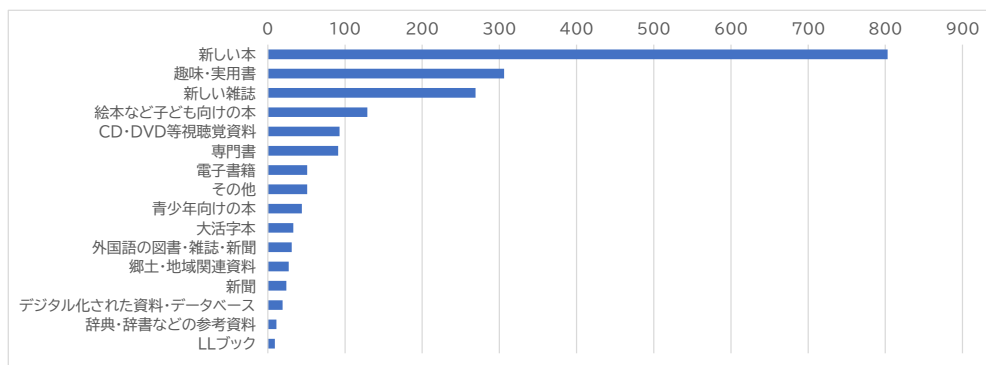
選択番号	選択肢	知っている	利用している	満足している	R3知っている	R3利用している	R3満足している
1	CD・DVDの貸出ができる。	792	82	43	733	92	23
12	乳幼児・児童を対象としたおはなし会やイベントを行っている。	640	37	32	641	40	23
18	図書の除菌ができる機械を設置している。	605	144	76	—	—	—
3	インターネットで本などの予約ができる。	602	251	196	529	232	181
2	大活字本の貸出ができる。	578	35	19	582	22	14
6	予約した本を最寄の配本所で受取り、返却ができる予約図書配本サービスを行っている。	477	91	54	466	110	71
17	図書館で借りた本を市役所や公共施設等の返却ポストに返却できる。	477	107	57	423	86	43
14	イベントや時事などのテーマに沿った本の展示を行っている。	464	60	42	472	67	41
4	図書館の本の複写ができる。	458	56	27	465	48	24
7	所蔵のない本などを府立図書館や他市町村図書館から取り寄せることができる。	445	163	88	445	177	101
5	職員が本や情報を探すお手伝いをする、いわゆるレファレンスサービスを行っている。	411	61	42	430	70	40
8	館内でインターネットの利用ができる。	393	53	31	405	43	24
19	電子図書館サービスを行っている。	370	76	17	354	59	28
13	成人を対象とした講演会や各種講座を行っている。	368	22	19	358	21	13
9	宇治市民が京都市の図書館を利用できる相互利用を行っている。	360	62	44	404	80	50
10	外国語絵本の貸出を行っている。	311	19	14	495	27	17
20	館内図書検索機（OPAC）から本などの予約ができる。	310	68	26	—	—	—
23	返却期限のお知らせメールを受け取ることができる。	265	179	97	—	—	—
11	目の不自由な方に対面朗読や録音図書の貸出を行っている。	260	1	9	319	5	10
16	SNS（Facebook・LINE・Instagram）を利用した情報発信を行っている。※	204	35	16	499	81	33
21	スマートフォンに図書貸出券を表示することができる。	196	56	40	—	—	—
15	市図書館の貸出券提示により、京都文教大学図書館への入館と本などの閲覧ができる。	147	5	6	221	1	8
22	作者やジャンルなどキーワードを登録すると関連する新着資料のお知らせメールが届く。	127	6	8	—	—	—

※R3はLINEとFacebook設問の合計値



10 充実してほしい資料を教えてください。(○は3つまで)

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
1	新しい本	803	37.4%	435	176	182	709	36.6%
7	趣味・実用書	306	14.2%	156	74	70	256	13.2%
2	新しい雑誌	269	12.5%	132	68	60	218	11.3%
4	絵本など子ども向けの本	129	6.0%	52	35	39	141	7.3%
10	CD・DVD等視聴覚資料	93	4.3%	56	16	18	92	4.7%
6	専門書	91	4.2%	50	17	21	106	5.5%
14	電子書籍	51	2.4%	30	12	8	53	2.7%
16	その他	51	2.4%	30	9	9	31	1.6%
5	青少年向けの本	44	2.0%	24	11	8	46	2.4%
9	大活字本	33	1.5%	14	6	12	25	1.3%
13	外国語の図書・雑誌・新聞	31	1.4%	19	6	6	31	1.6%
12	郷土・地域関連資料	27	1.3%	17	6	4	30	1.5%
3	新聞	24	1.1%	15	3	4	23	1.2%
15	デジタル化された資料・データベース	19	0.9%	11	6	1	20	1.0%
11	辞典・辞書などの参考資料	11	0.5%	6	3	1	15	0.8%
8	LLブック	9	0.4%	3	2	4	—	—

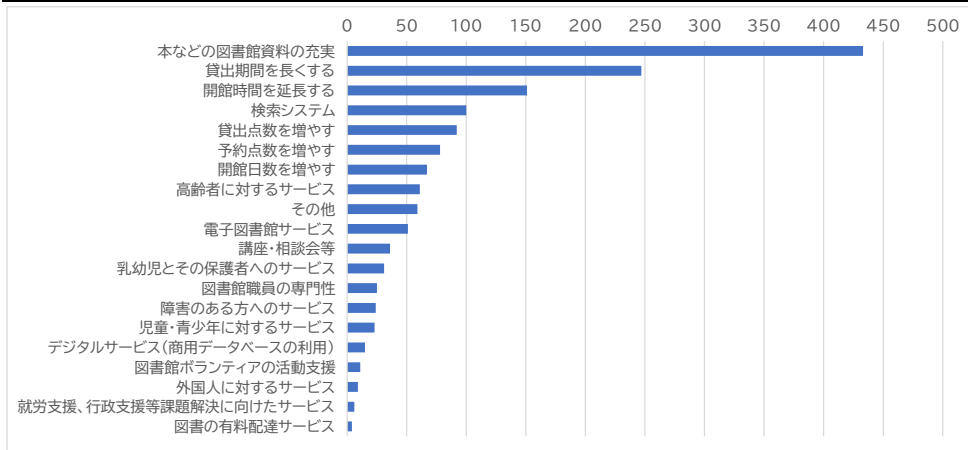


その他内容

人気があり予約に何か月かかる場合、本を増やす等の措置がほしい/フィクションなどのミステリー/シリーズの本はすべてそろえてほしい/ロングセラーの絵本や児童書で、傷みのひどいものを新しいものに交換してもらえると嬉しい。それだけでも利用しよう、読んでみようと思う方が増えそう。/漆や七宝焼きなど伝統工芸の本がかなり古いものしかないので、現代の作家さんのものなどが読みたいです。/本屋大賞などをとった話題になっている本/国内外の小説/軍事専門誌/点字書籍/サブカルチャー関連本/国内・海外旅行書/シリーズ中の抜けている本/歴史、伝記など/芸術に関する読み物、専門書。/府立図書館の様な新聞（明治～昭和初期）のコピー等/やさしい時事問題/ティンクルセボンスター。1巻と2巻と3巻と6巻がほしいです/今でも充分充実している/音楽CD、映画DVDを充実してほしい/マンガ/図鑑、歴史/高齢者向け健康関連本/リクエストすればほぼOKなので満足しています/話題の話題の本/映画の本/海外作者の男性向小説、科学雑誌/日本全国の新聞/インターネット検索を多くの人に。PCを10台くらいとか。/特になし/医療や政治の本/今で満足しています/絶版になった古い本（小説）/（江戸）時代小説/DVDの充実/旅行本 各県のるるぶ/明治・大正期の単行本（女の一生など）/古地図を用意してほしいです。/翻訳小説（アジア）/古すぎる本、又汚れのひどい本については更新してほしい。/児童向けの本/旅行ガイドブック/中央図書館等の本の入れ替えを希望（現状では蔵書が変化なし）/インスタ（SNS）で人気のある作家さんの本/作家の代表作が少ない/昔話の絵本がこわい絵が多いのもっとポップなものを。ディズニーの絵本もほしい。/人気のある本は待ち人数が多いので、何冊か置いてほしい/子ども実用書マンガの新刊/現在満足/図鑑/やなせたかし氏他のマンガ本を入れてほしい。大人でも感度する本なら読みたいと思う/資料を元にして学生が勉強できるようにしてほしい/西宇治図書館にもLDKがほしいです

11 追加・充実してほしいサービスなどを教えてください。（○は3つまで）

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
1	本などの図書館資料の充実	433	28.4%	246	84	96	329	22.8%
3	貸出期間を長くする	247	16.2%	141	50	51	218	15.1%
6	開館時間を延長する	151	9.9%	70	42	35	164	11.3%
7	検索システム	100	6.6%	64	17	18	113	7.8%
2	貸出点数を増やす	92	6.0%	53	22	17	105	7.3%
4	予約点数を増やす	78	5.1%	32	25	21	86	5.9%
5	開館日数を増やす	67	4.4%	33	15	17	65	4.5%
9	高齢者に対するサービス	61	4.0%	31	12	17	65	4.5%
20	その他	59	3.9%	33	10	14	56	3.9%
12	電子図書館サービス	51	3.3%	31	10	8	47	3.3%
15	講座・相談会等	36	2.4%	18	11	6	49	3.4%
11	乳幼児とその保護者へのサービス	31	2.0%	11	9	9	35	2.4%
19	図書館職員の専門性	25	1.6%	15	6	3	21	1.5%
10	障害のある方へのサービス	24	1.6%	12	8	4	16	1.1%
8	児童・青少年に対するサービス	23	1.5%	8	9	5	32	2.2%
18	デジタルサービス（商用データベースの利用）	15	1.0%	6	5	2	12	0.8%
16	図書館ボランティアの活動支援	11	0.7%	7	2	1	11	0.8%
13	外国人に対するサービス	9	0.6%	5	2	2	0	0.0%
17	就労支援、行政支援等課題解決に向けたサービス	6	0.4%	2	3	0	9	0.6%
14	図書の有料配達サービス	4	0.3%	2	1	1	13	0.9%

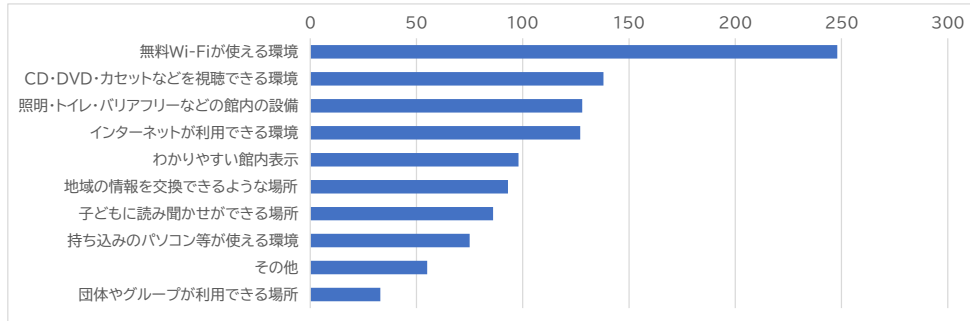


その他内容

予約の多い本を多めに入れて欲しい/本の予約がインターネットでできること/予約が多いと、どうしても読みたい本が集中してなかなか予約が取れないから困る。上・下に分かれている本は別々に貸出しないでほしい。/イベント開催催時の図書館利用者の駐車場を確保し用意してほしい。/予約の多い図書（人気の図書）の点数を増やしてほしい/本を汚さない啓蒙/満足しています。いつもありがとうございます/国会図書館の電子蔵書の閲覧/古い本が多いので、新しく出版された本と入れ替えてほしい。/今のままで十分です/駐車場の充実/夜間に返却できる*ストを増やしてほしい/借りより読みたい場所。館内で読む時の環境を整えてほしい。/京都市図書館だけではなく城陽市京田辺市など近隣市町の図書館が利用できるようにしてほしい/ネット予約するときの本の表紙がないものだ借りたい本がわからないので写真を増やしてほしい/人気図書の充実 貸出中が多いから/特になし/「予約していた本の準備ができました」とメールをいただくが、家族の誰の本か分からないので、できれば、貸出番号が名前もメールで示してほしい/本の並びを整理いただけるとありがたい。一度読んだ本を返却するスペースを設けたり・・・/雑誌の貸出/貸出履歴の参照、印刷。/接客対応/講演/貸出カードの電子化/窓際の本のみを机をおいてほしい。/情報が遅い。例えば、第34回紫式部受賞の本がいつまでたってもない。第33回のが今もある。/図書館バスで地区をまわる。/学習スペースがほしい。/年中/冷たい水やお茶を無料であたたいのは冬。ウォータークーラー。/飲食スペース/満足しています/他地域に住んでいる人も貸出し/新しい本の予約をネットで出来るように/貸出期間を1ヶ月に/図書館職員の公務員化/視聴覚室の設置等、Wi-fiなど若い方への利用の促進/コンビニに返却ポスト置いて下さい/本が収納しきれない/予約本を受け取れる日数をもっと短縮してほしい。/貸出表に借りた本の名前が欲しいです。/移動図書館/貸出期間3週間は長すぎる。2週間にして回転（特に新しい本）を早くするべし。京都市は2週間です。/きちんとした図書館職員の待遇にしてあげてほしい。/高齢化に伴い図書館へ行くことが出来なくなり、以前のように移動図書バス等復活してもらえないか？/本の充実/新刊が少ない/児童向けの本/現状で満足しております/中央、東、西の休館日を別曜日に設定する。/今のままで充分です/借りた本のタイトルを知りたい。返却する時に忘れてしまうから/今のままで良いです。/本が2か所に分けて置かれていたりすると、見つけるのが難しいことがあります。/予約してもなかなか回ってこないのと同じ本を何冊か増やしてほしい。/学習スペースの充実/インターネット予約で毎度ログインが面倒アプリなどがあればいい/トイレの設備をきれいにしてほしい/座るところを増やしてほしい/駅前等での貸出サービス/借りた本のタイトルがわかるようなものが欲しい/貸した本の題目を印字でレシートみたいにしてもらって返却もそこに書いてあるとチェックしやすい/自習室

12 追加・充実してほしい環境・設備を教えてください。（〇は3つまで）

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
4	無料Wi-Fiが使える環境	248	22.9%	150	55	39	255	23.0%
1	CD・DVD・カセットなどを視聴できる環境	138	12.8%	75	32	26	187	16.8%
9	照明・トイレ・バリアフリーなどの館内の設備	128	11.8%	84	19	25	90	8.1%
3	インターネットが利用できる環境	127	11.7%	72	29	20	132	11.9%
8	わかりやすい館内表示	98	9.1%	62	15	21	90	8.1%
5	地域の情報を交換できるような場所	93	8.6%	44	22	24	89	8.0%
6	子どもに読み聞かせができる場所	86	8.0%	36	22	25	95	8.6%
2	持ち込みのパソコン等が使える環境	75	6.9%	42	13	16	88	7.9%
10	その他	55	5.1%	28	8	17	49	4.4%
7	団体やグループが利用できる場所	33	3.1%	11	10	11	36	3.2%

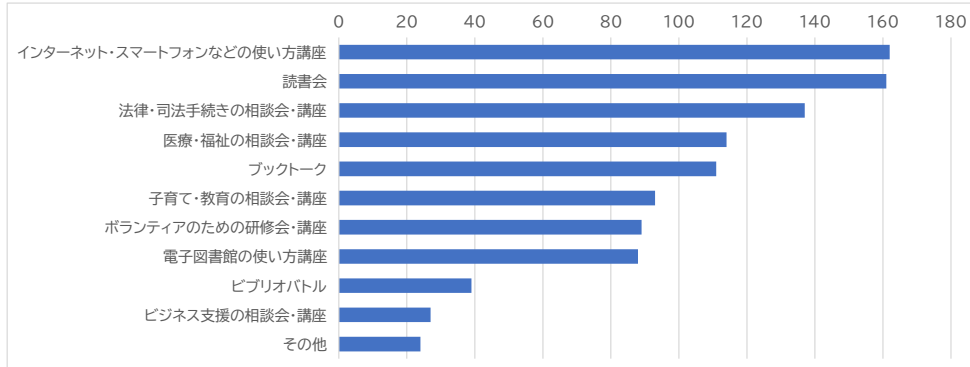


その他内容

子どもさんがたくさん来られて本に触れる機会が増える取り組み。（図書館の存在自体を知らない子もいると思います。）/図書館相互の電子図書閲覧/返却できる場所を京阪宇治付近にも作ってほしい。/自習可能となると京阪宇治に返却ポストが欲しい/静かに本を読む環境/本屋大賞などの本をPOPで紹介するなど新しい本との出会いを期待したい/椅子を増やしてほしい/自習スペース/勉強スペース/大阪府茨木市等の充実した図書環境。/勉強など自由に机とイスが利用できる所/自習できるスペース/自習室/自習できる場所/図書館周辺の自習環境の設置/学生・生徒が学習できるスペースの設置。/特になし。/満足しています/自習室がほしい/本を読めるベンチ/中学生、高校生が自習できる環境/ソファを減らして机をふやす/読みたい図書の要求方法の明示/学習できる場所/駐車場からの階段の手すりが夏は熱くて利用できず困っている/自習可能スペース/冷暖房、空調の充実。夏は特に暑い。本を探しながら汗がでるのはおかしい。クールスポットであるなら考えるべき。/カフェ/椅子/自習・学習可能な空間づくり/駐車場を増やしてほしい。床が固めなのでクッションフロアだとありがたいです。/学生が学習できる場所/読書コーナーの充実/本の種類の表示、高い位置で見渡せるよう/駐車場を増やしてほしい/学生が勉強できるように欲しい/カゴを置いてほしいです。絵本などたくさん借りるとき持ちにくい/机設置の増設（壁際、窓際希望）/パソコン使用時の椅子を高くしてほしい。低いので、見上げる感じでだるくなる。/子供が学習できる空間/特にないです。/勉強できるスペース/ゆったりほんがよめるイス、机・caféの併設、飲食OK/ドリンクコーナー/水木しげる、やなせたかし氏のマンガ本を読んで若い人のちきになるよう人気願う。マンガなどでも文字に等しい知識になる。活字の他にたまにはマンガも良い。/勉強するスペース/自習室/学生が勉強できるスペースがほしいです。/中高生の自習場、図書館でテスト学習ができないのは学生時代とても苦労しました。/本を読む（机といす）場所がもっと欲しいです。/マンガの貸出/職員さんおすすめの本等教えてほしい/子どもが自習できる場所/ゆとりすぎるイスなどつるぎスペース（1人用のイス）

13 今後、図書館で取り組んでほしい行事・イベントを教えてください。（〇は3つまで）

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
10	インターネット・スマートフォンなどの使い方講座	162	15.5%	85	34	39	148	17.0%
1	読書会	161	15.4%	78	41	39	151	17.3%
9	法律・司法手続きの相談会・講座	137	13.1%	81	36	20	104	11.9%
8	医療・福祉の相談会・講座	114	10.9%	63	28	21	96	11.0%
3	ブックトーク	111	10.6%	56	23	30	73	8.4%
7	子育て・教育の相談会・講座	93	8.9%	45	26	19	80	9.2%
5	ボランティアのための研修会・講座	89	8.5%	51	17	18	62	7.1%
4	電子図書館の使い方講座	88	8.4%	47	20	17	88	10.1%
2	ビブリオバトル	39	3.7%	19	9	11	24	2.7%
6	ビジネス支援の相談会・講座	27	2.6%	21	2	2	31	3.6%
11	その他	24	2.3%	14	8	2	16	1.8%

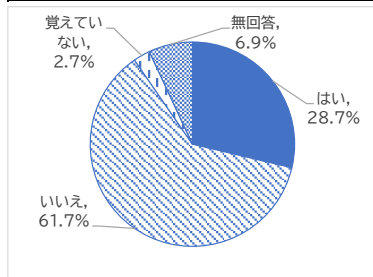


その他内容

特になし/文学講座/○子供さんに本を読んで絵を描いてもらって展示するイベント。○戦争体験を聞く(宇治の戦争体験) 機会があればと思います。/朗読会/司書さんおすすめの本コーナーがあると嬉しいかな。本屋さん大賞的な/絵本の選び方、本を通して親子でコミュニケーション/時事問題/作文、読書感想文のヒント/特になし/特になし。/インターネットでスマホとかでビンゴとかゲームとかして景品がもらえる。図書カード、図書券。でも、騒がしくないでほしい。静かな場所をキープ。/特になし/特になし/図書館の便利な活用法/絵本原作の人形劇など/高齢者へのインターネットサービスの充実/ブックリサイクル 古本を市民がもらえる/面白いと思った本の紹介をネットで公開/本の内容にかかわる実技講習のようなもの/おはなし会で十分です。/出張での読書会(ブックトーク)等/ぬいぐるみのおとまり会(良かったので)/学生向けの取り組み

14 これまでに、図書館で職員が本や情報を探すお手伝いをするレファレンスサービスを利用したことがありますか。

選択番号	選択肢	回答数	割合
1	はい	323	28.7%
2	いいえ	694	61.7%
3	覚えていない	30	2.7%
	無回答	78	6.9%
	計	1,125	



15 レファレンスサービスを利用した目的に○をつけてください。(複数可) (14で「はい」と回答)

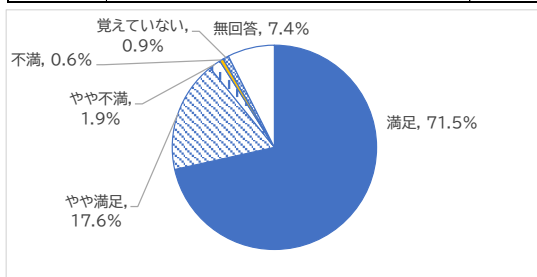
選択番号	選択肢	回答数	割合
1	探している本・資料の所在確認	282	77.0%
2	知りたいテーマに関する情報探し	49	13.4%
3	地域の歴史・郷土資料の調査	15	4.1%
4	学校や仕事の課題・レポートの参考資料探し	9	2.5%
5	その他	4	1.1%
	無回答	7	1.9%
	計	366	

その他内容

本名や作者名を忘れてしまった/スマホを使って、本の貸出や予約、延長ができるようにしていただいた。/他図書館での利用の仕方を丁寧に教えてもらった。/返却本に興味があり、ためになる本が読みたいと思った。

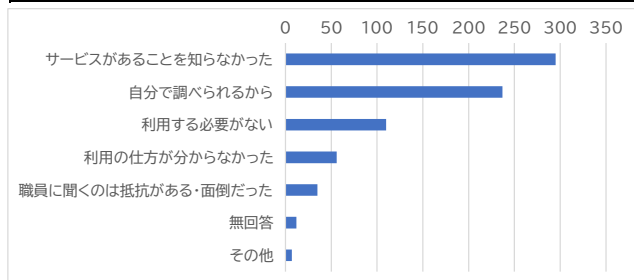
16 レファレンスサービスの対応について、どのように感じましたか。(14で「はい」と回答)

選択番号	選択肢	回答数	割合
1	満足	231	71.5%
2	やや満足	57	17.6%
3	やや不満	6	1.9%
4	不満	2	0.6%
5	覚えていない	3	0.9%
	無回答	24	7.4%
	計	323	



17 レファレンスサービスを利用していない理由に○をつけてください（14で「いいえ」と回答）

選択番号	選択肢	回答数	割合
1	サービスがあることを知らなかった	295	39.2%
3	自分で調べられるから	237	31.5%
5	利用する必要がある	110	14.6%
2	利用の仕方が分からなかった	56	7.4%
4	職員に聞くのは抵抗がある・面倒だった	35	4.7%
	無回答	12	1.6%
6	その他	7	0.9%
	計	752	



その他内容

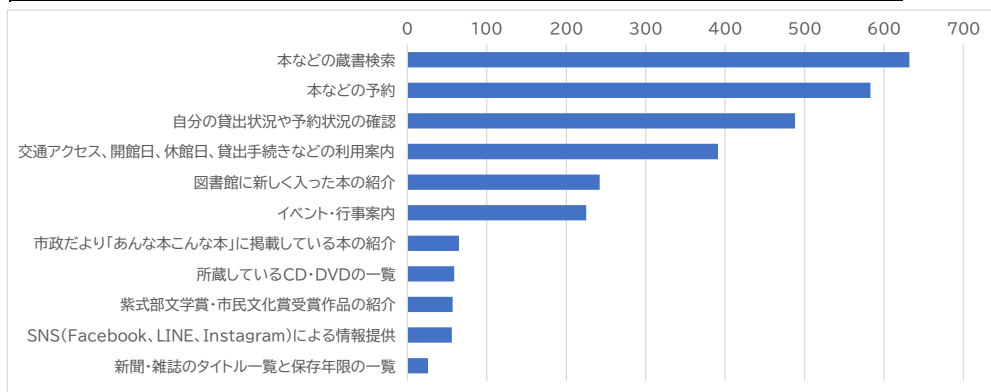
探すことも図書館の楽しみ。時として他のものを発見する喜びがある。/絵本が主なので見て選んでました/有る本で十分満足している/親戚の図書館司書に聞くことができる/今のところ自分の興味のある本しか見ない/必要だった時がないが今後お世話になるかも/カウンターに専用窓口が無い/利用する機会があればと思っています。

18 今後、レファレンスサービスを利用したいと思いますか。（14で「覚えていない」と回答）

選択番号	選択肢	回答数	割合
1	機会があれば利用したい	576	51.2%
2	わからない／どちらともいえない	184	16.4%
3	今のところ利用する予定はない	170	15.1%
	無回答	195	17.3%
	計	1,125	

19 インターネット上のサービスのうちご存じのものに○をつけてください

選択番号	選択肢	回答数	割合	R3知っている	R3知っている割合
1	本などの蔵書検索	632	22.4%	416	13.9%
3	本などの予約	583	20.6%	416	13.9%
2	自分の貸出状況や予約状況の確認	488	17.3%	339	11.3%
4	交通アクセス、開館日、休館日、貸出手続きなどの利用案内	391	13.8%	387	13.0%
6	図書館に新しく入った本の紹介	242	8.6%	338	11.3%
5	イベント・行事案内	225	8.0%	327	10.9%
9	市政だより「あんな本こんな本」に掲載している本の紹介	65	2.3%	187	6.3%
8	所蔵しているCD・DVDの一覧	59	2.1%	210	7.0%
10	紫式部文学賞・市民文化賞受賞作品の紹介	57	2.0%	195	6.5%
11	SNS（Facebook、LINE、Instagram）による情報提供	56	2.0%	2	0.1%
7	新聞・雑誌のタイトル一覧と保存年限の一覧	26	0.9%	171	5.7%



20-1 宇治市図書館のSNSの利用についていずれかに○をつけてください

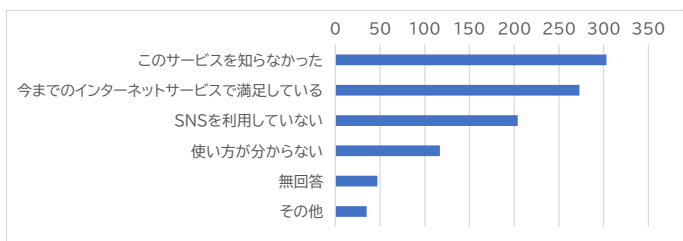
選択番号	選択肢	回答数	割合
1	利用している	115	10.2%
2	利用していない	877	78.0%
	無回答	133	11.8%
	計	1,125	

20-2 宇治市図書館のSNSで利用しているものに○をつけてください。(20-1で「利用している」と回答)

選択番号	選択肢	回答数	割合
1	Facebook	12	8.7%
2	LINE	95	68.8%
3	Instagram	21	15.2%
	無回答	10	7.2%
	計	138	

21 宇治市図書館のSNSを利用していない理由に○をつけてください。(20-1で「利用していない」と回答)

選択番号	選択肢	回答数	割合
2	このサービスを知らなかった	303	30.9%
1	今までのインターネットサービスで満足している	273	27.9%
4	SNSを利用していない	204	20.8%
3	使い方が分からない	117	12.0%
	無回答	47	4.8%
5	その他	35	3.6%
	計	979	

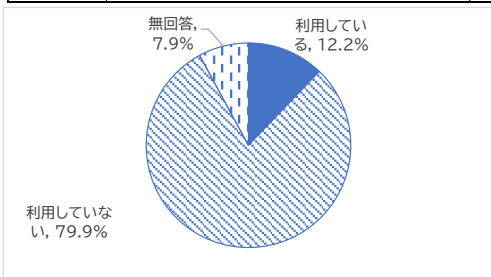


その他内容

SNSを利用したくない/スマホを持っていない/特に必要がない/ネットはやらない/面倒/あまり関心がない/必要でないから。/なし/図書館は静かに本を読む場所だと思っているから、一人で読むより図書館で読みたい/本を借りるだけで満足しています/SNSを利用しなくても不自由はない。/あまり利用しない。SNS/興味がない/携帯、パソコンを持っていない。/機器をもっていない/必要性を感じていない/積極的には見えない/特に必要がない/LINEなら利用してもいいが手続きがしんどい めんどくさい/SNSを広げたくない、必要もない/今で充分/直接本を見て利用できるか判断したいのでSNSなどはあまり見ていない。/本に触れることが少ないので利用することもない。/図書館そのものを使っていなかった/こちらでの出会いを楽しみにしているので/Facebook、Instagramを見る習慣がない/自宅でWi-Fiだるい/スマートフォンを持ってない/機会なし/特に必要がないから。/毎日忙しい。時間があれば、新聞や図書館で精一杯です。/あまりSNSを利用しない。/する必要がない/利用器具を持っていない/特に理由はない/仕事や交友関係で利用しており、これ以上SNSでの情報(着信)を増やしたくない。/Instagramを見たところ、発信情報が自分の必要としている内容ではないと考えたから。

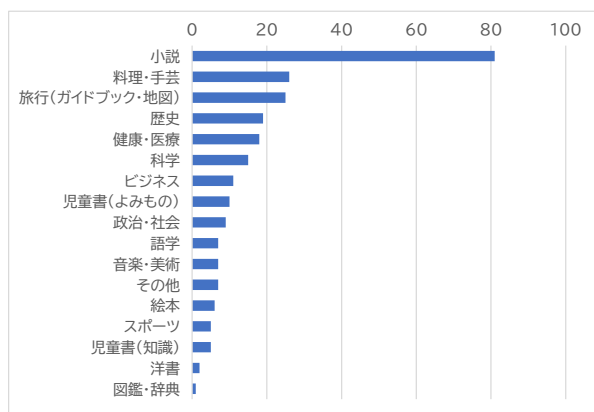
22 宇治市図書館は電子図書館サービスを行っています。いずれかに○をつけてください。

選択番号	選択肢	回答数	割合	R3回答数	R3割合
1	利用している	137	12.2%	95	9.2%
2	利用していない	899	79.9%	620	60.0%
3	利用してみたい	—	—	193	18.7%
	無回答	89	7.9%	125	12.1%
	計	1,125		1,033	



23 電子図書館でよく読んでおられる本のジャンルに○をつけてください。（22で「利用している」と回答）

選択番号	選択肢	回答数	割合
1	小説	81	31.9%
6	料理・手芸	26	10.2%
2	旅行（ガイドブック・地図）	25	9.8%
3	歴史	19	7.5%
4	健康・医療	18	7.1%
11	科学	15	5.9%
5	ビジネス	11	4.3%
13	児童書（よみもの）	10	3.9%
10	政治・社会	9	3.5%
7	語学	7	2.8%
8	音楽・美術	7	2.8%
17	その他	7	2.8%
15	絵本	6	2.4%
9	スポーツ	5	2.0%
14	児童書（知識）	5	2.0%
16	洋書	2	0.8%
12	図鑑・辞典	1	0.4%
	計	265	

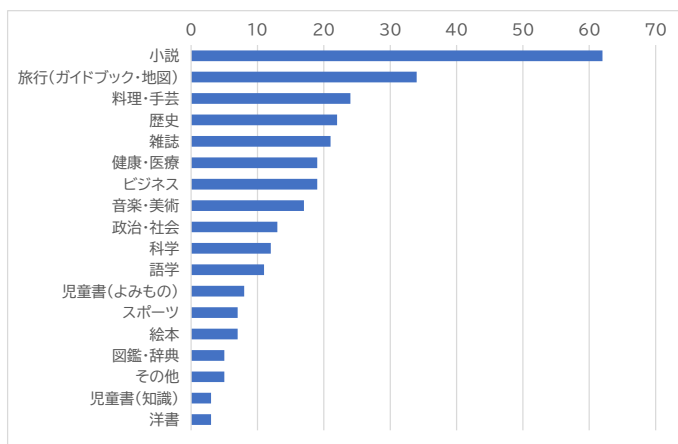


その他内容

文学/エッセイ/今は利用していない。/宗教/実用書/実用書(ビジネス?)、マンガ(コミックエッセイ?) /ノンフィクション、エッセイ、ドキュメント

24 今後読みたい本のジャンルに○をつけてください。（22で「利用している」と回答）

選択番号	選択肢	回答数	割合
1	小説	62	21.2%
2	旅行（ガイドブック・地図）	34	11.6%
6	料理・手芸	24	8.2%
3	歴史	22	7.5%
17	雑誌	21	7.2%
4	健康・医療	19	6.5%
5	ビジネス	19	6.5%
8	音楽・美術	17	5.8%
10	政治・社会	13	4.5%
11	科学	12	4.1%
7	語学	11	3.8%
13	児童書（よみもの）	8	2.7%
9	スポーツ	7	2.4%
15	絵本	7	2.4%
12	図鑑・辞典	5	1.7%
18	その他	5	1.7%
14	児童書（知識）	3	1.0%
16	洋書	3	1.0%
	計	307	

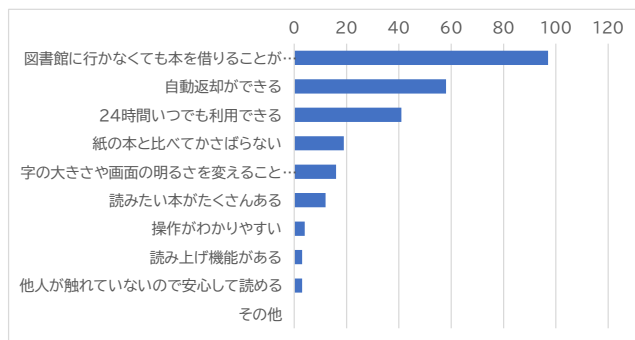


その他内容

エッセイ/サンリオマンガ/写真撮影 写真集/終活/ノンフィクション、エッセイ、ドキュメント

25-1 電子図書館を利用して良かった点（22で「利用している」と回答）

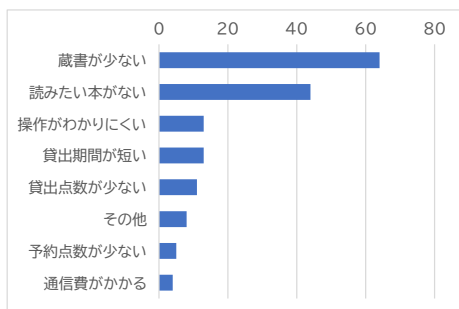
選択番号	選択肢	回答数	割合	R3回答数	R3割合
1	図書館に行かなくても本を借りることができる	97	38.3%	67	38.3%
7	自動返却ができる	58	22.9%	42	24.0%
8	24時間いつでも利用できる	41	16.2%	34	19.4%
6	紙の本と比べてかさばらない	19	7.5%	13	7.4%
5	字の大きさや画面の明るさを変えることができる	16	6.3%	9	5.1%
2	読みたい本がたくさんある	12	4.7%	3	1.7%
3	操作がわかりやすい	4	1.6%	4	2.3%
4	読み上げ機能がある	3	1.2%	—	—
9	他人が触れていないので安心して読める	3	1.2%	1	0.6%
10	その他	0	0.0%	1	0.6%



その他内容

25-2 電子図書館を利用して不満な点（22で「利用している」と回答）

選択番号	選択肢	回答数	割合	R3回答数	R3割合
1	蔵書が少ない	64	39.5%	66	50.4%
2	読みたい本がない	44	27.2%	30	22.9%
3	操作がわかりにくい	13	8.0%	9	6.9%
5	貸出期間が短い	13	8.0%	3	2.3%
4	貸出点数が少ない	11	6.8%	6	4.6%
8	その他	8	4.9%	9	6.9%
6	予約点数が少ない	5	3.1%	2	1.5%
7	通信費がかかる	4	2.5%	6	4.6%

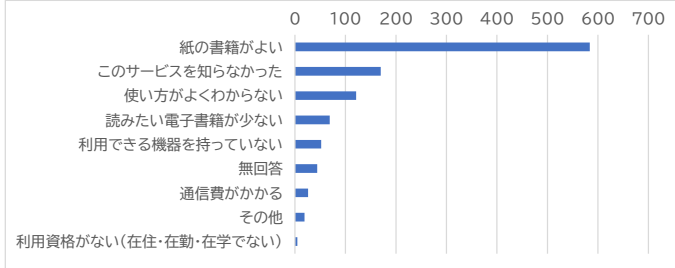


その他内容

蔵書検索でめあての本が出てこない。検索機能が使いにくい/電子文字が読みにくい/検索がしにくい。本棚をぶらっとみたい機能がない/思想が左寄りで女性による男性差別を肯定している。「キモイといわれないおじさんのための本」など/普段あまり利用していないが、旅行の時などにはよい。利用したい。/目が疲れる/検索が使いづらい。ジャンル分けを工夫してほしい。1ジャンルで数千冊、1万冊以上とがあり、その中で無理に検索が出来ない構造になっていて使いにくい。

26 電子図書館サービスを利用していない理由（22で「利用していない」と回答）

選択番号	選択肢	回答数	割合
1	紙の書籍がよい	584	55.8%
3	このサービスを知らなかった	170	16.3%
4	使い方がよくわからない	121	11.6%
2	読みたい電子書籍が少ない	69	6.6%
5	利用できる機器を持っていない	52	5.0%
	無回答	44	4.2%
6	通信費がかかる	26	2.5%
8	その他	19	1.8%
7	利用資格がない（在住・在勤・在学でない）	5	0.5%
	計	1,090	



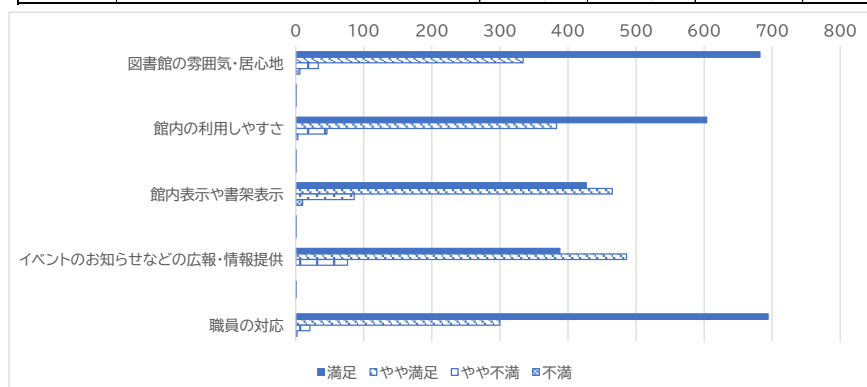
その他内容

使う機会が今はない/今は利用していない/目によくない/紙の文字が好き/手続きが面倒/直接図書館で見た方が早い/必要性を感じていない/必要としない/図書館では紙の本を探すために来ているから/時間がない/自宅でWi-Fiだるい/電子書籍はkindle端末を使用しています。/読みたい本がなかった/今のところ必要なし/面倒だから一覧しにくい。/スマホでは読みにくかった。/目が痛くなる

27 図書館をご利用いただいた感想をお聞きます。あてはまるものに○をつけてください。

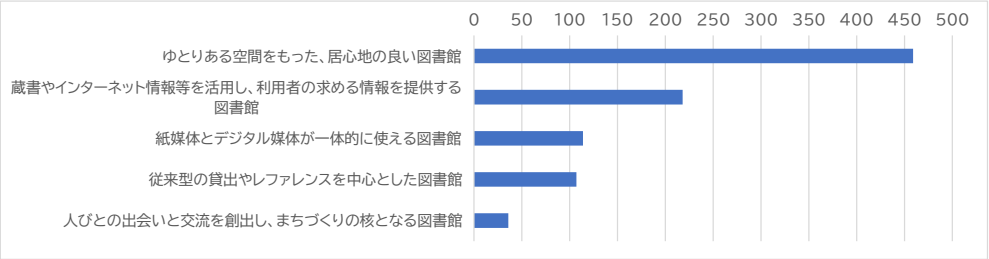
選択番号	選択肢	満足	やや満足	やや不満	不満
1	図書館の雰囲気・居心地	682 64.6%	334 31.7%	33 3.1%	6 0.6%
2	館内の利用しやすさ	604 58.3%	383 37.0%	46 4.4%	3 0.3%
3	館内表示や書架表示	427 43.2%	465 47.1%	86 8.7%	10 1.0%
4	イベントのお知らせなどの広報・情報提供	388 40.8%	486 51.2%	76 8.0%	0 0.0%
5	職員の対応	694 68.2%	300 29.5%	21 2.1%	2 0.2%
	計	2,795	1,968	262	21

選択番号	選択肢	R3満足	R3やや満足	R3やや不満	R3不満
1	図書館の雰囲気・居心地	558 62.0%	303 33.7%	36 4.0%	3 0.3%
2	館内の利用しやすさ	474 53.2%	369 41.4%	43 4.8%	5 0.6%
3	館内表示や書架表示	355 41.3%	394 45.9%	108 12.6%	2 0.2%
4	イベントのお知らせなどの広報・情報提供	288 37.0%	425 54.6%	63 8.1%	2 0.3%
5	職員の対応	614 68.8%	261 29.2%	16 1.8%	2 0.2%
	計	2,289	1,752	266	14



28 本市の図書館の将来像として、最もふさわしいと思われるものを教えてください。

選択番号	選択肢	回答数	割合	中央	東宇治	西宇治	R3回答数	R3割合
3	ゆとりある空間をもった、居心地の良い図書館	459	40.8%	247	104	100	371	35.9%
1	蔵書やインターネット情報等を活用し、利用者の求める情報を提供する図書館	218	19.4%	124	60	32	193	18.7%
	無回答	191	17.0%	113	37	36	262	25.4%
2	紙媒体とデジタル媒体が一体的に使える図書館	114	10.1%	56	24	32	81	7.8%
5	従来型の貸出やレファレンスを中心とした図書館	107	9.5%	53	15	36	91	8.8%
4	人びとの出会いと交流を創出し、まちづくりの核となる図書館	36	3.2%	18	6	11	35	3.4%
	計	1,125		611	246	247	1,033	



29 宇治市図書館についてご意見などをお聞かせください。

● 図書館へのアクセス・立地等に関する要望・意見 13件
(主な要望・意見) 交通が不便/直通バスがあれば便利/交通の便が良い場所に移動/東宇治図書館の駐車場が少ない/市内のどこに住んでいても利用できるようなゆとりのある居心地の良い図書館を小学校区に1館希望
● 図書館資料に関する要望・意見 78件
(主な要望・意見) 蔵書が少ない/古い本が多く新しい本が少ない/CD・DVDを増やして欲しい(クラシック・落語・映画)/歴史書を増やして欲しい/小説を増やして欲しい/専門書関連の充実/京都観光の最新版を増やして欲しい/子どもの漫画の実用書を増やして欲しい/探している本が見当たらない時がある/予約本がなかなか読めない/で数を増やして欲しい/巻が抜けていることがある、全巻そろえてほしい/同じ著者の本が単行本と文庫で別の棚なので探すのに時間がかかる/連載物は順序よく並べてほしい/古い本の更新/料理・雑誌の本を増やして欲しい/書架に詰めすぎで出しにく戻せない/東宇治図書館でもCD・DVDを置いてほしい/電子図書館の資料を増やして欲しい
● 図書館施設に関する要望・意見 103件
(主な要望・意見) 座席が少ない/文化会館でイベントの際、図書館利用者専用駐車場を確保してほしい/新聞・雑誌の閲覧場所を限定してほしい/中央・東のトイレ設備が古い/駅やスーパーに返却ポストや予約貸出ロッカーの設置/自習スペース/東宇治図書館の駐車場を増やして欲しい/カフェコーナーの併設/冷水サービス/高いところの本が取れない/中央以外も靴を履いての利用にしてほしい/静かで心地よくゆとりある図書館/夏季室温を下げてほしい/階段が足が堪える/施設を大きくして蔵書を増やして欲しい/冷房効きすぎ/利用者のスペースを工夫して雑音を柔らかに
● 図書館・サービスポイント・移動図書館等に関する要望・意見 4件
(主な要望・意見) 移動図書館/配本所便利で利用している
● 図書館サービスに関する要望・意見 99件
(主な要望・意見) 貸出期間3週間長い2週間で回していけばよい/貸出期間長くしてほしい/借りた本の履歴が管理できる/ネット予約のリアルタイム化/乳幼児の読み聞かせの充実/京都市以外の近隣市とも相互利用できるよう利便性向上/ネット予約が何度も「はい」を押さないといけない。回数を減らしてほしい/所蔵検索に際どの図書館にあるか、予約人数が分かるようにしてほしい/予約しても貸出まで時間がかかるため予約の20冊がすぐいっぱいになる/月曜日も開館する日を設けてほしい/予約した本を市内のどの図書館でも受け取れて便利/平日の開館時間がもう少し遅いとい/リクエストに100%応えてほしい/本の事をどこで尋ねたらいいかわからない/新聞のネット上の有料記事の閲覧/同居家族の貸出本の返却の有無を覚えてもらえなかった各館確認したが対応が異なるため図書館として方向性を統一してほしい/予約本の連絡がLINEやメールで来ると良い
● 職員の応対接遇に関する要望・意見 36件
(主な要望・意見) 親切的な職員と不愛想な職員と極端/丁寧な対応で気持ちが良い/延滞した時に冷たく対応された/走り回る子どもを注意してほしい/西宇治図書館のスタッフさんはいつも気持ちの良い対応/女性で対応が悪い人がいる/前々館長の時は図書館に活気があった/5年ほど前取り扱いを求める連絡書を出すも回答がない。2度3度聞くと回答なし。責任を持って回答すべき
● 図書館広報に関する要望・意見 6件
(主な要望・意見) ホームページの更新をリアルタイム/子供に図書館の存在を知ってもらいたい/図書館に限らず公共の配布物の部数が多すぎる/各学校と連携して小中高でよく借りられている本の紹介/市外の方も利用できるような発信。太陽が丘、文化センターとの連携等

第 3 次宇治市図書館事業計画

(初案)

令和 7 年 1 1 月

宇治市教育委員会

はじめに

情報通信技術の急速な進展やライフスタイルの多様化が進む現代社会において、人々の情報へのアクセス手段や読書を取り巻く環境は大きく変化しています。電子書籍やインターネットを通じた情報収集が一般化し、紙の本に親しむ機会の減少や読書離れ、世代間の情報格差といった課題も顕在化しています。また、少子高齢化やグローバル化が進む中で、子どもの読書習慣の涵養や高齢者・障害者・日本語を母語としない市民へのサービス充実といった、世代や立場に応じたきめ細かな支援が一層求められています。

さらに、2020年代に入り、いわゆるコロナ禍を契機に「場所にとらわれない学びや情報へのアクセス」の重要性が再認識され、図書館のあり方もこれまで以上に柔軟性や多様性が求められるようになっていきます。

こうした時代の変化の中で、図書館は単なる「本を貸し出す場所」だけでなく、「知る・学ぶ・集う場」として、地域の歴史や文化に関する資料の収集・提供、地域施設や団体との連携、市民活動の支援等により、市民の生涯学習の拠点としての役割がますます重要となっています。

とりわけ、誰もが安心して気軽に利用できる環境づくりや、ICTを活用した利便性の高いサービスの提供は、今後の図書館のあり方を考える上で不可欠です。

本計画は、時代の変化や多様化する市民ニーズを踏まえながら、宇治市図書館が果たすべき役割を明確にし、持続可能な運営と機能強化を図るための方針を示すものです。図書館の基本的な使命である市民一人ひとりの「知る権利」を支える場として、子どもから高齢者まですべての市民が読書や図書館での学び・経験を通じて豊かな人生を送ることができるように、未来を見据えた図書館づくりを進めてまいります。

宇治市図書館基本的運営方針

1 読む楽しさ、学ぶ喜びを創出する図書館

市民の知的好奇心を満たし、生涯に渡る学習を支えるため、幅広い分野の資料の収集を行うとともに、多様な学習機会を提供し、一人ひとりが主体的に考え、生きる力を身に付け、その成果を社会に活かす人を育てます。

2 情報の拠点として地域を支える図書館

市民が日常生活や地域活動の中で必要となる資料やデジタル情報を収集し提供します。また、レファレンスや課題解決支援サービスの実施により、市民に役立つ地域の情報拠点としての役割を果たします。さらに、市民が必要な情報にアクセスし、得た情報を活用する知識・技術を身に付けられるよう支援します。

3 地域文化を未来につなぐ図書館

「ふるさと宇治」に関する歴史・文化・郷土資料や産業・行政等に関する地域資料を収集・保存する役割を果たし、これらの多様で貴重な地域資料を次世代に引き継ぎます。

4 すべての人にやさしい図書館

市民の誰もが気軽に図書館サービスを利用できるよう、利便性の向上を図るとともに、積極的な情報発信に努めます。

読書バリアフリーの観点から、必要とする人がよりスムーズに図書館を利用できるよう、様々なサービスを充実させ、誰もが読書に親しむことのできる環境を目指します。

5 人とともに成長する図書館

多様で質の高いサービスを提供していくため、専門性の高い人材を育成します。

本計画が確実に実行されるよう自ら定期的に点検・評価を行うとともに、効果的にサービスを提供し、常に改善することにより成長する図書館を目指します。

宇治市図書館の沿革

昭和 40 年 10 月	市民会館図書室開室
41 年 8 月	図書の貸出開始（グループ登録による貸出）
43 年 5 月	児童書コーナー設置
44 年 10 月	移動図書館「そよかぜ号」巡回開始
52 年 9 月	地域・家庭文庫への団体貸出開始
53 年 8 月	「宇治市民図書室」に名称変更 （機構改革により教育委員会に移管）
59 年 11 月	宇治市中央図書館開館
61 年 6 月	視覚障害者サービスを開始 （対面朗読、点字・テープ図書貸出、声の図書館だより）
62 年 7 月	行政資料コーナー開設
平成 2 年 11 月	「外国絵本コーナー」開設
4 年 11 月	宇治市東宇治図書館開館
9 年 6 月	宇治市西宇治図書館開館
13 年 10 月	京都府総合目録ネットワーク参加
14 年 6 月	宇治市図書館ホームページ開設 インターネット予約開始
15 年 3 月	移動図書館「そよかぜ号」廃止
4 月	予約図書配本サービス開始 祝日開館開始
19 年 4 月	学校図書館と市立図書館連絡会の設置
5 月	学校等団体貸出開始
21 年 9 月	電子メールによる予約連絡サービス開始
24 年 4 月	宇治市図書館と京都文教大学図書館・京都文教短期大学 図書館との連携協力の開始
27 年 10 月	ティーンズコーナー開設
28 年 4 月	京都市との図書館相互利用開始 CD・DVD 収集貸出本格実施
29 年 4 月	中央図書館の平日開館時間延長開始
30 年 3 月	宇治市図書館事業計画策定
令和 3 年 1 月	館外返却ポストの設置
2 月	図書除菌機の設置
3 月	電子図書館サービスの開始
4 年 3 月	第 2 次宇治市図書館事業計画策定
6 月	視覚障害者専用電子図書館サービスの開始
7 月	宇治市電子図書館学校連携事業の開始
6 年 3 月	WEB 利用者カード（スマホ貸出券）の開始

目 次

1 計画策定の趣旨	1 頁
2 計画の位置付け	2 頁
3 計画期間	3 頁
4 宇治市図書館を取り巻く状況	3 頁
5 第2次宇治市図書館事業計画の取組状況	5 頁
6 施策体系図	9 頁
7 基本施策と具体的な取組	11 頁
8 取組の指標	22 頁
資料編	23 頁

1 計画策定の趣旨

本市図書館は、2018（平成30）年3月に「宇治市図書館事業計画」、2022（令和4）年3月に「第2次宇治市図書館事業計画」を策定し、知の拠点、情報の拠点として基本的な図書館サービスの充実や効果的で安定的な図書館運営を行うための様々な取組を進めてきました。

しかしこの間、図書館をとりまく社会環境は、人口減少や少子高齢化の進行、ICTやAIの急速な進化、新型コロナウイルス感染症の拡大や度重なる大規模災害の発生など、目まぐるしく変化しています。

また、個人のインターネット利用率が80%を超え、特にスマートフォンの普及により、誰もが手軽にインターネットに接続して多種多様な情報を発信し、アクセスできるようになった反面、真偽の不確かな情報の流通や偽・誤情報の拡散による被害が社会問題になっています。多様化・複雑化する社会の中で、必要な情報を取捨選択するためには、デジタル情報やデータを鵜呑みにするのではなく、その真偽を判断し、活用する力が必要であり、一人ひとりが自ら情報を収集し、分析・評価することによって、主体的な判断や意思決定、行動するための情報リテラシーの向上が求められています。

こうした社会情勢や国・京都府の動向、本市の状況等を踏まえ、第3次図書館事業計画の策定にあたっては、次の5つを見直しのポイントとしました。

1 図書館利用の促進

本市の図書館の実質利用者は、市民の1割に満たないため、地理的・時間的な制約のある人に対し、オンラインサービスや非来館型サービスの充実を図ります。

また、娯楽の多様化等により読書離れが進行する中、図書館や読書に関心のない人に対して図書館の利用につながる取組を進めます。

2 図書館のICT化の推進

スマートフォン等の情報通信機器の急速な普及により、紙媒体だけではなくデジタル媒体を活用した知識や情報の収集、活用が必要となっています。こうした状況を踏まえ、様々な形態の資料を収集・管理できる環境づくりに努めるとともに、市民の情報リテラシーの向上につながる取組を進めます。

3 課題解決支援サービスの充実

利用者のニーズに合った資料を多方面から提供できるよう、資料（図書・雑誌・新聞等）やデータベース等の充実、企画事業の実施により、利用者が自ら課題を解決する支援を行います。

4 要配慮者へのサービスの充実

読書バリアフリー法や市の各種計画に基づき、来館・非来館、障害の有無、年齢に関わらず、すべての市民が図書館や読書に親しむことができるサービスの充実を図ります。

5 多文化対応サービスの充実

宇治市では 2024（令和 6）年末現在 3,831 人の外国籍の人が暮らしており、その数は年々増加傾向にあります。多言語資料や外国に関する資料を収集し、提供するとともに、企画事業の実施により、多様な文化・言語・価値観などを学ぶ機会を作ります。また、日本語を母語としないため、図書館のサービスや資料を利用できない、もしくは利用しにくい人に対して取組を進めます。

以上の方向性と、本市の地域性や図書館の特性、利用者ニーズ等を踏まえ、生涯学習審議会等における意見を参考としながら、短期的な目標と施策を体系的に示す第 3 次宇治市図書館事業計画を策定しました。

2 計画の位置付け

第 3 次宇治市図書館事業計画は、図書館法第 7 条の 2 に規定された「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」における事業計画にあたるものです。また、市政の最上位計画である宇治市第 6 次総合計画や教育部門の上位計画である宇治市第 2 次教育振興基本計画における、生涯学習分野の部門別計画として位置づけられるものです。

本計画の策定にあたっては、総合計画、教育振興基本計画の他、関連する計画である子どもの読書活動推進計画等との整合を図っています。

3 計画期間

宇治市第 6 次総合計画第 2 期中期計画の計画期間と同じ、令和 8 年度から令和 11 年度までの 4 年間とします。

4	5	6	7	8	9	10	11
宇治市第 6 次総合計画 (第 1 期中期計画)				宇治市第 6 次総合計画 (第 2 期中期計画)			
第 2 次宇治市教育振興基本計画							
宇治市子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）							
第 2 次宇治市図書館事業計画				第 3 次宇治市図書館事業計画			

4 宇治市図書館を取り巻く状況

1 立地環境

本市は中央図書館・東宇治図書館・西宇治図書館の 3 館でサービスを提供していますが、図書館から地理的に遠い地域があり、公共交通アクセスに課題があります。そのため、市内 7 か所の公共施設等で予約図書の貸出を行う予約図書配本サービスや館外返却ポストの設置、隣接する京都市との相互利用に加えて、2021 (令和 3) 年から京都府下で初となる電子図書館サービスを開始するなど利用者の利便性向上を図ってきました。

しかし、2025 (令和 7) 年度に実施した市民ニーズ調査において、図書館を利用しない理由として「距離的に遠いこと」、「交通の便が悪いこと」が前回調査 (令和 3 年度) に引き続き上位に挙がっており、さらなる利便性の向上が求められています。

2 資料

宇治市図書館の蔵書冊数は 2024 (令和 6) 年度末現在約 316 千冊となっています。また、2024 (令和 6) 年度末の市民一人あたり蔵書冊数は 1.77 冊であり人口 150~200 千人規模の市の平均を大きく下回っています。しかし、蔵書収蔵スペースが限界に達していることからこれ以上蔵書冊数を増加させることができないため、収蔵スペースの確保とともに、蔵書の適切な管理・更新が求められています。

一方、2021 (令和 3) 年より開始した電子図書館サービスの登録点数 (蔵書点数) は、2024 (令和 6) 年度末現在 23,685 点であり、収蔵スペースは不要であるものの、紙の書籍に比べて高額であること、定期的な更新が必要であるといった課題があります。

また現在、オンラインデータベース等のデジタル資料の提供を行う環境を充実する必要があります。

3 利用状況

2024（令和6）年度の市民一人当たりの貸出点数は、3.44点となっており近年は横ばいとなっています。また、実質利用者数（2024（令和6）年度に貸出した登録者数）は、13,395人となり市民の約7%に留まっています。

年代別の利用傾向は、2022（令和4）年に電子図書館学校連携事業を開始したことにより、～10歳代において一定の伸びは見られたものの、小学校低学年期の利用を最初のピークとして迎えた後は減少傾向となり、20～30歳代の利用は最も少なくなっています。このことから図書館を利用していた小学生が中高生となり部活動や習い事、娯楽の多様化等により利用が減少し、その後も図書館の利用に至らないことが推測できます。また、乳幼児を育てている年代は利用が伸びるものの、子どもが大きくなるにつれて利用は減少します。その後は、比較的時間にゆとりができるシニア世代において利用が増加しています。

4 レファレンス

利用者からの相談に応じるレファレンスサービス（※1）は貸出と並ぶ図書館の重要なサービスですが、周知不足等により十分に利用されているとは言い難い状況です。また、インターネットの普及により、利用者の調査研究内容も専門化・多様化しています。そのため、職員はレファレンスに必要な専門知識の習得や情報検索能力、利用者の質問内容を的確に把握して回答するコミュニケーション能力を向上させる必要があります。

5 環境整備

2025（令和7）年度に実施した市民ニーズ調査及び利用者アンケートでは追加・充実してほしい環境・設備として、「無料Wi-Fiが使える場所」を望む意見が最も多く、次いで「インターネットが利用できる環境」や「CD・DVD・カセットなどを視聴できる環境」が多くなっています。

また、現在様々な分野で紙媒体の資料からデジタル媒体資料への移行が進んでおり、国内外の文献や情報、デジタルアーカイブ（※2）等の画像データといった高度化した大量のデータベースを利用するための環境整備が求められています。

5 第2次宇治市図書館事業計画の取組状況

1 読む楽しさ、学ぶ喜びを創出する図書館

(1) 取組状況

- 各年代のニーズに応じた図書館資料の充実に努めました。
- 乳幼児・児童向けには図書館や読書に親しむためのイベントや取組の充実を図り、青少年に向けては様々な本と出合うための取組を行った他、成人・高齢者向けには朗読会や講演会等を行い、昼間利用が困難な学生や社会人に向けては夜間イベントを開催しました。
- 市民の知的好奇心を満たし、学習意欲を高めるための図書展示や企画事業を継続して実施しました。
- 収蔵スペース上の制約により外国語図書を収集していませんでしたが、電子図書館サービスの導入に伴い外国語の電子書籍を収集することができました。
- 他図書館との相互貸借等により、可能な限り利用者ニーズに応じるよう努めました。
- 小学校等の図書館見学の受入や中学校の職場体験学習の受入や、府立図書館学校支援セットの貸出や学校への団体貸出を行いました。また、学校図書館と市立図書館の連絡会を開催し意見交換を行いました。
- 子どもの読書活動や学習活動を推進するため、宇治市立学校に在籍する小学校3年生以上の全小中学生に電子図書館を利用できる専用IDカードを配布する電子図書館学校連携事業を開始しました。

(2) 課題

- 読解力の低下やいわゆる「活字離れ」が見られるため、読書や学習を好まない子どもや成人への働きかけが必要です。幼少期から読書習慣を身につけるための取組や読書意欲の向上を図る取組の充実が課題となっています。
- 多様化・高度化している学習ニーズに必要な資料の充実や情報の収集・提供を進めるとともに、青少年や社会人に対する読書活動の支援を充実する必要があります。
- 収蔵スペースが限られているため蔵書冊数を大きく増やすことはできていません。限られた収蔵能力を最大限に活用し適切に蔵書管理を行う必要があります。蔵書構成のバランスを保ち、資料収集と蔵書の更新を行うことが課題となっています。
- 子どもの読書活動の推進のため、学校図書館や学校現場との連携が重要であり、市立図書館と学校図書館の取組について、相互に理解を深める必要があります。また、学校図書館だけでなく、学校現場との更なる連携強化の必要があります。

2 情報の拠点として地域を支える図書館

(1) 取組状況

- 市広報誌やホームページ・SNS等による情報発信を行っています。
- レファレンスサービスでは、所蔵する資料やインターネット情報を活用して信頼できる文献や情報を案内しています。
- インターネットを活用した情報収集のため、各館に1台ずつの市民用パソコンを設置しています。また、インターネットサービスの拡充や利用者を支援するための講座を実施した結果、インターネット予約の利用率は全予約数の約70%に伸びています。
- 関係部署との共催事業として子育て、福祉等に関するイベントや図書展示を実施しました。また、庁内各課の行政課題の解決や市職員のスキルアップを目的とした行政支援サービス（※3）を実施しています。
- 電子図書館学校連携事業や市内在住の視覚障害の方がスマートフォン等の音声自動読み上げ機能を使って電子書籍を楽しめる視覚障害者専用電子図書館サービスを日本で初めて導入し、電子図書館サービスの充実に努めました。

(2) 課題

- 情報化社会の進展により多種多様な情報が入手できるようになり、レファレンスの内容は高度化・多様化しており、職員のレファレンス技術の更なる向上が必要です。
- 誰もがインターネットを活用できるよう支援し、情報活用能力の向上と情報格差の解消に取り組む必要があります。
- 地域の課題解決を支援するため、資料収集や相談業務の充実が課題です。また、庁内各課の行政課題の解決を支援するため、関連図書の展示貸出、共催事業の実施、サービスの周知などに努めるとともに、図書館職員が行政施策や課題を把握する必要があります。

3 地域文化を未来につなぐ図書館

(1) 取組状況

- 地域資料や行政資料の収集・配架を行っています。
- お茶に関する資料や源氏物語に関する資料を積極的に収集し、中央図書館・東宇治図書館では源氏物語コーナーを設けています。
- 宇治の歴史を学ぶ講演会やイベントなどを実施し、宇治に関する資料を収集した「宇治コーナー」を設置しています。

(2) 課題

- 歴史・文化のみならず、産業や地域行事など、地域に関する様々な資料を収集し長期的に保存する必要があります。また、地域資料や行政資料の保存基準を設けるなど適切な管理が課題となっています。さらに、これら資料の活用を促進するために、市民の認知度を高めるための広報や、長期的に保存するための環境整備が課題となっています。
- 宇治に広く関心を持ってもらうため、宇治の歴史、文化などについて学習する取組の充実を図る必要があります。

4 誰もが利用しやすい図書館

(1) 取組状況

- 市内3図書館に加え公共施設等の窓口で予約図書の貸出ができる予約図書配本サービス、京都市図書館との相互利用を実施しています。
- 配本所及び市役所への館外返却ポストの設置や、山間部の小学校での出張おはなし会、地域・家庭文庫等への団体貸出を行う他、電子図書館サービスを導入し、図書館利用が困難な利用者へのサービスの充実を図っています。
- 障害者サービスでは、視覚障害のある人を対象としたデージー図書（※4）の郵送貸出、リーディングボランティアの協力による「声の図書館だより」の作成、対面朗読等を実施しました。また、障害のある人全般を対象に図書の郵送貸出サービスやLLブック（※5）の収集等を行っています。
- 外国語サービスは英字新聞の配架と外国語絵本の貸出、多言語のおはなし会を実施しました。資料の収集については、電子図書館のみに留まりました。
- 図書館についての広報は、市広報誌やホームページの他、SNSを活用して情報発信の強化を図りました。
- 夜間イベントを開催し、普段、図書館を利用していない人の利用促進を図っています。
- ボランティアや地域のサークルに対する支援として、活動機会の提供や共催事業の実施、出張おはなし会、団体貸出等を行っています。

(2) 課題

- 図書館の貸出冊数は減少傾向にあり、新型コロナウイルスの影響により大きく落ち込んだ貸出冊数は5類移行後も戻っていません。
- 図書館や配本所を利用しにくい地域があるため、配本所等のサービス拠点の増設が求められています。
- 様々な理由により来館することが困難な人へのアウトリーチサービス（※6）や、各種の手続きをオンラインで行う等、非来館型サービスの充実が課題となっています。
- 障害のある人や日本語を母語としない人等、配慮が必要な人を対象とした環境の整備やサービスの充実が課題となっています。
- 地域施設・団体との連携事業の拡充が課題となっています。

5 人とともに成長する図書館

(1) 取組状況

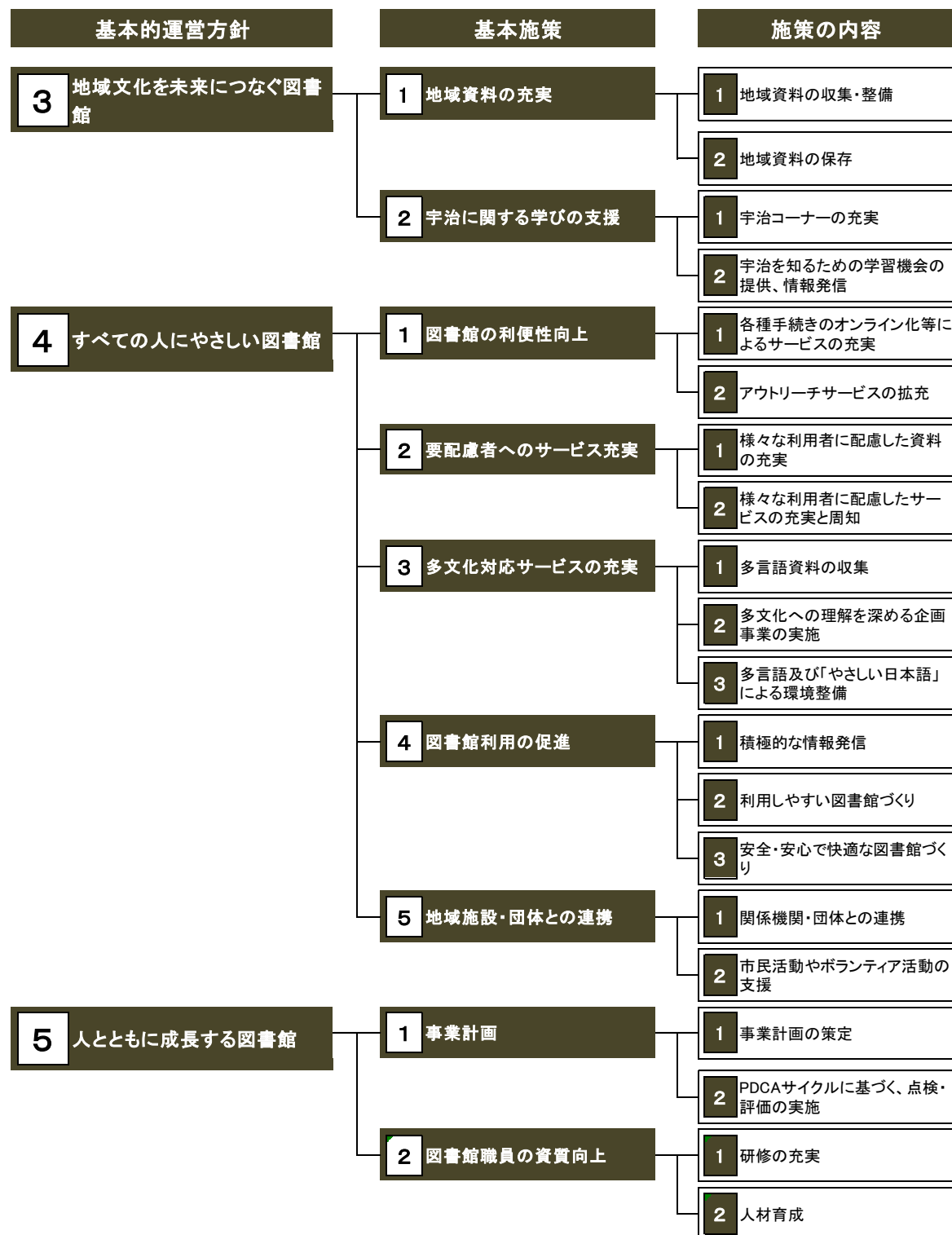
- 第2次事業計画に基づく取組を実施し、図書館サービスの向上に努めています。
- 質の高い図書館サービス提供のため、外部研修への参加や合同研修、職場会議を実施しています。

(2) 課題

- 事業の点検と評価を行い、実施できていない取組についてはその原因を分析し次期計画に反映していく必要があります。
- 定期的な司書会議の開催や研修機会を増やすとともに、業務マニュアルを整備し、職員の知識・技量の向上を図る必要があります。

6 施策体系図





7 基本施策と具体的な取組

1 読む楽しさ、学ぶ喜びを創出する図書館

(1) 全ライフステージの読書活動支援

人生のどの時期にも「本との出会い」がある環境づくりを進めるため、引き続き、乳幼児から高齢者まで各年代のニーズに応じた電子書籍を含む図書館資料の充実に努めます。また、図書展示や特集コーナーの設置、館内外での企画事業等を積極的に実施します。

また、スマートフォンの普及やそれに伴う SNS 利用者の増加、ライフスタイルの変化などにより、特に若年層で顕著になっている「活字離れ」に対し、世代を問わず図書館・読書への関心を誘い、来館を促すきっかけとなるような取組を進めます。同時に、図書館に来館しなくても読書の楽しさが伝わる取組についても検討します。

施策の内容

- ①乳幼児に対する読書機会の提供・充実
- ②児童に対する読書機会の提供・充実
- ③青少年に対する読書活動の支援・充実
- ④成人に対する読書活動の支援・充実
- ⑤高齢者に対する読書活動の支援・充実

具体的な取組

(全般)

- 各世代に向けたテーマ図書展示の実施
- おはなし会や講演会等の企画事業の実施
- 出張おはなし会やオンライン講座等の非来館型企画事業の実施

(乳幼児)

- プレママや乳幼児と保護者を対象とした取組の実施
(赤ちゃんタイム、赤ちゃんおはなし会等)
- 保護者に対する読書活動への理解促進
(絵本講座等)
- 家族で一緒に読書を楽しむ時間を共有する「家読(うちどく)」の推進
- 子育て支援関係部署との連携
(パパママ教室でのおはなし会や、講演会等での子育て相談会等)
- 子育て支援コーナーの充実
- 乳幼児の月齢・年齢に応じたブックリストの充実

(児童)

- 児童に図書館に親しんでもらう取組の実施
(子ども司書体験、ぬいぐるみのおとまり会等)
- 児童のためのブックリスト等の作成
- 学習に活用できる電子書籍の充実
- 「どくしょつうちょう」(※7)の更新

(青少年)

- 青少年向けのブックリストの作成
- 青少年の興味・関心の高いテーマの電子書籍の収集

(成人)

- 社会人が参加しやすい時間帯でのイベントの実施
- 社会人の読書活動を支援する取組の実施
- 読書通帳の検討
- 関係部署と連携した取組の実施
- 成人向けの出張イベントの実施

(高齢者)

- 大活字本の収集・更新
- 高齢者向けイベントの充実
- インターネットやスマートフォンの活用を支援する取組

(2) 多様な学習機会の提供

単に「本を借りる場所」ではなく、誰もが学び続けられる「生涯学習の拠点」として、関係部署や専門機関とも連携し、多様な内容・形式のテーマ図書展示や講座・講演会等の企画事業を実施します。そして、市民が自身の知識や教養を深め、それを活かしてまちを担う人材となることや、新たな挑戦をすることを支援します。

施策の内容

- ①学習機会の提供
- ②企画事業の開催
- ③学習に役立つ図書等の紹介

具体的な取組

- 市民の知的好奇心や学習意欲を刺激するテーマ図書展示の充実
- 講座・講演会・朗読会等の企画事業の開催
- 関係部署や専門機関等と連携した幅広い分野に関する講座の開催

●京都文教大学との連携

(3) 幅広いニーズに応える資料収集と蔵書の充実

利用者の年代や関心に合わせ、娯楽から学習、調査研究まで幅広く対応できるように資料を収集していますが、収蔵スペースに限りがあるため蔵書冊数を大きく増やすことが困難となっています。

今後、限られた収蔵スペースの中で単に資料を収集・保管するのではなく、利用者の多様なニーズに対応できる「生きた蔵書」となるよう適切な蔵書管理を行います。

また、資料の収集にあっては、多様性と包摂性に配慮するよう努めます。さらに、電子書籍の充実と合わせ、郷土資料・行政資料等のデジタル化等、蔵書のICT化も推進します。

施策の内容

- ①資料の適切な収集と蔵書の充実
- ②適切な蔵書管理
- ③幅広い図書館資料の提供
- ④デジタル資料の収集

具体的な取組

- 資料の適切な収集・更新
- 開架資料と閉架資料のバランスを踏まえた蔵書冊数の見直し
- リサイクル市の開催
- 他図書館との相互貸借と相互利用の推進
- 幅広いジャンルの電子書籍の収集
- 日本文学の多言語での収集

(4) 学校等との連携

小学校等の図書館見学の受入や中学校の職場体験学習の受入、学校への団体貸出等の他、学校図書館と市立図書館の連絡会により意見交換を引き続き行います。

また、図書館への理解を深めてもらい子どもの読書活動を推進するため、学校図書館だけではなく学校や関係部署と連携した取組を進めます。

施策の内容

- ①図書館利用教育の推進
- ②学校図書館への支援
- ③学校との連携

具体的な取組

- 学校等からの図書館見学・職場体験の受入
- 学校等への団体貸出や、府立図書館の学校支援セットの貸出
- 調べ学習支援図書リストの作成
- 学校や関係部署と連携した取組の実施
- 電子図書館学校連携事業の実施
- 市立図書館と学校図書館連絡会の開催
- 宇治市子ども読書活動推進委員会との連携
- Uji ふれあい教室へ通う不登校児童生徒の読書活動への支援
- 宇治支援学校での出張おはなし会の実施

2 情報の拠点として地域を支える図書館

(1) 情報サービスの充実

利用者が暮らし・仕事・学びで必要とする情報に的確にアクセスできるように、図書館職員による調べもの支援や、利用者自身で必要な情報を得るための参考図書の充実を図ります。併せて職員のレファレンス技術の向上に努めます。また、利用者が気軽に質問や相談ができるようフロアワークの充実を図ります。さらには、関係部署と連携し、市民に役立つ情報やサービスの存在を知ることができるように発信を強化します。

施策の内容

- ①レファレンスサービスの充実
- ②フロアワークの充実
- ③関係部署と連携した情報提供

具体的な取組

- レファレンス事例の記録と共有
- レファレンスブック（※８）の充実
- パスファインダー（※９）の作成・公開
- レファレンス研修への参加
- フロアワークの充実
- 関係部署と連携した情報提供

(2) ICT化の推進

図書館のICT化は図書館の機能を強化し、利用者の利便性とサービスの向上に相互効果をもたらすため、電子書籍やデジタル化資料の充実と併せ、利用者が情報を活用できるように環境整備を進めます。一方でICT機器を活用できる人とできない人の間に情報格差が生じているため、デジタルサービスの利用を支援する取組により、情報格差の解消に努めます。

また、デジタル情報やデータを鵜呑みにするのではなく、その真偽を判断し、活用できるように、市民の情報リテラシーの向上につながる取組も進めます。

施策の内容

- ① デジタルサービスの利用支援
- ② 電子図書館サービス等の充実
- ③ ICT環境の整備
- ④ 市民の情報リテラシーの向上支援

具体的な取組

- 電子図書館サービスの充実

- 日本人作家の多言語版電子書籍の購入
- デジタル化資料閲覧環境の整備・充実
- 館内 Wi-Fi 環境の整備の検討
- インターネットやスマートフォンの活用を支援する取組
- 講演会等のオンライン配信の検討
- 図書システムの機能向上の検討

(3) 課題解決支援サービスの充実

資料収集やレファレンスサービスの充実を図り、地域や市民の課題解決支援に努めます。市民の関心が高い課題や市民生活に影響を及ぼす地域課題を把握し、テーマ別の特集棚の設置やブックリストの作成等に努めるほか、関係部署や関係機関と連携・協力し、地域や市民の課題解決に役立つ情報発信や企画事業に取り組めます。

また、庁内各課の行政課題の解決や職員のスキルアップを目的とした行政支援サービスの充実を図ります。

施策の内容

- ①地域や市民の課題解決支援
- ②行政支援サービス

具体的な取組

- 関係部署や関係機関と連携した情報発信や企画事業の取組
- 魅力ある特集棚の開設
- テーマ別のブックリストの作成と周知

3 地域文化を未来につなぐ図書館

(1) 地域資料の充実

郷土資料・行政資料の収集は、地域の歴史・文化、行政のあゆみ等を将来に伝え、市民の宇治のまちへの誇りと愛着を醸成する役割を担っていることから、特に、お茶や源氏物語に関する資料は積極的に収集するとともに、宇治コーナーや源氏物語コーナーを設け、市民への周知に努めます。

また、収集した資料のわかりやすい配架に努めるとともに、関係部署と連携して展示や講座等で活用し、市民が地域の歴史・文化に触れる機会を増やします。さらに、将来世代に貴重な資料や情報を受け継いでいくため、資料のデジタルアーカイブ化等を検討します。

施策の内容

- ①地域資料の収集・整備
- ②地域資料の保存

具体的な取組

- 地域資料・行政資料の適切な収集・管理及び長期保存
- お茶や源氏物語に関する資料の積極的な収集
- 関係部署と連携した資料の効果的な活用や取組
- 地域資料のデジタルアーカイブ化の検討

(2) 宇治に関する学びの支援

市民の宇治に関する学びを支援するため、地域の歴史・文化に関する資料を配架している「宇治コーナー」の内容を充実させ、ブックリストの作成、講座等の企画事業の実施、情報発信を行います。

施策の内容

- ①宇治コーナーの充実
- ②宇治を知るための学習機会の提供、情報発信

具体的な取組

- 宇治を知るための資料を揃えた宇治コーナーの充実
- 関係部署等と連携した宇治を知るための企画事業の実施
- 宇治コーナーのブックリストの作成
- 宇治に関する学習や研究の支援

4 すべての人にやさしい図書館

(1) 図書館の利便性向上

図書館が遠い、開館時間内に来館できない、乳幼児を連れての利用が難しい、施設に入所している等、様々な理由で図書館を利用したくても利用できない人のために、電子図書館サービスの充実や、各種手続きのオンライン化、館外での貸出等、非来館型サービスを推進します。

施策の内容

- ①各種手続きのオンライン化等によるサービスの充実
- ②アウトリーチサービスの拡充

具体的な取組

- 各種手続きのオンライン化の推進
- 電子図書館サービスの充実
- 他図書館との相互利用の拡充の検討
- 予約図書配本所等のサービス拠点の増設の検討
- 館外での各種手続き、貸出等のサービスの充実
- インターネットサービス利用講座の開催
- 病院や施設等への団体貸出の検討
- 図書郵送サービス（有料）導入の検討
- 公共施設の返却ポスト増設の検討
- 出張貸出の拡充
- オンラインによるレファレンス対応の検討

(2) 要配慮者へのサービス充実

読書活動に配慮を要する人のために、大活字本・点字資料・LLブック等の収集、デージー図書の郵送貸出、リーディングボランティアの協力による「声の図書館だより」の発行等のサービスを引き続き実施します。また、読書バリアフリーの観点から、必要とする人がよりスムーズに図書館を利用できるよう、サービスの充実を図るとともに、情報発信に努めます。

施策の内容

- ①様々な利用者に配慮した資料の充実
- ②様々な利用者に配慮したサービスの充実と周知

具体的な取組

- 障害の内容に応じた資料の収集
(大活字本・点字資料・LLブック等)
- 読み上げ機能付き電子書籍の収集
- 様々な利用者に配慮したツールの充実

(リーディンググループ等)

- りんごの棚（※10）の設置
- 視覚障害者に対する声の図書館だよりの送付
- 視覚障害者に対する対面朗読の実施
- 視覚障害者に対する CD ブック・点字資料の点字リストの設置
- 視覚障害者に対する点字資料・デージー図書等の郵送貸出の実施
- 要配慮者を対象に図書郵送サービスの実施
- 関係部署と連携した企画事業の実施
- 関係機関・施設への出張おはなし会の実施
- 視覚障害者専用電子図書館サービスの実施

(3) 多文化対応サービスの充実

宇治市に居住する外国籍の人は年々増加傾向にあり、日本語を母語としない人が情報や文化資源へアクセスできる環境を整備するため、電子図書館サービスにおいて、多言語による電子書籍の充実や日本人作家の多言語資料の収集に努めます。また、市民の多文化への理解を深めるため、多言語によるおはなし会や関連機関と連携した交流企画事業等に取り組みます。

さらに、日本語を母語としない人が安心して図書館を利用できるよう、多言語及び「やさしい日本語」による館内表示や利用案内等、環境整備や情報発信に努めます。

施策の内容

- ① 多言語資料の収集
- ② 多文化への理解を深める企画事業の実施
- ③ 多言語及び「やさしい日本語」による環境整備

具体的な取組

- 日本人作家の多言語資料の収集
- 多言語による電子書籍の充実
- 英字新聞の収集
- 多言語によるおはなし会の実施
- 関係機関と連携した多様な文化に触れる企画事業の実施
- 多言語及び「やさしい日本語」による館内表示・利用案内等の充実

(4) 図書館利用の促進

より多くの市民に図書館を利用してもらうために、市広報誌やホームページ、SNS を活用し、図書館の魅力が伝わるように積極的な情報発信に努めます。また、館内表示や資料の配架やレイアウト等について工夫し、利用者にとってわかりやすい空間づくりや安心して親子や仲間同士で読書を楽しめ、居心地が良

くくつろげる環境づくりに努めます。

施策の内容

- ①積極的な情報発信
- ②利用しやすい図書館づくり
- ③安全・安心で快適な図書館づくり

具体的な取組

- あらゆる媒体を利用した図書館サービスの周知
- SNS を活用した積極的な情報発信
- 利用者にわかりやすい館内表示や資料配架
- フロアワークの充実など、気軽に声かけができる環境づくり
- 見やすく取り出しやすい書架づくり
- 親子で読書を楽しめる環境づくり
- 社会人が参加しやすいイベントの実施

(5) 地域施設・団体との連携

引き続き、関係機関・団体と連携した企画事業を推進します。また、地域・家庭文庫等の市民主体の取組に対する支援や、図書館サークル等のボランティア活動に対して活動場所や活動機会を提供し、協働を推進します。

施策の内容

- ①関係機関・団体との連携
- ②市民活動やボランティア活動の支援

具体的な取組

- 関係機関と連携した企画事業の実施
- 団体貸出の拡充、出張おはなし会の拡充
- 地域施設、団体、大学との連携の推進
- おはなし会等の活動機会の提供
- 市民主体の取組の支援
- ボランティア育成の研修会の実施
- ボランティアとの協働の推進

5 人とともに成長する図書館

(1) 事業計画

事業計画の達成状況を定期的に点検・評価し、改善を図ることにより、多様化・高度化する利用者ニーズに応える質の高い図書館サービスを提供します。

施策の内容

- ①事業計画の策定
- ②PDCA サイクルに基づく、点検・評価の実施

具体的な取組

- 施策の達成状況についての点検評価の実施
- 利用者の満足度調査を踏まえた今後の図書館サービスのあり方の検討

(2) 図書館職員の資質向上

質の高い図書館サービスを提供していくために、長期的な視点に立ち、図書館運営を担う専門性と行政職員としての視野の広さを備えた人材の育成に努めます。また、専門化・多様化する利用者ニーズに応えるため、京都府等が実施する外部研修への参加や図書館内での研修の機会を充実させ、知識の共有を図るとともに、関係部署・関係機関等との交流を通じて行政職員としての資質向上を図ります。

施策の内容

- ①研修の充実
- ②人材育成

具体的な取組

- 研修計画に基づく研修の実施
- オンライン等を活用した外部研修への参加
- 内部研修の充実
- 専門性の高い職員の育成
- 3図書館合同研修によるサービスの平準化

8 取組の指標

	R6 年度（実績値）	R11 年度（指標値）
蔵書更新率	4.4%	5.5%
庁内関係部署・地域・大学等と 連携した事業の実施回数	160 回	176 回
インターネット予約件数	81,098 件	85,000 件
電子図書館登録者数 (注：小中学生専用カードを除く)	6,539 人	12,000 人
宇治に関するイベントや講座 の実施回数	6 回	10 回
館内の利用しやすさに 関する満足度 (利用者アンケートより)	58.3%	60.0%
多言語資料の点数	10,778 点	10,900 点
S N S での発信回数	656 回	700 回
研修参加人数	52 人	62 人

資料Ⅰ 用語解説

※1 レファレンスサービス

利用者の調べものや探しものの相談等に対して、必要な情報・資料を探す手助けや提供すること。

※2 デジタルアーカイブ

様々なデジタル情報資源を収集・保存・提供する仕組みのこと。

※3 行政支援サービス

市の業務や職員のスキルアップ等に役立つ図書等を各課へ配送・貸出するサービスのこと。

※4 デイジー図書

視覚障害者や通常の印刷物を読むことが困難な人のためのデジタル録音図書のこと。

※5 LL ブック

スウェーデン語で「やさしく読める」を意味する Lattlast の略語。様々な理由で文字を読む・理解することが困難な方でも読みやすい本のこと。

※6 アウトリーチサービス

これまでの図書館サービスが及ばなかった人々や地域に対して、サービスを広げていく活動。

※7 どくしょつうちょう

読んだ本を銀行の通帳のように1冊ずつ記録していく取組のこと。30冊の記録が貯まると図書館特製のスタンプを押している。

※8 レファレンスブック

辞書や百科事典、年鑑等の調べものや情報探索のときに使う参考図書のこと。

※9 パスファインダー

特定のトピックや主題に関する資料や情報を収集する際に、図書館が提供できる関連資料の探索法を一覧できるリーフレットのこと。

※10 りんごの棚

スウェーデンの図書館発祥の、大活字本やLLブックといった読みやすさやバリアフリーに配慮した本を集めたコーナーのこと。

資料 2

図書館法（昭和 25 年 4 月 30 日法律第 118 号）

目次

第一章 総則（第一条—第九条）

第二章 公立図書館（第十条—第二十三条）

第三章 私立図書館（第二十四条—第二十九条）

附則

第一章 総則

（この法律の目的）

第一条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

（定義）

第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

（図書館奉仕）

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。

以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。

二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

三 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

九 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

一 大学を卒業した者（専門職大学の前期課程を修了した者を含む。次号において同じ。）

で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの

二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

イ 司書補の職

ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの

ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

一 司書の資格を有する者

二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

(司書及び司書補の講習)

第六条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

(司書及び司書補の研修)

第七条 文部科学大臣及び都道府県教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

(設置及び運営上望ましい基準)

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

(運営の状況に関する評価等)

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

(協力の依頼)

第八条 都道府県教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところによりその長が図書館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（第十三条第一項において「特定地方公共団体」という。）である市町村にあつては、その長又は教育委員会）に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）

第九条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第二章 公立図書館

（設置）

第十条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第十一条及び第十二条 削除

（職員）

第十三条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定地方公共団体の長がその設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた図書館（第十五条において「特定図書館」という。）にあつては、当該特定地方公共団体の長）が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

（図書館協議会）

第十四条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第十五条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定図書館に置く図書館協議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長）が任命する。

第十六条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

（入館料等）

第十七条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第十八条及び第十九条 削除

（図書館の補助）

第二十条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第二十一条及び第二十二条 削除

第二十三条 国は、第二十条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

- 一 図書館がこの法律の規定に違反したとき。
- 二 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。
- 三 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第三章 私立図書館

第二十四条 削除

(都道府県の教育委員会との関係)

第二十五条 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

2 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

(国及び地方公共団体との関係)

第二十六条 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

第二十七条 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

(入館料等)

第二十八条 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

(図書館同種施設)

第二十九条 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

2 第二十五条第二項の規定は、前項の施設について準用する。

附 則 (略)

資料3 宇治市図書館利用者アンケート結果(抜粋)

1. 利用者アンケートの実施について

(1)調査目的

第3次宇治市図書館事業計画を策定するにあたり、利用者のニーズを的確に把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として、利用者アンケートを実施した。

(2)調査概要

- ① 調査対象 中央・東宇治・西宇治図書館の概ね18歳以上の来館者
- ② 調査方法 館内配布による無記名アンケート方式
- ③ 調査期間 令和7年6月24日(火)から、令和7年7月15日(火)回収分まで有効

(3) 回答者数

アンケート回答者数	1,125
-----------	-------

	回答者数	割合
中央図書館	639	56.8%
東宇治図書館	237	21.1%
西宇治図書館	249	22.1%
合計	1,125	

※集計分析にあたって

図表内の割合を示す数値は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。

そのため、合計値は必ずしも100になりません。

また、一部複数回答の設問があるため、合計値は必ずしもアンケート回答数と同じになりません。

(4) 回答者属性

年齢別割合

年齢	回答者数	割合
20歳未満	26	2.3%
20歳代	13	1.2%
30歳代	91	8.1%
40歳代	124	11.0%
50歳代	163	14.5%
60歳代	246	21.9%
70歳代	349	31.0%
80歳以上	110	9.8%
無回答	3	0.3%
計	1,125	

職業別割合

職業	回答者数	割合
会社員・公務員	217	19.3%
自営業	48	4.3%
パート・アルバイト	206	18.3%
学生	30	2.7%
無職	561	49.9%
その他	53	4.7%
無回答	10	0.9%
計	1,125	

住所地別回答者数

地域	六地藏	木幡	平尾台	五ヶ庄	菟道	羽戸山	志津川
回答者数	11	127	14	95	63	22	2
地域	明星町	宇治	琵琶台	折居台	天神台	白川	神明
回答者数	19	185	31	40	12	9	36
地域	羽拍子町	南陵町	槇島町	小倉町	伊勢田町	安田町	開町
回答者数	7	24	31	86	89	1	13
地域	広野町	寺山台	大久保町	炭山・笠取・二尾・池尾		京都市	他の市町村
回答者数	148	7	32	1		12	2
地域	無回答	合計					
回答者数	6	1,125					

2. 調査結果(抜粋)

・ 図書館の利用頻度について

利用頻度	回答者数	割合
ほぼ毎日	19	1.7%
週に1回程度	369	32.8%
月に1回程度	648	57.6%
年に数回	72	6.4%
年に1回以下	4	0.4%
今日が初めての来館	3	0.3%
無回答	10	0.9%
計	1,125	

・ 図書館に来館する主な時間帯について

時間帯	回答者数	割合
9時～10時	199	17.7%
10時～12時	399	35.5%
12時～17時	457	40.6%
17時～18時	23	2.0%
無回答	47	4.2%
計	1,125	

・ 図書館を利用する主な理由について（複数回答）

利用する主な理由	回答者数	割合
図書等の貸出や返却のため	1,053	61.1%
予約・リクエストの申込みや受取りをするため	338	19.6%
本や雑誌、新聞等を館内で閲覧するため	194	11.3%
調べものや、学習・研究のため	126	7.3%
その他	9	0.5%
無回答	4	0.2%
合計	1,724	

・ 宇治市図書館が実施しているサービスについて（複数回答）

選択肢	知っている	利用している	満足している
CD・DVD の貸出ができる。	792	82	43
乳幼児・児童を対象としたおはなし会やイベントを行っている。	640	37	32
図書の除菌ができる機械を設置している。	605	144	76
インターネットで本などの予約ができる。	602	251	196
大活字本の貸出ができる。	578	35	19
予約した本を最寄の配本所で受取り、返却ができる予約図書配本サービスを行っている。	477	91	54
図書館で借りた本を市役所や公共施設等の返却ポストに返却できる。	477	107	57
イベントや時事などのテーマに沿った本の展示を行っている。	464	60	42
図書館の本の複写ができる。	458	56	27
所蔵のない本などを府立図書館や他市町村図書館から取り寄せることができる。	445	163	88
職員が本や情報を探すお手伝いをする、いわゆるレファレンスサービスを行っている。	411	61	42
館内でインターネットの利用ができる。	393	53	31
電子図書館サービスを行っている。	370	76	17
成人を対象とした講演会や各種講座を行っている。	368	22	19
宇治市民が京都市の図書館を利用できる相互利用を行っている。	360	62	44
外国語絵本の貸出を行っている。	311	19	14
館内図書検索機(OPAC)から本などの予約ができる。	310	68	26
返却期限のお知らせメールを受け取ることができる。	265	179	97
目の不自由な方に対面朗読や録音図書の貸出を行っている。	260	1	9
SNS(Facebook・LINE・Instagram)を利用した情報発信を行っている。	204	35	16
スマートフォンに図書貸出券を表示することができる。	196	56	40
市図書館の貸出券提示により、京都文教大学図書館への入館と本などの閲覧ができる。	147	5	6
作者やジャンルなどキーワードを登録すると関連する新着資料のお知らせメールが届く。	127	6	8

「インターネットで本の予約ができる。」は、全ての項目で上位を占めている。満足度では「インターネットで本などの予約ができる。」が最も多く、次いで「返却期限のお知らせメールを受け取ることができる。」が多い。

・ 追加・充実してほしいサービスについて（3つまで回答可）

サービス	回答数	割合
本などの図書館資料の充実	433	28.4%
貸出期間を長くする	247	16.2%
開館時間を延長する	151	9.9%
検索システム	100	6.6%
貸出点数を増やす	92	6.0%
予約点数を増やす	78	5.1%
開館日数を増やす	67	4.4%
高齢者に対するサービス	61	4.0%
電子図書館サービス	51	3.3%
講座・相談会等	36	2.4%
乳幼児とその保護者へのサービス	31	2.0%
図書館職員の専門性	25	1.6%
障害のある方へのサービス	24	1.6%
児童・青少年に対するサービス	23	1.5%
デジタルサービス(商用データベースの利用)	15	1.0%
図書館ボランティアの活動支援	11	0.7%
外国人に対するサービス	9	0.6%
就労支援、行政支援等課題解決に向けたサービス	6	0.4%
図書の有料配達サービス	4	0.3%
その他	59	3.9%
合計	1,523	

「本などの図書館資料の充実」「貸出期間を長くする」「開館時間を延長する」「検索システム」「貸出点数」など上位 8 位まで前回の調査と変わらない。

・ 追加・充実してほしい環境・設備について（3つまで回答可）

環境・設備	回答者数	割合
無料 Wi-Fi が使える環境	248	22.9%
CD・DVD・カセットなどを視聴できる環境	138	12.8%
照明・トイレ・バリアフリーなどの館内の設備	128	11.8%
インターネットが利用できる環境	127	11.7%
わかりやすい館内表示	98	9.1%
地域の情報を交換できるような場所	93	8.6%
子どもに読み聞かせができる場所	86	8.0%
持ち込みのパソコン等が使える環境	75	6.9%
団体やグループが利用できる場所	33	3.1%
その他	55	5.1%
合計	1,081	

「無料 Wi-fi が使える場所」を望む回答が 22.9%と最も多く、「CD・DVD・カセットなどを視聴できる環境」が 12.8%と、前回同様上位であるが、次いで「照明・トイレ・バリアフリーなどの館内の設備」が 11.8%と前回 6 位であったが今回上位となった。

・ 今後、図書館で取り組んでほしい行事・イベントについて（3つまで回答可）

行事・イベント	回答者数	割合
インターネット・スマートフォンなどの使い方講座	162	15.5%
読書会	161	15.4%
法律・司法手続きの相談会・講座	137	13.1%
医療・福祉の相談会・講座	114	10.9%
ブックトーク	111	10.6%
子育て・教育の相談会・講座	93	8.9%
ボランティアのための研修会・講座	89	8.5%
電子図書館の使い方講座	88	8.4%
ビブリオバトル	39	3.7%
ビジネス支援の相談会・講座	27	2.6%
その他	24	2.3%
合計	1,045	

前回の調査では「読書会」を望む回答が最も多かったが、今回は前回2位の「インターネット・スマートフォンなどの使い方講座」の回答が最も多く、次いで「読書会」となっている。また、「法律・司法手続きの相談会・講座」や「医療・福祉の相談会・講座」を望む回答も多い。

- ・ これまでのレファレンスサービス利用の可否について

	回答者数	割合
はい	323	28.7%
いいえ	694	61.7%
覚えていない	30	2.7%
無回答	78	6.9%
計	1,125	

レファレンスは一定認知されているが、利用に結びついていない。

- ・ レファレンスサービスを利用した目的について（複数回答）

レファレンスサービス利用の目的	回答者数	割合
探している本・資料の所在確認	282	77.0%
知りたいテーマに関する情報探し	49	13.4%
地域の歴史・郷土資料の調査	15	4.1%
学校や仕事の課題・レポートの参考資料探し	9	2.5%
その他	4	1.1%
無回答	7	1.9%
合計	366	

「探している本・資料の所在確認」が最も多く 77.0%を占め、次いで「知りたいテーマに関する情報探し」の割合が 13.4%と高くなっている。

- ・ レファレンスサービスを利用していない理由について（複数回答）

レファレンスサービスを利用していない理由	回答者数	割合
サービスがあることを知らなかった	295	39.2%
自分で調べられるから	237	31.5%
利用する必要がある	110	14.6%
利用の仕方が分からなかった	56	7.4%
職員に聞くのは抵抗がある・面倒だった	35	4.7%
その他	7	0.9%
無回答	12	1.6%
合計	752	

「サービスがあることを知らなかった」が 39.2%、「利用の仕方が分からなかった」が 7.4%と半数近くを占めている。

・ 電子図書館サービスの利用の可否について

	回答者数	割合
利用している	137	12.2%
利用していない	899	79.9%
無回答	89	7.9%
計	1,125	

令和３年３月に電子図書館が導入され４年以上経過したが「利用していない」回答が８割近くを占めている。

・ 電子図書館を利用して良かった点、不満な点について（それぞれ３つまで回答可）

【良かった点】

良かった点	回答者数	割合
図書館に行かなくても本を借りることができる	97	38.3%
自動返却ができる	58	22.9%
24 時間いつでも利用できる	41	16.2%
紙の本と比べてかさばらない	19	7.5%
字の大きさや画面の明るさを変えることができる	16	6.3%
読みたい本がたくさんある	12	4.7%
操作がわかりやすい	4	1.6%
読み上げ機能がある	3	1.2%
他人が触れていないので安心して読める	3	1.2%
その他	0	0.0%

利便性に関する回答が上位を占めている。

【不満な点】

不満な点	回答者数	割合
蔵書が少ない	64	39.5%
読みたい本がない	44	27.2%
操作がわかりにくい	13	8.0%
貸出期間が短い	13	8.0%
貸出点数が少ない	11	6.8%
予約点数が少ない	5	3.1%
通信費がかかる	4	2.5%
その他	8	4.9%

「蔵書が少ない」「読みたい本がない」で 66.7%を占めている。

・ 電子図書館サービスを利用していない理由について

利用していない理由	回答者数	割合
紙の書籍がよい	584	55.8%
このサービスを知らなかった	170	16.3%
使い方がよくわからない	121	11.6%
読みたい電子書籍が少ない	69	6.6%
利用できる機器を持っていない	52	5.0%
通信費がかかる	26	2.5%
利用資格がない(在住・在勤・在学でない)	5	0.5%
その他	19	1.8%
無回答	44	4.2%

・ 図書館の満足度について

選択肢	満足	やや満足	やや不満	不満
図書館の雰囲気・居心地	682	334	33	6
	64.6%	31.7%	3.1%	0.6%
館内の利用しやすさ	604	383	46	3
	58.3%	37.0%	4.4%	0.3%
館内表示や書架表示	427	465	86	10
	43.2%	47.1%	8.7%	1.0%
イベントのお知らせなどの広報・情報提供	388	486	76	0
	40.8%	51.2%	8.0%	0.0%
職員の対応	694	300	21	2
	68.2%	29.5%	2.1%	0.2%

「図書館の雰囲気・居心地」「職員の対応」は 60%、「館内の利用しやすさ」は 50%を超えているが、「館内表示や書架表示」「イベントのお知らせなどの広報・情報提供」は 40%台と低い。

・ 最もふさわしいと思う本市図書館の将来像について

図書館の将来像	回答者数	割合
ゆとりある空間をもった、居心地の良い図書館	459	40.8%
蔵書やインターネット情報等を活用し、利用者の求める情報を提供する図書館	218	19.4%
紙媒体とデジタル媒体が一体的に使える図書館	114	10.1%
従来型の貸出やレファレンスを中心とした図書館	107	9.5%
人びとの出会いと交流を創出し、まちづくりの核となる図書館	36	3.2%
無回答	191	17.0%

「ゆとりある空間をもった、居心地の良い図書館」がふさわしいとする回答が 40.8%と最も多く、次いで「蔵書やインターネット情報等を活用し、利用者の求める情報を提供する図書館」が 19.4%である。

資料4 宇治市図書館市民ニーズ調査結果(抜粋)

1. ニーズ調査の実施について

(1)調査目的

第3次宇治市図書館事業計画を策定するにあたり、市図書館に対する市民ニーズを的確に把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として、市民ニーズ調査を実施した。

(2)調査概要

- ① 調査地域 宇治市全域
- ② 調査対象 令和7年5月15日現在の住民基本台帳から無作為抽出した満18歳以上の市民2,000人及び制限なし(任意の回答者)
- ③ 調査方法 郵送による無記名アンケート方式及びホームページ上に二次元コード表示
- ④ 回答方法 着払いによる郵送及び京都府・市町村共同電子申請システムを使用したオンライン回答
- ⑤ 調査期間 令和7年6月24日(火)～7月15日(火)

(3)回答者数

アンケート送付数	有効回答数 (内オンライン回答数)	回答率
2,000	580(77)	29.0%

任意回答数	有効回答数(合計)
31	611人

※集計分析にあたって

図表内の割合を示す数値は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。
そのため、合計値は必ずしも100になりません。

(4)回答者属性

年齢別割合

年齢	回答者数	割合
20歳未満	22	3.6%
20歳代	40	6.5%
30歳代	53	8.7%
40歳代	67	11.0%
50歳代	82	13.4%
60歳代	121	19.8%
70歳代	109	17.8%
80歳以上	114	18.7%
無回答	3	0.5%
計	611	

職業別割合

職業	回答者数	割合
会社員・公務員	170	27.8%
自営業	38	6.2%
パート・アルバイト	83	13.6%
学生	34	5.6%
無職	257	42.1%
その他	20	3.3%
無回答	9	1.5%
計	611	

2. 調査結果(抜粋)

・ 図書館の利用頻度について

利用頻度	回答者数	割合
よく利用する	85	13.9%
たまに利用する	98	16.0%
過去に利用したことがある	268	43.9%
利用したことがない	153	25.0%
無回答	7	1.1%
計	611	

ニーズ調査回答者のうち「よく利用する」「たまに利用する」は合わせて29.9%、「過去に利用したことがある」「利用したことがない」と回答した人は68.9%であった。

・ 宇治市図書館を利用しない理由について(複数回答)

選択肢	回答数	割合
図書館が家から遠い	47	17.3%
図書館へ行く必要性を感じない、興味がない	42	15.5%
本や雑誌は購入する	35	12.9%
図書館への交通が不便	34	12.5%
図書館へ行く時間がない	22	8.1%
図書館にどんな本があるかわからない	21	7.7%
高齢や病気のため行きにくい	19	7.0%
その他	15	5.5%
電子書籍やウェブサイトの情報で事足りる	10	3.7%
利用手続きが面倒である	8	3.0%
他の図書館を利用している	7	2.6%
図書館の開館時間が短い	4	1.5%
図書館の開館日数が少ない	4	1.5%
図書館に読みたい本がない	3	1.1%
計	271	

利用しない理由として「図書館が家から遠い」「図書館への交通が不便」「図書館の開館時間が短い」等、地理的、時間的な要因で図書館を利用できないという回答が47.9%、「利用手続きが面倒である」3.0%等利便性向上に対するニーズが過半数を占める。

・ 図書館のサービスの認知度について（複数回答）

選択肢	回答数	割合
本などの貸出ができる。	554	14.4%
新聞の閲覧ができる。	386	10.1%
本などの予約やリクエストができる。	346	9.0%
乳幼児・児童を対象としたおはなし会やイベントを行っている。	224	5.8%
インターネットで本などの予約ができる。	219	5.7%
職員が本や情報を探すお手伝いをする、いわゆるレファレンスサービスを行っている。	203	5.3%
図書館の本の複写ができる。	161	4.2%
図書館で借りた本を市役所や公共施設等の返却ポストに返却できる。	159	4.1%
イベントや時事などのテーマに沿った本の展示を行っている。	156	4.1%
予約した本を最寄の配本所で受取り、返却ができる予約図書配本サービスを行っている。	142	3.7%
館内でインターネットの利用ができる。	139	3.6%
所蔵のない本などを府立図書館や他市町村図書館から取り寄せることができる。	138	3.6%
図書館で不要となった本を市民に提供するリサイクル市を開催している。	137	3.6%
図書の除菌ができる機械を設置している。	117	3.1%
宇治市民が京都市の図書館を利用できる相互利用を行っている。	86	2.2%
電子図書館サービスを行っている。	86	2.2%
館内図書検索機(OPAC)から本などの予約ができる。	78	2.0%
外国語絵本の貸出を行っている。	76	2.0%
成人を対象とした講演会や各種講座を行っている。	74	1.9%
目の不自由な方に対面朗読や録音図書の貸出を行っている。	69	1.8%
返却期限のお知らせメールを受け取ることができる。	55	1.4%
宇治市図書館の貸出券を提示すれば、京都文教大学図書館に入館・閲覧ができる。	50	1.3%
出張おはなし会を実施している。	44	1.1%
読書通帳(どくしょつうちょう)を配布している。	37	1.0%
地域・家庭文庫や学校などを対象とした団体貸出を行っている。	28	0.7%
スマートフォンに図書貸出券を表示することができる。	28	0.7%
SNS(Facebook・LINE・Instagram)を利用した情報発信を行っている。	27	0.7%
作者やジャンルなどキーワードを登録すると関連する新着資料のお知らせメールが届く。	16	0.4%

「本などの貸出ができる」「新聞の閲覧ができる」「本などの予約やリクエストができる」といった基本的なサービスの認知度が高い。次いで「幼児・児童を対象としたおはなし会やイベント」「イベントや時事などのテーマに沿った本の展示を行っている」といった事業の認知度が高くなっている。

- ・ 追加・充実してほしいサービスなどについて(3つまで回答可)

選択肢	回答数	割合
本などの図書館資料の充実	143	14.8%
貸出期間	133	13.7%
高齢者に対するサービス	111	11.5%
開館時間を延長する	97	10.0%
検索システム	67	6.9%
電子図書館サービス	53	5.5%
貸出点数	43	4.4%
開館日数を増やす	43	4.4%
乳幼児とその保護者へのサービス	37	3.8%
障害のある方へのサービス	32	3.3%
児童・青少年に対するサービス	30	3.1%
図書の有料配達サービス	30	3.1%
図書館職員の専門性	24	2.5%
講座・相談会等	23	2.4%
デジタルサービス(商用データベースの利用)	21	2.2%
図書館ボランティアの活動支援	17	1.8%
就労支援、行政支援等課題解決に向けたサービス	16	1.7%
外国人に対するサービス	9	0.9%
予約点数	8	0.8%
その他	32	3.3%
合計	1,082	

「本などの図書館資料の充実」の要望が 14.8%と最も高い。また「貸出期間」「開館時間を延長する」「検索システム」といった利用に関する要望や「高齢者に対するサービス」が高い割合を占めている。

- ・ 追加・充実してほしい環境・設備について(3つまで回答可)

追加・充実してほしい環境・設備	回答数	割合
無料 Wi-Fi が使える環境	242	24.7%
インターネットが利用できる環境	123	12.5%
照明・トイレ・バリアフリーなどの館内の設備	120	12.2%
CD・DVD・カセットなどを視聴できる環境	115	11.7%
持ち込みのパソコン等が使える環境	97	9.9%
わかりやすい館内表示	79	8.1%
地域の情報を交換できるような場所	75	7.6%
子どもに読み聞かせができる場所	53	5.4%
その他	49	5.0%
団体やグループが利用できる場所	28	2.9%
合計	981	

「無料 Wi-Fi が使える場所」の要望が 24.7%と最も高い。続いて「インターネットが利用できる環境」「照明・トイレ・バリアフリーなどの館内の設備」「CD・DVD・カセットなどを視聴できる環境」の要望が高く、IT環境の整備や、施設設備の充実が望まれている。

- ・ 今後、図書館で取り組んでほしい行事・イベントについて(3つまで回答可)

取り組んでほしい行事・イベント	回答数	割合
医療・福祉の相談会・講座	157	19.6%
法律・司法手続の相談会・講座	141	17.6%
インターネット・スマートフォンなどの使い方講座	108	13.4%
ブックトーク	79	9.8%
読書会	77	9.6%
電子図書館の使い方講座	57	7.1%
子育て・教育の相談会・講座	53	6.6%
ビジネス支援の相談会・講座	40	5.0%
ボランティアのための研修会・講座	38	4.7%
ビブリオバトル	35	4.4%
その他	18	2.2%
合計	803	

「医療・福祉の相談会・講座」が 19.6%、次いで「法律・司法手続の相談会・講座」が 17.6%と割合が高く、課題解決を支援するための講座等のニーズが上位を占めている。

- ・ これまでのレファレンスサービス利用の可否について

	回答者数	割合
はい	97	15.9%
いいえ	435	71.2%
覚えていない	45	7.4%
無回答	34	5.6%
計	611	

- ・ レファレンスサービスを利用した目的について（複数回答）

レファレンスサービス利用の目的	回答者数	割合
探している本・資料の所在確認	84	74.3%
知りたいテーマに関する情報探し	13	11.5%
地域の歴史・郷土資料の調査	7	6.2%
学校や仕事の課題・レポートの参考資料探し	6	5.3%
その他	3	2.7%
無回答	0	0.0%
合計	113	

「探している本・資料の所在確認」が最も多く 74.3%を占め、次いで「知りたいテーマに関する情報探し」の割合が 11.5%と高くなっている。

- ・ レファレンスサービスを利用していない理由について（複数回答）

レファレンスサービスを利用していない理由	回答者数	割合
サービスがあることを知らなかった	208	46.3%
自分で調べられるから	93	20.7%
利用する必要がない	58	12.9%
利用の仕方が分からなかった	35	7.8%
職員に聞くのは抵抗がある・面倒だった	22	4.9%
その他	22	4.9%
無回答	11	2.4%
合計	449	

「サービスがあることを知らなかった」46.3%「利用の仕方が分からなかった」が 7.8%と半数以上を占めている。

・ 電子図書館サービスの利用の可否について

	回答者数	割合
利用している	37	6.1%
利用していない	537	87.9%
無回答	37	6.1%
計	611	

「利用していない」回答が 9 割近くを占めている。但し、図書館利用者で「利用していない」は約 8 割である。

・ 電子図書館を利用して良かった点、不満な点について(それぞれ3つまで回答可)

【良かった点】

良かった点	回答者数	割合
図書館に行かなくても本を借りることができる	29	39.2%
24 時間いつでも利用できる	22	29.7%
自動返却ができる	6	8.1%
他人が触れていないので安心して読める	6	8.1%
紙の本と比べてかさばらない	5	6.8%
読みたい本がたくさんある	2	2.7%
操作がわかりやすい	2	2.7%
字の大きさや画面の明るさを変えることができる	2	2.7%
読み上げ機能がある	0	0.0%
その他	0	0.0%

利便性に関する回答が上位を占めている。

【不満な点】

不満な点	回答者数	割合
蔵書が少ない	20	33.9%
読みたい本がない	16	27.1%
貸出点数が少ない	8	13.6%
貸出期間が短い	7	11.9%
操作がわかりにくい	4	6.8%
予約点数が少ない	2	3.4%
通信費がかかる	0	0.0%
その他	2	3.4%

「蔵書が少ない」「読みたい本がない」で約 6 割を占めている。

- ・ 電子図書館サービスを利用していない理由について（3つまで回答可）

利用していない理由	回答者数	割合
このサービスを知らなかった	224	35.4%
紙の書籍がよい	186	29.4%
使い方がよくわからない	104	16.5%
利用できる機器を持っていない	51	8.1%
読みたい電子書籍が少ない	25	4.0%
通信費がかかる	24	3.8%
その他	18	2.8%

「このサービスを知らなかった」の割合 35.4%と最も高く認知度が低い。

宇治市図書館基本的運営方針

1. 読む楽しさ、学ぶ喜びを創出する図書館
市民の知的好奇心を満たし、生涯に渡る学習を支えるため、幅広い分野の資料の収集を行うとともに、多様な学習機会を提供し、一人ひとりが主体的に考え、生きる力を身に付け、その成果を社会に活かす人を育てます。
2. 情報の拠点として地域を支える図書館
市民が日常生活や地域活動の中で必要となる資料やデジタル情報を収集し提供します。また、レファレンスや課題解決支援サービスの実施により、市民に役立つ地域の情報拠点としての役割を果たします。さらに、市民が必要な情報にアクセスし、得た情報を活用する知識・技術を身に付けられるよう支援します。
3. 地域文化を未来につなぐ図書館
「ふるさと宇治」に関する歴史・文化・郷土資料や産業・行政等に関する地域資料を収集・保存する役割を果たし、これらの多様で貴重な地域資料を次世代に引き継ぎます。
4. 誰もが利用しやすい図書館
市民の誰もが気軽に図書館サービスを利用できるよう、利便性の向上を図ります。 あらゆる機会を通じて図書館サービスを発信して利用促進を図るとともに、何度も訪れたくなるような魅力ある図書館運営に努めます。
5. 人とともに成長する図書館
多様で質の高いサービスを提供していくため、専門性の高い人材を育成します。 本計画が確実に実行されるよう自ら定期的に点検・評価を行うとともに、効果的にサービスを提供し、常に改善することにより成長する図書館を目指します。

変更案

変更理由

4. すべての人にやさしい図書館
市民の誰もが気軽に図書館サービスを利用できるよう、利便性の向上を図るとともに、積極的な情報発信に努めます。 読書バリアフリーの観点から、必要とする人がよりスムーズに図書館を利用できるよう、様々なサービスを充実させ、誰もが読書に親しむことのできる環境を目指します。
新型コロナ期以降、非来館型サービスへのニーズの高まりに伴い、サービスの充実に努めていることから、第3次計画では、来館・非来館、障害の有無、年齢を問わず誰もが読書に親しむことのできる環境を目指すこととしたため。

1 計画策定の趣旨

ページ	第2次宇治市図書館事業計画	第3次宇治市図書館事業計画（案）
1	<p>本市図書館は、2018(平成 30)年 3 月に策定した「宇治市図書館事業計画」に基づき、知の拠点、情報の拠点として基本的な図書館サービスの充実や効果的で安定的な図書館運営を行うための取組を進めてきました。</p> <p>この間、図書館をとりまく社会環境は、人口減少や少子高齢化の進行、ICT や AI の急速な進化、ダイバーシティ（※1）の考え方の進展、度重なる大規模災害の発生や新型コロナウイルス感染症の拡大など、大きく変化を続けています。</p> <p>特に、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、全国で多くの図書館が長期にわたり臨時休館を余儀なくされるなど、従来の図書館運営を見直すきっかけとなりました。</p> <p>また、未来に目を向けると「VUCA」（不安定、不確実、複雑、曖昧）が急速に進展する世界において、SDGs（※2）に掲げられた 17 の目標や Society5.0（※3）を実現するためには、一人ひとりが自ら情報を収集し、自立的な判断や意思決定をするための幅広い知識と専門的な知識を身につける必要があります。また、そのためには、デジタル情報やデータを十分に活用する力が求められています。</p> <p>こうした社会の変化や利用者ニーズに応えるため、次の 5 つを見直しのポイントとしました。</p>	<p>本市図書館は、2018（平成30）年3月に「宇治市図書館事業計画」、2022（令和4）年3月に「第2次宇治市図書館事業計画」を策定し、知の拠点、情報の拠点として基本的な図書館サービスの充実や効果的で安定的な図書館運営を行うための様々な取組を進めてきました。</p> <p>しかしこの間、図書館をとりまく社会環境は、人口減少や少子高齢化の進行、ICT やAIの急速な進化、新型コロナウイルス感染症の拡大や度重なる大規模災害の発生など、目まぐるしく変化しています。</p> <p>また、個人のインターネット利用率が80%を超え、特にスマートフォンの普及により、誰もが手軽にインターネットに接続して多種多様な情報を発信し、アクセスできるようになった反面、真偽の不確かな情報の流通や偽・誤情報の拡散による被害が社会問題になっています。多様化・複雑化する社会の中で、必要な情報を取捨選択するためには、デジタル情報やデータを鵜呑みにするのではなく、その真偽を判断し、活用する力が必要であり、一人ひとりが自ら情報を収集し、分析・評価することによって、主体的な判断や意思決定、行動するための情報リテラシーの向上が求められています。</p> <p>こうした社会情勢や国・京都府の動向、本市の状況等を踏まえ、第3次図書館事業計画の策定にあたっては、次の5つを見直しのポイントとしました。</p>

- 本文に、第2次計画策定時（令和3年度）から4年の間におこった社会問題として偽・誤情報の拡散による被害や、それを防ぐためには個人の情報リテラシーの向上が求められていることを追記した上で、第2次計画期間中の取組の成果や課題を踏まえ、新たな5つの見直しのポイントを設定した。

見直しのポイント

ページ	第2次宇治市図書館事業計画	第3次宇治市図書館事業計画（案）
1	1. 非来館型サービスの充実 本市の図書館サービスは、来館と滞在を前提としてきたため、感染症による臨時休館に際し、十分な図書館サービスを提供することが出来ませんでした。その反省を踏まえ、オンラインサービスや非来館型サービスの充実を図ります。	1. 図書館利用の促進 本市の図書館の実質利用者は、市民の1割に 満たないため 、地理的・時間的な制約のある人に対し、オンラインサービスや非来館型サービスの充実を図ります。 また、 娯楽の多様化等により読書離れが進行する中 、図書館や読書に 関心のない人 に対して 図書館の利用につながる 取組を進めます。 【主な変更点】 第2次計画で「5. 図書館利用の促進」を第3次計画では1番目とし、「1. 非来館型サービスの充実」と統合した。 【変更理由】 新型コロナ期に激減した来館者数・貸出冊数がコロナ収束後も戻りきっていないため、「図書館利用の促進」を最優先項目として掲げることとし、第2次計画策定時には新型コロナ対策として取り組んだ非来館型サービス等を、様々な理由により来館できない人への対策としてさらに進めることとしたため。
	2. 図書館の ICT 化 スマートフォン等の情報通信機器の急速な普及により、紙媒体だけではなくデジタル媒体を活用した知識や情報の収集や活用が必要となっています。こうした状況を踏まえ、ICT 環境の整備と情報格差を解消する取組を進めます。	2. 図書館の ICT 化の推進 スマートフォン等の情報通信機器の急速な普及により、紙媒体だけではなくデジタル媒体を活用した知識や情報の収集、活用が必要となっています。こうした状況を踏まえ、 様々な形態の資料を収集・管理できる環境づくりに努めるとともに、市民の情報リテラシーの向上につながる 取組を進めます。 【主な変更点】 紙媒体からデジタル媒体へ急速に移行しつつある資料を収集・管理できる環境整備と、情報を利用する市民の情報リテラシーの向上について記載。 【変更理由】 第2次計画策定時より資料の紙媒体からデジタル媒体への移行が進んでいることから、そのための環境整備の必要性和、今後一層必要とされる市民の情報リテラシーの向上につながる取組を進めることとしたため。

見直しのポイント

ページ	第2次宇治市図書館事業計画	第3次宇治市図書館事業計画（案）
2	3. 安心・安全な図書館づくり ウィズコロナ・ポストコロナ社会を見据え、感染症に配慮した安心して利用できる環境整備と、非常時においても、継続して提供できる図書館サービスの充実を図ります。	3. 課題解決支援サービスの充実 利用者のニーズに合った資料を多方面から提供できるよう、資料（図書・雑誌・新聞等）やデータベース等の充実、企画事業の実施により、利用者が自ら課題を解決する支援を行います。 【主な変更点】 第2次計画で「3. 安心・安全な図書館づくり」を削除し、第3次計画では「3. 課題解決支援サービスの充実」を新たに記載した。 【変更理由】 第2次計画での「3. 安全・安心な図書館づくり」の内容については、計画期間中に一定達成できたことから、第3次計画では、公立図書館の役割として国からも求められている課題解決支援サービスをより充実させることとしたため。
	4. 障害者サービスの充実 障害者差別解消法や読書バリアフリー法に基づき、視覚障害者だけではなく様々な障害のある人へのサービスの充実を図ります。	4. 要配慮者へのサービスの充実 読書バリアフリー法や市の各種計画に基づき、来館・非来館、障害の有無、年齢に関わらず、すべての市民が図書館や読書に親しむことができるサービスの充実を図ります。 【主な変更点】 第2次計画で「4. 障害者サービスの充実」を第3次計画では「4. 要配慮者へのサービスの充実」とした。 【変更理由】 読書バリアフリーの観点から、対象を障害者に限定せず、来館・非来館、障害の有無、年齢を問わず誰もが読書に親しむことのできるサービスを充実させることとしたため。

見直しのポイント

ページ	第2次宇治市図書館事業計画	第3次宇治市図書館事業計画（案）
2	5. 図書館利用の促進	5. 多文化対応サービスの充実
	<p>図書館の実質利用者は市民の約 1 割にとどまっており、地理的、時間的な制約により来館したくても出来ない人や、図書館や読書を好まない人が多くあります。これら図書館を利用していない人に対しての取組を進めます。</p>	<p>宇治市では2024（令和6）年末現在3,831人の外国籍の人が暮らしており、その数は年々増加傾向にあります。多言語資料や外国に関する資料を収集し、提供するとともに、企画事業の実施により、多様な文化・言語・価値観などを学ぶ機会を作ります。また、日本語を母語としないため、図書館のサービスや資料を利用できない、もしくは利用しにくい人に対して取組を進めます。</p> <p>【主な変更点】</p> <p>第2次計画で「5. 図書館利用の促進」を第3次計画では1番目として「1. 非来館型サービスの充実」と統合し、「5. 多文化対応サービスの充実」を新たに記載した。</p> <p>【変更理由】</p> <p>第2次計画においても「多文化対応サービスの充実」は基本施策に掲げていたが、近年の外国籍住民の増加を踏まえ、市民の多文化への理解促進や、外国籍住民の図書館利用を促すため、さらにサービスを充実させることとしたため。</p>

4 宇治市図書館を取り巻く状況

ページ	第2次宇治市図書館事業計画	第3次宇治市図書館事業計画（案）
3	1. 立地環境 本市は中央図書館・東宇治図書館・西宇治図書館の3館でサービスを提供していますが、図書館から地理的に遠い地域があり、公共交通アクセスに課題があります。そのため、市内6か所の公共施設等で予約図書の貸出を行う予約図書配本サービスや京都市との相互利用に加えて、2021(令和3)年から予約図書配本所及び市役所に館外返却ポストを設置するなど利用者の利便性向上を図ってきました。 しかし、2021(令和3)年度に実施した市民ニーズ調査において、図書館を利用しない理由として「距離的に遠いこと」、「交通の便が悪いこと」が上位に挙がっており、さらなる利便性の向上が求められています。	1. 立地環境 本市は中央図書館・東宇治図書館・西宇治図書館の3館でサービスを提供していますが、図書館から地理的に遠い地域があり、公共交通アクセスに課題があります。そのため、市内7か所の公共施設等で予約図書の貸出を行う予約図書配本サービスや館外返却ポストの設置、隣接する京都市との相互利用に加えて、2021（令和3）年から京都府下で初となる電子図書館サービスを開始するなど利用者の利便性向上を図ってきました。 しかし、2025（令和7）年度に実施した市民ニーズ調査において、図書館を利用しない理由として「距離的に遠いこと」、「交通の便が悪いこと」が前回調査（令和3年度）に引き続き上位に挙がっており、さらなる利便性の向上が求められています。
	2. 資料 宇治市図書館の蔵書冊数は2020(令和2)年度末現在約327千冊となっています。2019(令和元)年度末の市民一人あたり蔵書冊数は1.74冊であり人口150～200千人規模の市の平均を大きく下回っています。しかし、蔵書収蔵スペースが限られているため蔵書冊数を増加させることができないため、収蔵スペースの確保とともに、蔵書の適切な管理・更新が求められています。 また、ICTを活用した非来館型サービスとして、2021(令和3)年より電子図書館サービスを開始し、来館しなくても読書を楽しめる環境を整備しましたが、まだ多くの電子書籍を提供できる状況ではなく、蔵書の充実が求められています。 一方、オンラインデータベース等のデジタル資料の提供をできる環境にはないため、環境を整備する必要があります。	2. 資料 宇治市図書館の蔵書冊数は2024（令和6）年度末現在約316千冊となっています。また、2024（令和6）年度末の市民一人あたり蔵書冊数は1.77冊であり人口150～200千人規模の市の平均を大きく下回っています。しかし、蔵書収蔵スペースが限界に達していることからこれ以上蔵書冊数を増加させることができないため、収蔵スペースの確保とともに、蔵書の適切な管理・更新が求められています。 一方、2021（令和3）年より開始した電子図書館サービスの登録点数（蔵書点数）は、2024（令和6）年度末現在22,685点であり、収蔵スペースは不要であるものの、紙の書籍に比べて高額であること、定期的な更新が必要であるといった課題があります。 また現在、オンラインデータベース等のデジタル資料の提供を行う環境を充実する必要があります。

4 宇治市図書館を取り巻く状況

ページ	第2次宇治市図書館事業計画	第3次宇治市図書館事業計画（案）
4	3. 利用状況 <p>2020(令和 2)年度の市民一人当たりの貸出点数は 3.27 点となっており近年は減少傾向にあります。また、実質利用者数（2020(令和 2)年度に貸出した登録者数）は、14,204 人となり新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり市民の約 8%に留まっています。年代別の利用傾向は、小学校低学年期の利用を最初のピークとして迎えた後は減少傾向となり、20～30 歳代の利用は最も少なくなっています。このことから図書館を利用していた小学生が中高生となり部活動や習い事等で利用が減少し、その後の読書習慣が回復していないことが推測できます。さらに、子育て期に利用は増加しますが、その終了により利用は減少します。その後は、時間にゆとりができるシニア世代において利用が増加しています。</p> <p>また、利用者からの相談に応じるレファレンスサービスは貸出と並ぶ図書館の重要なサービスですが、周知不足等により十分に利用されていません。さらに、インターネットの普及により、利用者の調査研究内容も専門化・高度化しています。そのため、職員はレファレンスに必要な専門知識や質問内容を的確に把握し、回答するコミュニケーション能力を習得する必要があります。</p>	3. 利用状況 <p>2024（令和6）年度の市民一人当たりの貸出点数は3.44点となっており近年は横ばいとなっています。また、実質利用者数（2024（令和6）年度に貸出した登録者数）は、13,395人となり市民の約7%に留まっています。</p> <p>年代別の利用傾向は、2022（令和4）年に電子図書館学校連携事業を開始したことにより、～10歳代において一定の伸びは見られたものの、小学校低学年期の利用を最初のピークとして迎えた後は減少傾向となり、20～30歳代の利用は最も少なくなっています。このことから図書館を利用していた小学生が中高生となり部活動や習い事、娯楽の多様化等により利用が減少し、その後も図書館の利用に至らないことが推測できます。また、乳幼児を育てている年代は利用が伸びるものの、子どもが大きくなるにつれて利用は減少します。その後は、比較的時間にゆとりができるシニア世代において利用が増加しています。</p>
	<div></div>	4. レファレンス <p>利用者からの相談に応じるレファレンスサービス（※1）は貸出と並ぶ図書館の重要なサービスですが、周知不足等により十分に利用されているとは言い難い状況です。また、インターネットの普及により、利用者の調査研究内容も専門化・多様化しています。そのため、職員はレファレンスに必要な専門知識の習得や情報検索能力、利用者の質問内容を的確に把握して回答するコミュニケーション能力を向上させる必要があります。</p>
4	4. 環境整備 <p>図書館においてインターネットを利用できる端末は各館 1 台であり、ICT を活用できる環境整備が強く求められています。2021(令和 3)年に実施した市民アンケート及び利用者アンケートでは「無料 Wi-Fi が使える場所」を望む意見が最も多く、次いで「CD・DVD・カセットなどを視聴できる環境」や「インターネットが利用できる環境」が多くなっています。</p> <p>また、今後も人口減少や少子高齢化の一層の進行等により、厳しい財政状況が見込まれる中で、多様化する市民ニーズに的確に対応するためには、より効率的・効率的に図書館を運営していく必要があります。</p>	5. 環境整備 <p>2025（令和7）年度に実施した市民ニーズ調査及び利用者アンケートでは追加・充実してほしい環境・設備として、「無料Wi-Fiが使える場所」を望む意見が最も多く、次いで「インターネットが利用できる環境」や「CD・DVD・カセットなどを視聴できる環境」が多くなっています。</p> <p>また、現在様々な分野で紙媒体の資料からデジタル媒体資料への移行が進んでおり、国内外の文献や情報、デジタルアーカイブ（※2）等の画像データといった高度化した大量のデータベースを利用するための環境整備が求められています。</p>

5 第2次宇治市図書館事業計画の取組状況

ページ	第2次宇治市図書館事業計画（第1次取組状況）
5	1 読む楽しさ、学ぶ喜びを創出する図書館 （1）取組状況 ○各年代のニーズに応じた図書館資料の充実に努めました。 ○乳幼児・児童向けには図書館や読書に親しむためのイベントや取組の充実を図り、青少年に向けては様々な本と出会うための取組を行った他、成人・高齢者向けには朗読会や図書館見学などを行い、昼間利用が困難な学生や社会人に向けては夜間イベントを開催しました。 ○知的好奇心や学習意欲を高めるための図書展示や企画事業を実施しました。従来の成人を対象とした歴史講演会や講座などに加え、児童を対象とした科学実験教室や読書感想文の書き方教室など新たな取組を進め、様々な学習の機会の提供に努めました。 ○蔵書スペース上の制約により外国語図書を収集していませんでしたが、電子図書館サービスの導入に伴い外国語の電子書籍を揃えることができました。 ○他図書館との相互貸借等により、可能な限り利用者ニーズに応じるよう努めました。 ○小学校等の図書館見学の受入や中学校の職場体験学習の受入や、府立図書館学校支援セットの貸出や学校への団体貸出を行いました。また、学校図書館と市立図書館の連絡会を開催し意見交換を行いました。
	（2）課題 ○読解力の低下やいわゆる「活字離れ」が見られるため、読書や学習を好まない子どもや成人への働きかけが必要です。幼少期から読書習慣を身につけるための取組や読書意欲の向上を図る取組の充実が課題となっています。 ○図書館を利用しにくい青少年や社会人の読書活動を支援するため、来館する必要のない電子図書館の充実が課題となっています。 ○青少年に向けた学習機会の提供、学校教育を終えた成人の学び直しを支援するための資料や情報の収集・提供を進める必要があります。 ○蔵書収蔵スペースが限られているため蔵書冊数を大きく増やすことはできていません。スペースの確保に努めるとともに、限られた収蔵能力を最大限に活用し適切に蔵書管理を行う必要があります。蔵書構成のバランスを保ち、資料収集と蔵書の更新を行うことが課題となっています。 ○子どもの読書活動の推進のため、学校図書館との連携が重要であり、市立図書館と学校図書館の取組について、相互に理解を深める必要があります。また、学校図書館だけでなく、学校現場との意見交換等を行う機会を設ける必要があります。 ○ボランティアの高齢化や活動人数の減少等により、ボランティア活動の継続が難しくなっていることや、新型コロナウイルスの影響によりイベントの中止や規模の縮小が続く、図書館とボランティアが連携する機会が少なくなっています。

第3次宇治市図書館事業計画(案)
1 読む楽しさ、学ぶ喜びを創出する図書館 （1）取組状況 ○各年代のニーズに応じた図書館資料の充実に努めました。 ○乳幼児・児童向けには図書館や読書に親しむためのイベントや取組の充実を図り、青少年に向けては様々な本と出会うための取組を行った他、成人・高齢者向けには朗読会や講演会等を行い、昼間利用が困難な学生や社会人に向けては夜間イベントを開催しました。 ○市民の知的好奇心を満たし、学習意欲を高めるための図書展示や企画事業を継続して実施しました。 ○収蔵スペース上の制約により外国語図書を収集していませんでしたが、電子図書館サービスの導入に伴い外国語の電子書籍を収集することができました。 ○他図書館との相互貸借等により、可能な限り利用者ニーズに応じるよう努めました。 ○小学校等の図書館見学の受入や中学校の職場体験学習の受入や、府立図書館学校支援セットの貸出や学校への団体貸出を行いました。また、学校図書館と市立図書館の連絡会を開催し意見交換を行いました。 ○子どもの読書活動や学習活動を推進するため、宇治市立学校に在籍する小学校3年生以上の全小中学生に電子図書館を利用できる専用IDカードを配布する電子図書館学校連携事業を開始しました。
（2）課題 ○読解力の低下やいわゆる「活字離れ」が見られるため、読書や学習を好まない子どもや成人への働きかけが必要です。幼少期から読書習慣を身につけるための取組や読書意欲の向上を図る取組の充実が課題となっています。 ○多様化・高度化している学習ニーズに必要な資料の充実や情報の収集・提供を進めるとともに、青少年や社会人に対する読書活動の支援を充実する必要があります。 ○収蔵スペースが限られているため蔵書冊数を大きく増やすことはできていません。限られた収蔵能力を最大限に活用し適切に蔵書管理を行う必要があります。蔵書構成のバランスを保ち、資料収集と蔵書の更新を行うことが課題となっています。 ○子どもの読書活動の推進のため、学校図書館や学校現場との連携が重要であり、市立図書館と学校図書館の取組について、相互に理解を深める必要があります。また、学校図書館だけでなく、学校現場との更なる連携強化の必要があります。

5 第2次宇治市図書館事業計画の取組状況

ページ	第2次宇治市図書館事業計画（第1次取組状況）
6	2 情報の拠点として地域を支える図書館
	（１）取組状況 ○レファレンスサービスでは、所蔵する資料やインターネット情報を活用して信頼できる文献や情報を案内しています。 ○インターネットを活用した情報収集のため、各館に1台ずつの市民用パソコンを設置しています。また、インターネットサービスを実施していますが、ICT 機器に馴染みのない利用者が多いためインターネット予約の利用率は約 60%にとどまっています。さらに、こうした利用者を支援するための講座を実施しました。 ○関係部署との共催事業として子育て、医療、介護、福祉等に関する講座やイベントを実施しました。また、庁内各課の行政課題の解決や市職員のスキルアップを目的とした行政支援サービスを実施しています。 ○課題解決支援サービスの一環として、認知症関連の本棚や子育て支援の本棚を設置しました。
	（２）課題 ○インターネットの普及により、レファレンスの内容は高度化・多様化しており、レファレンス能力の向上が必要です。 ○インターネット環境が十分に整備できていないため、電子書籍などのデジタル化資料を閲覧することが出来ません。 ○誰もがインターネットを活用できるよう支援し、情報活用能力の向上と情報格差の解消に取り組む必要があります。 ○地域の課題解決を支援するため、資料収集や相談業務の充実が課題です。また、庁内各課の行政課題を解決するため、関連図書の展示貸出、共催事業の実施、サービスの周知などに努めるとともに、図書館職員が行政施策や課題についての理解を深める必要があります。
7	3 地域文化を未来につなぐ図書館
	（１）取組状況 ○地域資料や行政資料の収集を行っています。 ○お茶に関連した資料や源氏物語に関する資料を積極的に収集し、中央図書館・東宇治図書館では源氏物語コーナーを設けています。 ○源氏物語講座や宇治の歴史を学ぶ講演会などを実施し、分館には宇治に関する資料を収集した「宇治コーナー」を設置しました。

第3次宇治市図書館事業計画(案)
2 情報の拠点として地域を支える図書館
（１）取組状況 ○市広報誌やホームページ・SNS等による情報発信を行っています。 ○レファレンスサービスでは、所蔵する資料やインターネット情報を活用して信頼できる文献や情報を案内しています。 ○インターネットを活用した情報収集のため、各館に1台ずつの市民用パソコンを設置しています。また、インターネットサービスの 拡充や利用者を支援するための講座を実施した結果 、インターネット予約の利用率は 全予約数の約70%に伸びています。 ○関係部署との共催事業として子育て、福祉等に関するイベントや 図書展示 を実施しました。また、庁内各課の行政課題の解決や市職員のスキルアップを目的とした行政支援サービス（※3）を実施しています。 ○電子図書館学校連携事業や市内在住の視覚障害の方がスマートフォン等の音声自動読み上げ機能を使って電子書籍を楽しめる視覚障害者専用電子図書館サービスを日本で初めて導入し、電子図書館サービスの充実に努めました。
（２）課題 ○情報化社会の進展により多種多様な情報が入手できるようなり、レファレンスの内容は高度化・多様化しており、職員のレファレンス技術の更なる向上が必要です。 ○誰もがインターネットを活用できるよう支援し、情報活用能力の向上と情報格差の解消に取り組む必要があります。 ○地域の課題解決を支援するため、資料収集や相談業務の充実が課題です。また、庁内各課の行政課題の 解決 を支援するため、関連図書の展示貸出、共催事業の実施、サービスの周知などに努めるとともに、図書館職員が行政施策や課題を把握する必要があります。
3 地域文化を未来につなぐ図書館
（１）取組状況 ○地域資料や行政資料の収集・配架を行っています。 ○お茶に 関する 資料や源氏物語に関する資料を積極的に収集し、中央図書館・東宇治図書館では源氏物語コーナーを設けています。 ○宇治の歴史を学ぶ講演会やイベントなどを実施し、宇治に関する資料を収集した「宇治コーナー」を設置 しています。

5 第2次宇治市図書館事業計画の取組状況

ページ	第2次宇治市図書館事業計画（第1次取組状況）
7	<p>（2）課題</p> <p>○歴史・文化のみならず、産業や地域行事など、地域に関する様々な資料を収集し長期的に保存する必要があります。また、地域資料や行政資料の保存基準を設けるなど適切な管理が課題となっています。さらに、これら資料の活用を促進するために、市民の認知度を高めるための広報や、長期的に保存するための環境整備が課題となっています。</p> <p>○宇治に関する資料を幅広く体系的に収集し、多くの市民に活用してもらえるよう分かりやすく配架する必要があります。また、今後は宇治に関する歴史、文化、産業などについて学習する機会を充実する必要があります。</p>
	<p>4 誰もが利用しやすい図書館</p> <p>（1）取組状況</p> <p>○市内3図書館に加え公共施設等の窓口で予約図書の出借ができる予約図書配本サービス、京都市図書館との相互利用を実施しています。</p> <p>○配本所及び市役所への館外返却ポストの設置や、山間部の小学校での出張おはなし会、地域・子ども文庫等への団体貸出を行う他、電子図書館サービスを導入し、図書館利用が困難な利用者へのサービスの充実を図っています。</p> <p>○障害者サービスでは、視覚障害のある人を対象とした大活字本の収集、デジタイズ図書（※4）の郵送貸出、リーディングボランティアの協力による「声の図書館だより」の作成・送付などを実施しました。また、障害のある人全般を対象に図書の郵送貸出サービスやLLブック（※5）の収集などを行っています。</p> <p>○外国語サービスは外国語絵本の貸出と英字新聞の配架、多言語のおはなし会を実施しました。また電子図書館サービスの導入に伴い、外国語の電子書籍を導入しました。</p> <p>○図書館についての広報は、市広報紙やホームページの他、図書館Facebook や図書館LINEにより情報発信の強化を図りました。</p> <p>○適正な図書の管理のため、予約数の上限、延滞者への貸出停止などのルールを設けました。</p> <p>○夜間イベントや屋外スペースを利用したイベントを開催し、普段、図書館を利用していない人の利用促進を図っています。</p> <p>○図書館ボランティアサークルに活動機会や活動場所を提供しました。また、NPO 法人との共催事業を実施しています。</p>

第3次宇治市図書館事業計画(案)
<p>（2）課題</p> <p>○歴史・文化のみならず、産業や地域行事など、地域に関する様々な資料を収集し長期的に保存する必要があります。また、地域資料や行政資料の保存基準を設けるなど適切な管理が課題となっています。さらに、これら資料の活用を促進するために、市民の認知度を高めるための広報や、長期的に保存するための環境整備が課題となっています。</p> <p>○宇治に広く関心を持ってもらうため、宇治の歴史、文化などについて学習する取組の充実を図る必要があります。</p>
<p>4 誰もが利用しやすい図書館</p> <p>（1）取組状況</p> <p>○市内3図書館に加え公共施設等の窓口で予約図書の出借ができる予約図書配本サービス、京都市図書館との相互利用を実施しています。</p> <p>○配本所及び市役所への館外返却ポストの設置や、山間部の小学校での出張おはなし会、地域・家庭文庫等への団体貸出を行う他、電子図書館サービスを導入し、図書館利用が困難な利用者へのサービスの充実を図っています。</p> <p>○障害者サービスでは、視覚障害のある人を対象としたデジタイズ図書（※4）の郵送貸出、リーディングボランティアの協力による「声の図書館だより」の作成、対面朗読等を実施しました。また、障害のある人全般を対象に図書の郵送貸出サービスやLLブック（※5）の収集などを行っています。</p> <p>○外国語サービスは英字新聞の配架と外国語絵本の貸出、多言語のおはなし会を実施しました。資料の収集については、電子図書館のみに留まりました。</p> <p>○図書館についての広報は、市広報紙やホームページの他、SNSを活用して情報発信の強化を図りました。</p> <p>○夜間イベントを開催し、普段、図書館を利用していない人の利用促進を図っています。</p> <p>○ボランティアや地域のサークルに対する支援として、活動機会の提供や共催事業の実施、出張おはなし会、団体貸出等を行っています。</p>

5 第2次宇治市図書館事業計画の取組状況

ページ	第2次宇治市図書館事業計画（第1次取組状況）	
8	(2) 課題	<p>○図書館の貸出冊数は減少傾向にあり、昨年度も新型コロナウイルスの影響により図書館利用を控える人が増えています。図書館の実質利用者は市民の約1割にすぎず、特に15～35歳の利用率が低くなっています。</p> <p>○図書館や配本所を利用しにくい地域があるため、配本所等のサービス拠点の増設が求められています。また、各種の手続きを行うためには来館が必要となっていることが課題となっています。</p> <p>○様々な理由により来館することが困難な人へのアウトリーチサービス(※6)や、各種の手続きを郵送やインターネットで行う等、非来館型サービスの充実が課題となっています。</p> <p>○障害のある人や外国語を母語とする人など、配慮が必要な人を対象としたサービスの充実が課題となっています。</p> <p>○新たな図書館づくりを進めるため、専門的な知識や技術を持つ市民やNPOと連携した事業の充実が課題となっています。</p>
	5 人とともに成長する図書館	
8	(1) 取組状況	<p>○第1次事業計画に基づく取組を実施し、図書館サービスの向上に努めています。</p> <p>○研修機会を増やし、3館合同会議等によりサービスの平準化や情報共有に努めています。</p>
8	(2) 課題	<p>○事業の点検と評価を行い、業務改善に努めていますが、青少年向けのサービスや地域文化に関する取組などは次期計画においても取り組みを進める必要があります。</p> <p>○研修機会は増えていますが、専門性の高い業務についての内部研修は今後の課題となっています。さらに、新たな業務に関するマニュアル作成や従来の業務の見直しなどにより、図書館職員のさらなる資質向上を図る必要があります。</p>

第3次宇治市図書館事業計画(案)	
(2) 課題	<p>○図書館の貸出冊数は減少傾向にあり、新型コロナウイルスの影響により大きく落ち込んだ貸出冊数は5類移行後も戻っていません。</p> <p>○図書館や配本所を利用しにくい地域があるため、配本所等のサービス拠点の増設が求められています。</p> <p>○様々な理由により来館することが困難な人へのアウトリーチサービス(※6)や、各種の手続きをオンラインで行う等、非来館型サービスの充実が課題となっています。</p> <p>○障害のある人や日本語を母語としない人等、配慮が必要な人を対象とした環境の整備やサービスの充実が課題となっています。</p> <p>○地域施設・団体との連携事業の拡充が課題となっています。</p>
5 人とともに成長する図書館	
(1) 取組状況	<p>○第2次事業計画に基づく取組を実施し、図書館サービスの向上に努めています。</p> <p>○質の高い図書館サービス提供のため、外部研修への参加や合同研修、職場会議を実施しています。</p>
(2) 課題	<p>○事業の点検と評価を行い、実施できていない取組についてはその原因を分析し次期計画に反映していく必要があります。</p> <p>○定期的な司書会議の開催や研修機会を増やすとともに、業務マニュアルを整備し、職員の知識・技量の向上を図る必要があります。</p>

6 施策体系図 (P9・10)

資料④-6





7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画	第3次宇治市図書館事業計画(案)
1 読む楽しさ、学ぶ喜びを創出する図書館	1 読む楽しさ、学ぶ喜びを創出する図書館
(1) 全ライフステージの読書活動支援	(1) 全ライフステージの読書活動支援
<p>引き続き、乳幼児から高齢者までの全ライフステージに応じた図書館資料の充実に努めるとともに近年、世界で取り組まれているSDGsや、VUCAの観点を意識した図書の展示やコーナー設置、企画等を積極的に実施し、図書館から発信していきます。</p> <p>また、パソコン・スマートフォンの普及やライフスタイルの変化などによる「活字離れ」に対し、幼少期から読書習慣を身に着けるきっかけとなる取組や読書意欲を高める取組を進め、家庭で読書を楽しむ「家読(うちどく)」の活動を推進します。</p> <p>また、特に図書館を利用する機会の少ない青少年を対象とした取組に努めるとともに今後は紙媒体の図書だけでなく電子書籍やデジタル資料の充実を図り、生涯にわたる読書活動を支援します。</p>	<p>人生のどの時期にも「本との出会い」がある環境づくりを進めるため、引き続き、乳幼児から高齢者まで各年代のニーズに応じた電子書籍を含む図書館資料の充実に努めます。また、図書展示や特集コーナーの設置、館内外での企画事業等を積極的に実施します。</p> <p>また、スマートフォンの普及やそれに伴うSNS利用者の増加、ライフスタイルの変化などにより、特に若年層で顕著になっている「活字離れ」に対し、世代を問わず図書館・読書への関心を誘い、来館を促すきっかけとなるような取組を進めます。同時に、図書館に来館しなくても読書の楽しさが伝わる取組についても検討します。</p>
施策の内容	施策の内容
①乳幼児に対する読書機会の提供・充実	①乳幼児に対する読書機会の提供・充実
②児童に対する読書機会の提供・充実	②児童に対する読書機会の提供・充実
③青少年に対する読書活動の支援・充実	③青少年に対する読書活動の支援・充実
④成人に対する読書活動の支援・充実	④成人に対する読書活動の支援・充実
⑤高齢者に対する読書活動の支援・充実	⑤高齢者に対する読書活動の支援・充実
具体的な取組(全般)	具体的な取組(全般)
● おはなし会や講演会等の企画事業の実施	各世代に向けたテーマ図書展示の実施
● 出張おはなし会やオンライン講座等の非来館型企画事業の実施	おはなし会や講演会等の企画事業の実施
● 各世代に向けたテーマ図書展示の実施	出張おはなし会やオンライン講座等の非来館型企画事業の実施
具体的な取組(乳幼児)	具体的な取組(乳幼児)
● 市が実施するブックスタート事業への協力	
● 乳幼児と保護者を対象とした取組の実施(赤ちゃんタイム、赤ちゃんおはなし会等)	<p>プレママや乳幼児と保護者を対象とした取組の実施(赤ちゃんタイム、赤ちゃんおはなし会等)</p>
● 乳幼児のためのブックリスト等の作成	
	<p>保護者に対する読書活動への理解促進(絵本講座等)</p>
	<p>家族で一緒に読書を楽しむ時間を共有する「家読(うちどく)」の推進</p>
	<p>子育て支援関係部署との連携</p>
	<p>(パパママ教室でのおはなし会や、講演会等での子育て相談会等)</p>
	<p>子育て支援コーナーの充実</p>
	<p>乳幼児の月齢・年齢に応じたブックリストの充実</p>

7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画		第3次宇治市図書館事業計画(案)	
具体的な取組（児童）		具体的な取組（児童）	
●	児童に図書館に親んでもらう取組の実施 （子ども司書体験、ぬいぐるみのおとまり会等）		児童に図書館に親んでもらう取組の実施 （子ども司書体験、ぬいぐるみのおとまり会等）
●	児童のためのブックリスト等の作成		児童のためのブックリスト等の作成
			学習に活用できる電子書籍の充実
●	「どくしょつうちょう」の配布		「どくしょつうちょう」(※7)の更新
具体的な取組（青少年）		具体的な取組（青少年）	
●	ティーンズコーナーの充実		
●	青少年向けのブックリストの作成		青少年向けのブックリストの作成
●	青少年の興味・関心の高いテーマの電子書籍の収集		青少年の興味・関心の高いテーマの電子書籍の収集
具体的な取組（成人）		具体的な取組（成人）	
●	ビジネスパーソンが参加しやすい夜間イベントの実施		社会人が参加しやすい時間帯でのイベントの実施
●	子育て期間の保護者等の読書活動を支援するイベントの実施 （「赤ちゃんタイム」や「赤ちゃんおはなし会」）		
			社会人の読書活動を支援する取組の実施
			読書通帳の検討
			関係部署と連携した取組の実施
			成人向けの出張イベントの実施
具体的な取組（高齢者）		具体的な取組（高齢者）	
●	大活字本の収集		大活字本の収集・更新
●	高齢者向け紙芝居の収集		高齢者向けイベントの充実
●	インターネットやスマートフォンの活用を支援する取組 （電子図書館やスマートフォンの使い方講座）		インターネットやスマートフォンの活用を支援する取組
(2) 多様な学習機会の提供		(2) 多様な学習機会の提供	
<p>利用者の全ライフステージにわたる学習活動を支援するため、図書館資料の充実に努めています。また、読書意欲を促すため、テーマ展示の常時開催や学習機会となる講座・講演会等の企画事業を実施しています。</p> <p>成人・高齢者向け企画事業は利用者のニーズを踏まえながら、多様な企画を提供する必要があります。さらに今後は雇用形態の変化や人工知能をはじめとした最新の技術に対応するため、リカレント教育を支援する資料の充実や環境整備等を実施します。</p>		<p>単に「本を借りる場所」ではなく、誰もが学び続けられる「生涯学習の拠点」として、関係部署や専門機関とも連携し、多様な内容・形式のテーマ図書展示や講座・講演会等の企画事業を実施します。そして、市民が自身の知識や教養を深め、それを活かしてまちを担う人材となることや、新たな挑戦をすることを支援します。</p>	

7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画		第3次宇治市図書館事業計画(案)	
	施策の内容		施策の内容
	①学習機会の提供		①学習機会の提供
	②企画事業の開催		②企画事業の開催
	③学習に役立つ図書等の紹介		③学習に役立つ図書等の紹介
	具体的な取組		具体的な取組
	●	利用者の知的好奇心や学習意欲を刺激するテーマ図書展示の充実	市民の知的好奇心や学習意欲を刺激するテーマ図書展示の充実
	●	講座・講演会・朗読会等の企画事業の開催	講座・講演会・朗読会等の企画事業の開催
	●	庁内の他部局や専門機関等と連携した幅広い分野に関する講座の開催	関係部署や専門機関等と連携した幅広い分野に関する講座の開催
	●	京都文教大学・短期大学図書館との連携を充実	京都文教大学との連携
	(3) 資料収集と蔵書の充実		(3) 幅広いニーズに応える資料収集と蔵書の充実
	<p>利用者のニーズに応じて幅広く図書館資料を収集していますが、蔵書スペースに限りがあるため蔵書冊数を大きく増やすことが困難となっています。</p> <p>今後は、蔵書収蔵スペースの確保に努めるとともに、限られた収蔵スペースの中で適切に蔵書管理を行いながら、新しい資料へ更新を図ることが必要です。</p> <p>資料の更新にあっては、ダイバーシティやバリアフリー・アクセシビリティ等の視点を積極的に取り入れるよう努めます。また、電子書籍の充実を図ります。</p>		<p>利用者の年代や関心に合わせ、娯楽から学習、調査研究まで幅広く対応できるように資料を収集していますが、収蔵スペースに限りがあるため蔵書冊数を大きく増やすことが困難となっています。</p> <p>今後、限られた収蔵スペースの中で単に資料を収集・保管するのではなく、利用者の多様なニーズに対応できる「生きた蔵書」となるよう適切な蔵書管理を行います。</p> <p>また、資料の収集にあっては、多様性と包摂性に配慮するよう努めます。さらに、電子書籍の充実と合わせ、郷土資料・行政資料等のデジタル化等、蔵書のICT化も推進します。</p>
	施策の内容		施策の内容
	①図書館資料の適切な収集と蔵書の充実		①資料の適切な収集と蔵書の充実
	②適切な蔵書管理		②適切な蔵書管理
	③幅広い図書館資料の提供		③幅広い図書館資料の提供
			④デジタル資料の収集
	具体的な取組		具体的な取組
	●	収集方針、選書基準の見直し	資料の適切な収集・更新
	●	図書資料の適切な更新	
	●	蔵書収蔵スペースの確保	
	●	他図書館との相互貸借と相互利用の推進	開架資料と閉架資料のバランスを踏まえた蔵書冊数の見直し
	●	幅広いジャンルの電子書籍の収集	リサイクル市の開催
	●	雑誌スポンサー制度の導入による雑誌の充実	他図書館との相互貸借と相互利用の推進
	●	図書館独自の蔵入確保につながる取り組みの検討	幅広いジャンルの電子書籍の収集
			日本文学の多言語での収集

7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画		第3次宇治市図書館事業計画(案)	
(4) 学校等との連携		(4) 学校等との連携	
<p>小学校等の図書館見学の受入や中学校の職場体験学習の受入、学校への団体貸出等の他、学校図書館と市立図書館の連絡会により意見交換を行っています。</p> <p>今後は、図書館への理解を深めてもらい子どもの読書活動を推進するため、学校図書館だけではなく学校との連携を進めます。</p> <p>また、小学校3年生以上の市立小中学生に電子図書館利用者IDを付与し、学校と連携して電子図書館の活用を進めます。</p>		<p>小学校等の図書館見学の受入や中学校の職場体験学習の受入、学校への団体貸出等の他、学校図書館と市立図書館の連絡会により意見交換を引き続き行います。</p> <p>また、図書館への理解を深めてもらい子どもの読書活動を推進するため、学校図書館だけではなく学校や関係部署と連携した取組を進めます。</p>	
施策の内容		施策の内容	
① 図書館利用教育の推進		① 図書館利用教育の推進	
② 学校図書館への支援		② 学校図書館への支援	
③ 学校との連携		③ 学校との連携	
具体的な取組		具体的な取組	
●	学校等からの図書館見学・職場体験の受入		学校等からの図書館見学・職場体験の受入
●	学校等への団体貸出や、府立図書館の学校支援セットの貸出		学校等への団体貸出や、府立図書館の学校支援セットの貸出
			調べ学習支援図書リストの作成
			学校や関係部署と連携した取組の実施
●	電子図書館学校連携事業の実施		電子図書館学校連携事業の実施
●	市立図書館と学校図書館連絡会の開催		市立図書館と学校図書館連絡会の開催
●	宇治市子ども読書活動推進委員会と連携		宇治市子ども読書活動推進委員会との連携
●	Ujiふれあい教室へ通う不登校児童生徒への読書活動推進		Ujiふれあい教室へ通う不登校児童生徒への読書活動への支援
●	府立支援学校での出張おはなし会の実施		宇治支援学校での出張おはなし会の実施
●	コミュニティ・スクールとの連携		
2 情報の拠点として地域を支える図書館		2 情報の拠点として地域を支える図書館	
(1) 情報サービスの充実		(1) 情報サービスの充実	
<p>高度で複雑な情報社会に適応できる新しいレファレンスツールの導入や、図書館職員のレファレンス能力の向上につながる取組を行います。また、利用者が気軽に質問や相談ができるようフロアワークの充実を図ります。さらには、庁内各課の実施事業やイベント等の情報を提供します。</p>		<p>利用者が暮らし・仕事・学びで必要とする情報に的確にアクセスできるように、図書館職員による調べもの支援や、利用者自身で必要な情報を得るための参考図書の充実を図ります。併せて職員のレファレンス技術の向上に努めます。また、利用者が気軽に質問や相談ができるようフロアワークの充実を図ります。さらには、関係部署と連携し、市民に役立つ情報やサービスの存在を知ることができるように発信を強化します。</p>	
施策の内容		施策の内容	
① レファレンスサービスの充実		① レファレンスサービスの充実	
② フロアワークの充実		② フロアワークの充実	
③ 庁内関係課と連携した情報提供		③ 関係部署と連携した情報提供	

7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画		第3次宇治市図書館事業計画(案)	
	具体的な取組	具体的な取組	
	● 図書館職員のレファレンス技術の向上		
	● レファレンス事例の記録と共有	レファレンス事例の記録と共有	
	● レファレンスブックの充実	レファレンスブック (※8) の充実	
		パスファインダー (※9) の作成・公開	
	● デジタルレファレンスツールの導入		
	● レファレンス研修への参加	レファレンス研修への参加	
		フロアワークの充実	
		関係部署と連携した情報提供	
(2) ICT化の推進		(2) ICT化の推進	
<p>ポストデジタル社会において、図書館のデジタル化は喫緊の課題であり、紙媒体とデジタル媒体を組み合わせ利用できるハイブリッド図書館を目指す必要があります。また、ICT機器を活用できる人とできない人には情報格差が生じているため、情報活用能力の向上を支援し、情報格差の解消に努めます。</p>		<p>図書館のICT化は図書館の機能を強化し、利用者の利便性とサービスの向上に相互効果をもたらすため、電子書籍やデジタル化資料の充実と併せ、利用者が情報を活用できるように環境整備を進めます。一方でICT機器を活用できる人とできない人の間に情報格差が生じているため、デジタルサービスの利用を支援する取組により、情報格差の解消に努めます。</p> <p>また、デジタル情報やデータを鵜呑みにするのではなく、その真偽を判断し、活用できるように、市民の情報リテラシーの向上につながる取組も進めます。</p>	
施策の内容		施策の内容	
①情報活用能力の向上の支援			
		①デジタルサービスの利用支援	
②電子図書館サービス等の充実		②電子図書館サービス等の充実	
③ICT環境の整備		③ICT環境の整備	
		④市民の情報リテラシーの向上支援	
具体的な取組		具体的な取組	
● 電子図書館サービスの充実		電子図書館サービスの充実	
		日本人作家の多言語版電子書籍の購入	
● 国会図書館デジタル資料閲覧サービスの導入		デジタル化資料閲覧環境の整備・充実	
● 館内Wi-Fi環境やマルチメディア閲覧コーナーの整備		館内Wi-Fi環境の整備の検討	
● スマートフォンや電子図書館の使い方講座の実施		インターネットやスマートフォンの活用を支援する取組	
● 講演会等のオンライン配信の検討		講演会等のオンライン配信の検討	
		図書システムの機能向上の検討	

7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画		第3次宇治市図書館事業計画(案)	
(3) 課題解決支援サービスの充実		(3) 課題解決支援サービスの充実	
<p>収集資料やレファレンスサービスを通じて課題解決支援を図ります。市民の関心が高い課題や市民生活に影響を及ぼす地域課題を把握し、テーマ別の特集棚の設置やブックリストの作成などに努めるほか、庁内担当課や関係機関と連携・協力し、地域や市民に役立つ情報発信に取り組みます。また、庁内各課の行政課題の解決や職員のスキルアップを目的とした行政支援サービスの充実を図ります。</p>		<p>資料収集やレファレンスサービスの充実を図り、地域や市民の課題解決支援に努めます。市民の関心が高い課題や市民生活に影響を及ぼす地域課題を把握し、テーマ別の特集棚の設置やブックリストの作成等に努めるほか、関係部署や関係機関と連携・協力し、地域や市民の課題解決に役立つ情報発信や企画事業に取り組みます。また、庁内各課の行政課題の解決や職員のスキルアップを目的とした行政支援サービスの充実を図ります。</p>	
施策の内容		施策の内容	
①市民や地域課題解決への支援		① 地域や市民 の課題解決支援	
②行政支援サービス		②行政支援サービス	
具体的な取組		具体的な取組	
● 庁内担当課や関係機関と連携した情報発信や企画事業の取組		関係部署 や関係機関と連携した情報発信や企画事業の取組	
● 行政課題やスキルアップに必要な資料の収集、リストの作成、貸出			
● テーマ別特集棚の設置		魅力ある特集棚の開設	
● テーマに応じたブックリストの作成と周知		テーマ 別 のブックリストの作成と周知	
3 地域文化を未来につなぐ図書館		3 地域文化を未来につなぐ図書館	
(1) 地域資料の充実		(1) 地域資料の充実	
<p>郷土資料・行政資料については、歴史・文化などに関する地域にとって価値のある資料や出版数の極めて少ない資料をはじめ、国、府、市など行政が発行する資料を収集・提供しています。特に、お茶や源氏物語に関する資料は積極的に収集するとともに、源氏物語コーナーを設け、来館者への周知に努めています。</p> <p>今後は、歴史・文化にとどまらず、本市の産業や地域行事など多分野にわたる資料を収集し保存する必要があります。また、収集した資料の活用を促進するため、わかりやすい配架に努め、市民が歴史・地域文化・伝統に触れる機会を確保するとともに、将来世代に貴重な資料や情報を受け継いでいくため、資料のデジタルアーカイブ化等を検討します。</p>		<p>郷土資料・行政資料の収集は、地域の歴史・文化、行政のあゆみ等を将来に伝え、市民の宇治のまちへの誇りと愛着を醸成する役割を担っていることから、特に、お茶や源氏物語に関する資料は積極的に収集するとともに、宇治コーナーや源氏物語コーナーを設け、市民への周知に努めます。</p> <p>また、収集した資料のわかりやすい配架に努めるとともに、関係部署と連携して展示や講座等で活用し、市民が地域の歴史・文化に触れる機会を増やします。さらに、将来世代に貴重な資料や情報を受け継いでいくため、資料のデジタルアーカイブ化等を検討します。</p>	
施策の内容		施策の内容	
①地域資料の収集・整備		①地域資料の収集・整備	
②地域資料の保存		②地域資料の保存	

7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画	
	具体的な取組
	● 地域資料・行政資料の適切な収集・管理及び長期保存
	● お茶と源氏物語に関する資料の重点的な収集
	● 歴史資料館と連携した資料の効果的な活用や取組
	● ICTを活用したデジタルアーカイブ化の検討
	(2) 宇治に関する学習や研究の支援
	本市の小中学校の特色ある教育活動である「宇治学」に活用するための参考資料の収集と、「宇治学」の特色である探究的な学びを支援するため「宇治学」の学習推進に向けた取組を検討します。また、「宇治学」に活用するための資料を有効に活用してもらうため、わかりやすい配架、ブックリストの作成、情報発信を行います。
	施策の内容
	①宇治コーナーの設置
	②宇治を知るための学習機会の提供、情報発信
	具体的な取組
	● 宇治を知るための資料を揃えた宇治コーナーの設置
	● 宇治を知るための教室などの実施
	● 宇治学に参考となる資料の収集
	● 宇治学に関連するブックリストの作成
	● 宇治に関する学習や研究の支援
4 誰もが利用しやすい図書館	
	(1) 図書館の利便性向上
	図書館が遠い、開館時間内に来館できない、乳幼児を連れての利用が難しい、施設に入所しているなど、様々な理由で図書館を利用したくても利用できない人があります。そのため、アウトリーチサービスや非来館型サービスの充実を図り、各種手続きのオンライン化を進めるとともにサービス拠点の増設を検討するなど利便性の向上を図ります。
	施策の内容
	①各種手続きのオンライン化等によるサービスの拡充
	②アウトリーチサービスの拡充

第3次宇治市図書館事業計画(案)	
	具体的な取組
	地域資料・行政資料の適切な収集・管理及び長期保存
	お茶や源氏物語に関する資料の積極的な収集
	関係部署と連携した資料の効果的な活用や取組
	地域資料のデジタルアーカイブ化の検討
	(2) 宇治に関する学びの支援
	市民の宇治に関する学びを支援するため、地域の歴史・文化に関する資料を配架している「宇治コーナー」の内容を充実させ、ブックリストの作成、講座等の企画事業の実施、情報発信を行います。
	施策の内容
	①宇治コーナーの充実
	②宇治を知るための学習機会の提供、情報発信
	具体的な取組
	宇治を知るための資料を揃えた宇治コーナーの充実
	関係部署等と連携した宇治を知るための企画事業の実施
	宇治コーナーのブックリストの作成
	宇治に関する学習や研究の支援
4 すべての人にやさしい図書館	
	(1) 図書館の利便性向上
	図書館が遠い、開館時間内に来館できない、乳幼児を連れての利用が難しい、施設に入所している等、様々な理由で図書館を利用したくても利用できない人のために、電子図書館サービスの充実や、各種手続きのオンライン化、館外での貸出等、非来館型サービスを推進します。
	施策の内容
	①各種手続きのオンライン化等によるサービスの充実
	②アウトリーチサービスの拡充

7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画		第3次宇治市図書館事業計画(案)	
	具体的な取組		具体的な取組
			各種手続きのオンライン化の推進
	●	電子図書館サービスの充実	電子図書館サービスの充実
	●	京都市図書館との相互利用	他図書館との相互利用の拡充の検討
	●	手続きの簡素化など、利用しやすい環境を整備	
	●	予約図書配本所等のサービス拠点の増設の検討	予約図書配本所等のサービス拠点の増設の検討
	●	適切な開館日数や開館時間の検討	
	●	外部施設での貸出券の発行申込・返却図書の受付等の検討	館外での各種手続き、貸出等のサービスの充実
			インターネットサービス利用講座の開催
	●	病院や施設等への団体貸出を検討	病院や施設等への団体貸出を検討
	●	図書郵送サービス（有料）導入の検討	図書郵送サービス（有料）導入の検討
	●	公共施設の返却ポスト増設の検討	公共施設の返却ポスト増設の検討
	●	出張貸出の検討	出張貸出の拡充
			オンラインによるレファレンス対応の検討
	(2) 要配慮者へのサービス充実		(2) 要配慮者へのサービス充実
	<p>視覚障害者を対象として、大活字本・点字図書の収集貸出、デジタイズ図書の郵送貸出、リーディングボランティアの協力による「声の図書館だより」の毎月発行などのサービスを実施しています。また、障害者全般を対象としたサービスは図書郵送サービスやLLブックの収集などを行っています。障害者差別解消法や障害者読書バリアフリー法に基づき、様々な障害のある人を対象としたサービスの充実を図ります。さらに、図書館職員が法や施策について理解を深める必要があります。</p>		<p>読書活動に配慮を要する人のために、大活字本・点字資料・LLブック等の収集、デジタイズ図書の郵送貸出、リーディングボランティアの協力による「声の図書館だより」の発行等のサービスを引き続き実施します。また、読書バリアフリーの観点から、必要とする人がよりスムーズに図書館を利用できるよう、サービスの充実を図るとともに、情報発信に努めます。</p>
	施策の内容		施策の内容
	①様々な利用者に配慮した資料の充実		①様々な利用者に配慮した資料の充実
	②様々な利用者に配慮したサービスの充実と周知		②様々な利用者に配慮したサービスの充実と周知

7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画		第3次宇治市図書館事業計画(案)	
	具体的な取組		具体的な取組
	●	障害の内容に応じた資料の収集 (大活字本・LLブック・字幕付きDVD等)	障害の内容に応じた資料の収集 (大活字本・ 点字資料 ・LLブック等)
	●	電子書籍の収集	読み上げ機能付き 電子書籍の収集
			様々な利用者に配慮したツールの充実 (リーディングルーペ等)
			りんごの棚(※10)の設置
	●	視覚障害者に対する声の図書館だよりの送付	視覚障害者に対する声の図書館だよりの送付
	●	視覚障害者に対する対面朗読の実施	視覚障害者に対する対面朗読の実施
	●	視覚障害者に対するCDブックの点字リストの設置	視覚障害者に対するCDブック・ 点字資料 の点字リストの設置
	●	視覚障害者に対する点字図書・デジ図書等の郵送貸出の実施	視覚障害者に対する点字 資料 ・デジ図書等の郵送貸出の実施
	●	リーディングボランティアの研修の実施	
	●	障害者を対象に図書郵送サービスの実施	要配慮者 を対象に図書郵送サービスの実施
	●	関係課と連携した企画事業の実施	関係 部署 と連携した企画事業の実施
	●	関係機関・施設への出張おはなし会の実施	関係機関・施設への出張おはなし会の実施
	●	視覚障害者専用電子図書館サービスの実施	視覚障害者専用電子図書館サービスの実施
	●	バリアフリー映画上映会等の企画事業の実施の検討	
	(3) 多文化対応サービスの充実		(3) 多文化対応サービスの充実
	<p>多言語による図書の収集は行っていないが、電子図書館サービスの開始に伴い、多言語による電子書籍の提供を行っています。また、外国語絵本コーナーの設置、英字新聞の配架を行っています。その他、多文化交流事業や外国語のおはなし会を実施しています。今後は、多言語による電子書籍の充実に努めるとともに、外国語を母語とする人へのサービスの充実を検討します。</p>		<p>宇治市に居住する外国籍の人は年々増加傾向にあり、日本語を母語としない人が情報や文化資源へアクセスできる環境を整備するため、電子図書館サービスにおいて、多言語による電子書籍の充実や日本人作家の多言語資料の収集に努めます。また、市民の多文化への理解を深めるため、多言語によるおはなし会や関連機関と連携した交流企画事業等に取り組めます。</p> <p>さらに、日本語を母語としない人が安心して図書館を利用できるよう、多言語及び「やさしい日本語」による館内表示や利用案内等、環境整備や情報発信に努めます。</p>
	施策の内容		施策の内容
	①電子図書館における多言語資料の収集		①多言語資料の収集
	②多文化への理解を深める企画事業の実施		②多文化への理解を深める企画事業の実施
	③多言語及び「やさしい日本語」による情報発信		③多言語及び「やさしい日本語」による 環境整備

7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画		第3次宇治市図書館事業計画(案)	
	具体的な取組	具体的な取組	
		日本人作家の多言語資料の収集	
		多言語による電子書籍の充実	
		英字新聞の収集	
		多言語によるおはなし会の実施	
		関係機関と連携した多様な文化に触れる企画事業の実施	
		多言語及び「やさしい日本語」による館内表示・利用案内等の充実	
(4) 図書館利用の促進		(4) 図書館利用の促進	
<p>近年、図書館の貸出冊数は減少傾向にあります。今後もこうした傾向は続く予測されます。また、1年間に1冊以上の図書等の貸出を行う利用者は人口の約1割足らずであり、特に若年層の利用率は極めて低くなっています。</p> <p>より多くの市民に図書館を利用してもらうために、市広報紙やホームページ、図書館Facebook、図書館LINEによる積極的な情報発信に努めます。また、限られたスペースを有効活用し、快適な時間を過ごせる安全・安心な空間づくりや利用者が親しみやすい雰囲気づくりに努めます。さらに、蔵書の充実や社会人が来館しやすい時間帯のイベントの実施などにより利用促進を図ります。</p> <p>今後は、来館を促す取組だけでなく、様々な理由により来館することが困難な人を対象とした非来館型サービスの充実に取り組みます。</p>		<p>より多くの市民に図書館を利用してもらうために、市広報誌やホームページ、SNSを活用し、図書館の魅力が伝わるように積極的な情報発信に努めます。また、館内表示や資料の配架やレイアウト等について工夫し、利用者にとってわかりやすい空間づくりや安心して親子や仲間同士で読書を楽しめ、居心地が良くつづる環境づくりに努めます。</p>	
施策の内容		施策の内容	
①積極的な情報発信		①積極的な情報発信	
②利用しやすい図書館づくり		②利用しやすい図書館づくり	
③安全・安心で快適な図書館づくり		③安全・安心で快適な図書館づくり	
具体的な取組		具体的な取組	
● あらゆる媒体を利用した図書館サービスの周知		あらゆる媒体を利用した図書館サービスの周知	
● 市図書館LINEをはじめSNSを活用した情報発信の強化		SNSを活用した積極的な情報発信	
● 利用者にわかりやすい資料配架や館内案内		利用者にわかりやすい館内表示や資料配架	
● フロアワークの充実など、気軽に声かけができる環境づくり		フロアワークの充実など、気軽に声かけができる環境づくり	
		見やすく取り出しやすい書架づくり	
		親子で読書を楽しめる環境づくり	
● 図書除菌機やパーテーション、ソーシャルディスタンスの確保による適切な感染症対策の実施			
● 夜間イベントの実施		社会人が参加しやすいイベントの実施	

7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画		第3次宇治市図書館事業計画(案)	
(5) 地域施設・団体との連携		(5)地域施設・団体との連携	
図書館ボランティアサークルに活動場所を提供する他、NPO法人との共催事業を実施しています。また、地域家庭文庫に団体貸出を行い地域における子どもの読書活動の推進を支援しています。		引き続き、関係機関・団体と連携した企画事業を推進します。また、地域・家庭文庫等の市民主体の取組に対する支援や、図書館サークル等のボランティア活動に対して活動場所や活動機会を提供し、協働を推進します。	
施策の内容		施策の内容	
①関連機関・団体との連携		①関連機関・団体との連携	
②市民活動の支援		②市民活動やボランティア活動の支援	
③ボランティアの育成			
具体的な取組		具体的な取組	
		関係機関と連携した企画事業の実施	
		団体貸出の拡充、出張おはなし会の拡充	
		地域施設、団体、大学との連携の推進	
		おはなし会等の活動機会の提供	
		市民主体の取組の支援	
		ボランティア育成の研修会の実施	
		ボランティアとの協働の推進	
●	京都文教大学・京都文教短期大学との連携の推進		
●	おはなし会等の活動機会の提供		
●	ボランティア活動をしている人、ボランティアに関心のある人を対象とする研修会の実施		
●	市民サポーター制度の導入の検討		
●	市民のアイデアを活かした企画事業の開催の検討		
5 人とともに成長する図書館		5 人とともに成長する図書館	
(1) 事業計画		(1)事業計画	
社会の情報化や技術革新によるライフスタイルやワークスタイルの変化、市民ニーズの多様化などにより、図書館に対するニーズは変化しています。また、厳しい財政状況やウィズコロナ・ポストコロナを見据え、効果的で効率的な図書館運営を行い、市民とともに成長する図書館を目指す計画とします。		事業計画の達成状況を定期的に点検・評価し、改善を図ることにより、多様化・高度化する利用者ニーズに応える質の高い図書館サービスを提供します。	
施策の内容		施策の内容	
①事業計画の策定		①事業計画の策定	
②PDCAサイクルに基づく、点検・評価の実施		②PDCAサイクルに基づく、点検・評価の実施	
具体的な取組		具体的な取組	
●	実施計画を策定し、達成状況についての点検評価	施策の達成状況についての点検評価の実施	
●	計画期間毎に利用者アンケートを実施	利用者の満足度調査を踏まえた今後の図書館サービスのあり方の検討	
●	災害時等非常時における図書館サービスのあり方の検討		

7 基本施策と具体的な取組

第2次宇治市図書館事業計画		第3次宇治市図書館事業計画(案)	
(2) 図書館職員の資質向上		(2) 図書館職員の資質向上	
<p>質の高い図書館サービスを提供していくためには、長期的な視野に立ち図書館運営を担う人材を育成する必要があります。また、図書館職員としての専門性を深めるとともに、行政職員としての資質向上を図ります。</p>		<p>質の高い図書館サービスを提供していくために、長期的な視点に立ち、図書館運営を担う専門性と行政職員としての視野の広さを備えた人材の育成に努めます。また、専門化・多様化する利用者ニーズに応えるため、京都府等が実施する外部研修への参加や図書館内での研修の機会を充実させ、知識の共有を図るとともに、関係部署・関係機関等との交流を通じて行政職員としての資質向上を図ります。</p>	
施策の内容		施策の内容	
①研修の充実		①研修の充実	
②人材育成		②人材育成	
具体的な取組		具体的な取組	
●	研修計画に基づく研修の実施	研修計画に基づく研修の実施	
●	オンライン等を活用した外部研修への参加	オンライン等を活用した外部研修への参加	
●	定期的な職場会議や職場内研修の実施	内部研修の充実	
●	関係法令等の習得		
●	業務マニュアルの見直し		
●	専門性の高い業務の継承	専門性の高い職員の育成	
●	3図書館合同研修によるサービスの平準化	3図書館合同研修によるサービスの平準化	

8 取組の指標（P22）

資料④-8

基本的運営方針	指標	現状値 R2年度	目標値 R7年度	データの出展	現状値 R6年度	目標値 R11年度	データの出展
読む楽しさ、学ぶ喜び を創出する図書館	蔵書更新率	5.2%	5.5%	令和2年度実績 ((受入冊数+除籍冊数)/蔵書冊数×100 ＝蔵書更新率)	4.4%	5.5%	令和6年度実績 ((受入冊数+除籍冊数)/蔵書冊数×100 ＝蔵書更新率)
	庁内関係部署・地域・大学等と連携した 事業の実施回数	—	—		160回	176回	令和6年度実績 中央図書館60回 東宇治図書館53回 西宇治 図書館47回
情報の拠点として地域 を支える図書館	インターネット予約件数	64,522件	70,000件	令和2年度実績	81,098件	85,000件	令和6年度実績
	電子図書館登録者数 (注:小中学生専用カードを除く)	2,242人	5,000人	令和3年3月開始のため、令和4年1月末現在の登 録者を実績値としている。	6,539人	12,000人	令和6年度実績
	図書館外でのイベント等実施回数	15回	28回	令和元年度実績 中央図書館7回 東宇治図書館6回 西宇治図書 館2回	(44回)	—	令和6年度実績 中央図書館14回 東宇治図書館14回 西宇治 図書館16回
地域文化を未来につな ぐ図書館	宇治に関するイベントや講座の実施回数	—	—		6回	10回	令和6年度実績 中央図書館3回 東宇治図書館2回 西宇治図書 館2回
すべての人にやさしい 図書館	館内の利用しやすさに関する満足度	53.2%	55.0%	R3宇治市図書館利用者アンケートより 「館内の利用しやすさ」に対して、「満足」と答えた 割合	58.3%	60.0%	R7宇治市図書館利用者アンケートより 「館内の利用しやすさ」に対して、「満足」と答えた 割合
	多言語資料の点数	—	—		10,778点	10,900点	令和6年度実績 紙資料1,818点 電子資料8,960点
	SNSでの発信回数	—	—		656回	700回	令和6年度実績 中央図書館234回 東宇治図書館329回 西宇 治図書館93回
人とともに成長する図 書館	研修参加人数	68人	113人	令和元年度実績 中央図書館48人 東宇治図書館10人 西宇治 図書館10人	52人	62人	令和6年度実績 中央図書館33人 東宇治図書館10人 西宇治 図書館9人

《パブリックコメント》

第3次宇治市図書館事業計画（初案）への 意見募集について

～ 市民の皆さんのご意見をお寄せください ～

図書館は単なる「本を貸し出す場所」だけでなく、「知る・学ぶ・集う場」として、地域の歴史や文化に関する資料の収集・提供、地域施設や団体との連携、市民活動の支援等により、市民の生涯学習の拠点としての役割がますます重要となっています。市図書館では、そうした役割を果たし効果的に図書館を運営するための目標や施策を定めた「第3次宇治市図書館事業計画（初案）」を作成しましたので、市民の皆さんからのご意見等を募集します。今後、これらのご意見等を考慮して更なる検討を進めてまいります。

宇治市教育委員会 中央図書館

ご意見等の募集

第1 意見等を提出できる方

- (1) 本市の在住、在勤、在学者
- (2) 本市の区域内に事務所又は事業所を有する個人及び法人その他の団体
- (3) 本市に対して納税義務を有する個人及び法人
- (4) 前各号に掲げるもののほか、本計画初案に利害関係を有するもの

第2 提出の方法

書面に氏名、住所、ご意見等をご記入の上、下記の提出先のいずれかへ提出してください。その際の書面につきましては、別紙の意見等記入用紙以外の用紙に記入していただいても結構です。

第3 提出先

- (1) 市のホームページのフォームへの入力
右記二次元コードからご確認ください。

二次元コード

- (2) 参 照 : 中央図書館、東宇治図書館、西宇治図書館
- (3) 郵便 : 〒611-0023
宇治市折居台1丁目1 中央図書館 宛
- (4) 電子メール : chuuoutosho@city.uji.kyoto.jp
- (5) ファクシミリ : (0774) 39-9257 (中央図書館)
- (6) その他 : 市の主な施設に設置の「市民の声投書箱」への投函

第4 募集期間

令和7年11月16日(日)から令和7年12月15日(月)まで

第5 お問い合わせ先

このパンフレットについてのお問い合わせは、中央図書館までお願いします。
また、パブリックコメントのご案内及び「第3次宇治市図書館事業計画(初案)」は、宇治市ホームページにも掲載しております。

電話番号 : (0774) 39-9256 (中央図書館)

ホームページ : <http://www.city.uji.kyoto.jp/> (宇治市トップページ)

宇治市トップページ⇒市政⇒情報公開⇒パブリックコメント

提出されたご意見等、住所、氏名等については個人情報の保護に関する法律に基づき、適正に管理いたします。意見募集結果の公表に際して、ご意見等以外に記載された内容(住所・氏名等)については公表いたしません。また、お寄せいただいたご意見等に対する個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

お寄せいただきましたご意見等の取りまとめの結果及びご意見等に対する回答につきましては、宇治市ホームページに公表予定です。

「第3次宇治市図書館事業計画（初案）」に対する意見等記入用紙

住所（※必須） （法人等は所在地）	〒 -		
ふりがな			
氏名（※必須） （法人等は名称及び代表者氏名）			
該当するものに○ （※必須）	①在住、在勤、在学	②市内に事務所を有する法人・個人等	
	③納税義務者	④その他利害関係を有するもの	

意見等記入欄	

- 必須項目については、必ず記入してください。また、ご意見等の内容を確認させていただく場合があります。
- 意見等記入欄が足りないときは、別紙を添付してください。
- 提出されたご意見等、住所、氏名等については個人情報の保護に関する法律に基づき、適正に管理いたします。
- 意見募集結果の公表に際して、ご意見等以外に記載された内容（住所・氏名等）については公表いたしません。

提出先

持 参：中央図書館（宇治市折居台1丁目1）
 東宇治図書館（宇治市五ヶ庄三番割36-5）
 西宇治図書館（宇治市小倉町山際63-1） まで

郵便：〒611-0023 宇治市折居台1丁目1 中央図書館 宛
 E-Mail：chuuoutosho@city.uji.kyoto.jp
 FAX ：(0774) 39-9257（中央図書館）